

平成24年災 豪雨災害誌

～平成24年梅雨前線豪雨を振り返って～



大分県土木建築部

はじめに

平成 24 年は梅雨前線及び台風による豪雨により、大分県内各地で河川の氾濫や土砂災害が発生し、被害総額は約 460 億円（H24 災害年報）にのぼった。

今回作成した豪雨災害誌は、大分県土木建築部が所管する公共土木施設の被害状況、水防活動及び被災地への対応、復旧までの経過等をまとめたものである。

この豪雨災害誌の対象は、平成 24 年 6 月 30 日から 7 月 23 日にかけての梅雨前線豪雨とする。

安心して生活できる県土づくりをめざして



大分県土木建築部長 畔津 義彦

未曾有の大災害となった東日本大震災から1年余りたった平成24年7月、九州北部を襲った梅雨前線による記録的な集中豪雨により、県内で死者・行方不明者4名、住家被害2,829棟に及ぶ大災害が発生しました。これは平成になって以降、県下で最大級の自然災害であり、県内各地に大きな爪痕を残し、甚大な被災箇所では、被災から1年半を経過した現在も復旧工事が続けられています。

私も被災直後から知事と一緒に現地を視察しましたが、流された橋や護岸を見るにつけ、水の破壊力をまざまざと思い知らされるとともに、家に入った泥を黙々と掻き出す人たちの姿を見て、自分たちの無力さにくやしい気持ちがわき上がってきました。

本県は、変化に富んだ地形や多様な自然景観を有した豊かな自然が大きな魅力の一つですが、その一方で私たちの住む県土が自然災害の起こりやすい気候や地形・地質であることをあらためて認識させられると同時に、県民が安心して暮らせる県土づくりが私たち土木建築行政の大きな使命だという思いを強くしたところです。

土木建築部では、中長期計画として「おおいた土木未来（ときめき）プラン2005」を定め、その三本柱の一つに「安心して生活できる県土づくり」を掲げ、浸水被害の防止や土砂災害対策を積極的に推進することとしています。近年の気候変動により頻発する大雨や台風の大型化に対し、限りあるマンパワーと予算という制約条件は常に付きまといますが、今回の災害対応で発揮したチームワークを活かして、引き続き、職員一丸となって防災・減災対策を進めていく覚悟です。

この豪雨災害誌は、被災の状況から復旧の過程を記録することで、今回の経験をこれからの防災・減災対策に活かすとともに、これからの自然災害への対応をより迅速かつ円滑に行うための材料となることを願って作成したものです。これまで先人たちが自然災害と戦ってきた歴史に改めて敬意を表するとともに、これらの資料が後人の皆さんにとって貴重な経験知となることを、そしてこれからの自然災害による被害が限りなく少なくなることを祈りつつ当冊子の巻頭言といたします。

安全・安心、災害に強いまちづくり

(豪雨災害を教訓として)



中津市長 新 貝 正 勝

平成 24 年 7 月 3 日・14 日、九州北部を中心とした集中豪雨により、中津市では、過去最大の時間雨量 91 mm を記録し、市内を縦断する山国川の氾濫により甚大な被害を受けました。

人的被害といたしましては、1 名の行方不明者があり、住家被害としては、全壊 10 戸、大規模半壊 5 戸、半壊 66 戸、床上浸水 304 戸、床下浸水 92 戸、合計で 477 戸の住家が被害を受けました。

被災後より、関係機関やボランティア等のご協力をいただき住家は勿論、店舗・道路・農業用水路の泥だし等を行っていただき、早急な復旧を行うことができたものの、依然、農地・河川等については、まだまだ整備が必要な状況にあります。

このような大きな災害は、平成 17 年に市町村合併を行って以降、初めての経験であったこともあり、災害検証を行う上で、様々な課題が見つかりました。

なかでも、災害初期に重要となる「災害情報伝達体制の充実」及び、「共助の体制づくり」については、早急な対策が必要であることから、重点的に取り組みを進めてきたところであります。

まず、災害情報伝達体制の整備についてですが、今回被害を受けた旧下毛地域については、屋外拡声器及び各世帯に設置された FM 告知端末により情報伝達が行われていますが、旧中津市については、屋外拡声器のみでの情報伝達となり、屋内にいた場合十分な情報伝達ができない状況となっております。そのため、今回地元 FM 局の協力をいただき、FM ラジオへの災害時緊急割込みシステムの整備を行っており、割込み放送時に自動起動するラジオの配布を行うことで、情報伝達手段の充実を図っていくこととしております。

さらに、災害情報についても、放送時にはサイレンを流すこと、河川上流部の地域については、気象警報等が発令された時点で、周知放送を行うことと致しました。

また、共助の体制づくりについては、「日頃から地域コミュニティが図れていたことで、今回の災害時にも地域で協力し合いながら避難を行うことができた」との教訓を活かし、地域自主防災組織の充実についての取り組みに重点を置き、自主防災組織の研修会・避難訓練・資機材の整備等、活動に応じた補助を行う自主防災組織活動等補助金を創設し、地域防災活動推進と防災力の強化を進めているところです。

今後も、災害の復旧を進めるとともに、災害の教訓を活かし「安全・安心、災害に強いまちづくり」を目指し取り組みを進めて行くこととしておりますので、関係機関皆様方のご指導、ご協力をよろしくお願い致します。

すいきょう
「水郷ひた」の復旧を目指して



日田市長 原田 啓介

日田市は、北部九州のほぼ中央の大分県西部に位置し、周囲を阿蘇・くじゅう山系や英彦山系の美しい山々に囲まれ、これらの山々から注がれる水が、いくつもの河川となり、日田盆地で合流した三隈川や花月川を中心に形成されております。また、江戸時代には幕府直轄地・天領として栄え、独特の町民文化に花が咲き、これらの歴史を伝える古い街並み、水や緑豊かな自然が融合する場所であり、水郷ひたとして多くの人々から親しまれております。

気候は内陸地特有の性質を示し、寒暖の差が大きく、雨量の多い地域ではありますが、従来より防災を考慮し、良好な景観や自然とのふれあいに配慮した、水郷ひたに相応しい水辺環境の創出を図り、河川改修等の事業を推進しており、近年では大きな水害に見舞われることはございませんでした。

そのような状況の中、平成24年7月に発生した梅雨前線豪雨は、まさに晴天の霹靂で最大時間雨量80.5mm、総雨量462mmと過去に類を見ない大雨であり、もたらした被害は甚大なものでした。

特に市内中心部を流れる筑後川水系花月川・有田川においては、2ヶ所で堤防が決壊したほか、至るところで越水し、家屋全壊1戸、半壊1戸、床上・床下浸水833戸と最も激しい被害を受けました。

この為、災害復旧にあたり河川激甚災害対策特別緊急事業が適用され、平成24年から概ね5年間で総事業費101億円を投じ、築堤や河道掘削及び橋梁改築等の大規模な河川改修が、現在、急ピッチで進められております。また同様に、公共土木施設災害復旧事業や農地・農業用施設災害復旧事業につきましても、早期完了を目指して事業を推進しております。

合併により広大となった市域において、今回のような想定外の災害に対応する防災対策を行うには、莫大な費用を要する為、地域の実情や市民ニーズに応じた効率的な整備を行う必要があります。

梅雨前線豪雨の被災経験を活かしながら、将来都市像である「人と自然が共生し、やすらぎ・活気・笑顔に満ちた交流都市」の実現に向け、なお一層の取り組みを行う所存であります。

終わりに、被災時の緊急対応及び災害復旧にあたり、ご尽力下さいました関係省庁や各自治体・ボランティアの皆様方に衷心から御礼を申し上げます。

過去に学び、現在を見つめ、未来に生かす



竹田市長 首藤勝次

奥豊後の名峰に抱かれた山紫水明の地であるふるさと竹田市。この地に降り注ぐ雨は山肌を清め、田畑を潤し、恵みを授ける一方、時として大地に牙をむき、清流稲葉川や玉来川を濁流に変え、これまで何度も災害を引き起こしてきました。

とりわけ、平成24年7月12日の未明から明け方にかけて降り続いた「これまでに経験したことのないような大雨」は、近年に豪雨災害となった昭和57年や平成2年をはるかに凌ぐ猛烈な雨量によって、本市はまさに『山間部に津波が押し寄せたような』惨状を呈し、市内各所に数多くの深い傷あとを残しました。

午前7時までの3時間に竹田市観測史上最大の135ミリを記録。それまでに降り続いた雨に強烈な追い討ちがかけられて、河川は見る見る増水。その様はまさに東日本大震災で襲ってきた津波の高さとスピードを再現するかのようでした。

災害からの早期復興を叶えることが私たちに課せられた最大使命であると肝に銘じて、復旧復興を最優先に取り組んできました。その根幹には「この悔しさを二度と未来に引きずってはならない」という切実な願いがあります。私たちには『災害に強いまちづくり』と同時に『災害に負けないまちづくり』を進めていかなければなりません。

また、災害復興にあたっては、『ビルド・バック・ベター（創造的復興）』を合言葉に掲げ、単なる復旧ではなく、輝かしい再スタートが切れる復興。つまり、未来に夢を授けられる創造的復興を目指して取り組んでまいりました。

そのためには、被災直後の惨状から目を背けることなく、冷静に分析することから始めなければなりません。災害を記録にとどめ、検証結果を後世にしっかりと伝える中で、今回の災害を徹底的に分析し、安心安全なまちづくりの実現を目指していかなければなりません。「過去に学び、現在を見つめ、未来に生かす」という意味において、本書が豪雨災害誌としての価値を飛び越え、復興への羅針盤としての役割を果たすよう心からご期待を申し上げ、発刊にあたってのご挨拶といたします。

豪雨災害を振り返って



玖珠町長 朝倉浩平

玖珠町は、筑後川の上流に位置し、その源流となる玖珠川が東西に貫流しています。町の大部分は、この筑後川水系に属しますが、北部は山国川、北東は駅館川、東端は大分川水系に属するなど県の主要な水系に属しています。

これらの本川に流入する支川の両岸には、町の特産物である玖珠米や野菜を生産する農地、木材や椎茸を生み出す山林があります。

このような自然環境にある玖珠町は、平成3年の風台風の山林被害による倒木により、山の保水能力が著しく低下していますが、木材価格の低迷や後継者不足により山林の復旧、復興ができず、豪雨による倒木や土砂の流出による河川等の堰き止めにより被害が拡大している状況です。

おりしも、平成24年7月3日から4日及び13日から14日の二度にわたる梅雨前線豪雨は、玖珠町にも甚大な被害をもたらしました。幸いにも人的被害の発生は、ありませんでしたが、被害の状況は、家屋半壊や一部損壊4棟、床上浸水3世帯、床下浸水28世帯、道路の損壊47箇所、河川護岸崩壊228箇所、農地・農業用施設の損壊570箇所、林道の損壊16箇所にのぼり町民の生活に大きな支障を与えました。

町としては、直ちに玖珠町被害対策連絡室を設置し、玖珠町建設業協会及び地元消防団の協力により、生活道路や河川、水路等に崩落した土砂、倒木等の撤去に全力を尽くしました。

また、7月末には広瀬知事出席のもと、県と合同の水害対策会議を開催し、「復旧に向けて県と町で連携し、効率よく迅速に作業を進めることで被災者を応援する」ことを確認し、早期の復旧に臨んだ次第です。

公共土木施設災害及び農林災害の進捗状況は、平成25年12月末においておよそ50%完了しています。進捗の遅延は、今回の災害復旧事業が甚大な規模であること、被災地域が集中しており、玖珠町を含め近隣市町の建設業者が不足していることなどが考えられます。

今後は、早期の復旧に全力を傾けるとともに、このたびの大水害を今後の教訓として、関係機関との連携体制の強化、避難場所の周知、ハザードマップや防災無線の活用、災害用備蓄倉庫の設置等日頃の備えに万全を期す所存です。また、国及び県のご支援ご指導をいただきながら、災害に強い町づくりに心がけ、町民の尊い生命と財産を守るため、安心・安全で住みよい町づくりに努めてまいります。

野田総理視察（日田市）



知事視察（竹田市）



目次

第1章	大分県の概要	
第1節	地勢	1
第2節	気象	2
第2章	気象・降雨の状況	
第1節	平成24年の気象・降雨	3
第2節	各気象、降雨の概要	
(1)	7月3日～4日	4
(2)	7月11日～14日	6
第3章	災害の特徴	
第1節	概説	10
第2節	数字から見る被害状況	11
第3節	被害状況	
(1)	河川の被害	18
(2)	砂防の被害	46
(3)	道路、橋梁等の被害	54
(4)	その他被害	60
第4章	水防活動及び被災地への対応	
第1節	水防警報発令状況	68
第2節	大分県災害対策本部設置状況	74
第3節	災害視察	74
第4節	災害応援派遣	75
第5節	被災者への支援	81
第5章	復旧に向けての対応	
第1節	災害復旧事業	
(1)	災害査定状況	82
(2)	災害関連事業	84
第2節	河川事業	
(1)	激甚災害対策特別緊急事業	100
(2)	床上浸水対策特別緊急事業	101
(3)	災害対策等緊急事業推進費	102
第3節	砂防事業	103
第4節	災害復旧状況	106
第6章	参考資料	
第1節	新聞報道	111
第2節	大分県水害対策会議復旧・復興推進計画	144
第3節	大分県水害対策会議復旧・復興推進計画の進捗状況	181

第1章 大分県の概要

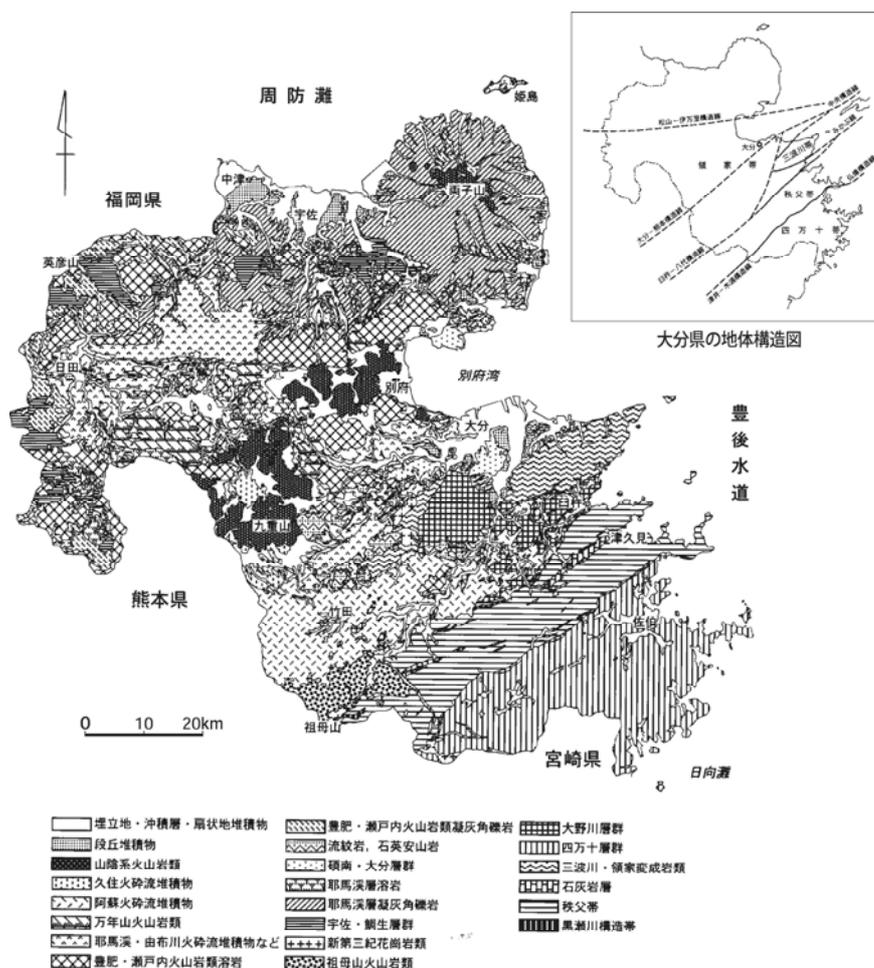
第1節 地勢

大分県は九州の北東部に位置し、東は豊後水道をのぞみ、西は阿蘇火山の東斜面を境とし熊本県、南は祖母傾連山にて宮崎県と北は周防灘と福岡県に隣接している。

東西 118.6 km、南北 105.9 km、総面積 6,339.75 km²の県土を有する。これは全国の 1.7%にあたる。

地質構造は緩やかな地層の構造と、激しい新成火成活動の内帯と褶曲変動の激しい外帯とに分けられる。北の内帯と南の外帯は中央構造線により分かれ、なお中央構造線からつながる数本の構造線によって細分されている。この上で、古いものから色々な時代の地層が揃い、加えて火成作用、変成作用、地殻変動の影響を受け複雑な地形と多彩な地質分布を呈している。

県土の7割を林野が占め、九重連山をはじめ、由布・鶴見・祖母・傾の山々を源とする河川は、一級河川6水系の374河川2,074.5 km、2級河川93水系の211河川988.7 kmをあわせ3,063.2 kmとなっている。



九州地方土木地質図編纂委員会（1985）：九州地方土木地質図を簡略化
大分県の地体構造図は宮久（1972）による

図 1-1 大分県の地質図（出典 大分県（2000）：レッドデータブックおおいた）

第2節 気象

気候は、降水量や降水日数、日照時間など降水現象や雲の状況などにより区分される。

- (1) 瀬戸内型(I) (中津市、豊後高田市、杵築市等の地域)
- (2) 瀬戸内型(II) (大分市、豊後大野市、臼杵市の地域等)
- (3) 南海型 (津久見市、佐伯市等の地域)
- (4) 内陸山地型 (日田市、玖珠町、竹田市等の地域)

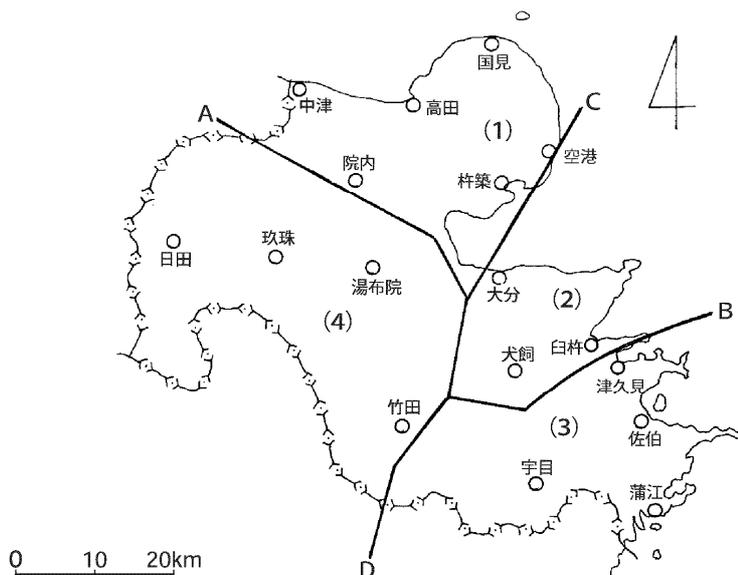


図1-2 大分県の気候区分 (出典 大分県 (2000) : レッドデータブックおおいた)

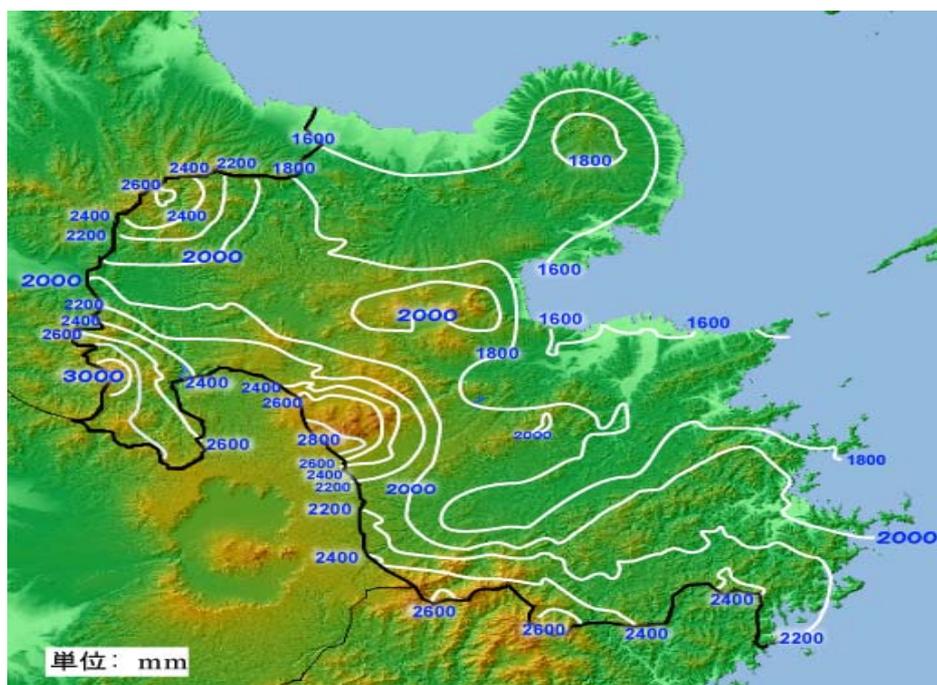


図1-3 年平均降雨量図 (統計期間 1971~2000年) (単位: mm)

出典 大分地方気象台 HP

第2章 気象・降雨の状況

第1節 平成24年の気象・降雨

平成24年6月30日から7月14日にかけて、朝鮮半島から九州北部、本州付近へかけて停滞した梅雨前線の影響により、大分、福岡、熊本の3県を中心に記録的な豪雨がもたらされた。

7月3日から4日にかけての豪雨は、県の北部、西部地方を中心に災害をもたらした。また、7月11日から14日にかけての豪雨は、気象庁が「これまでに経験したことのないような大雨」と表現し、再び県の北部、西部に災害をもたらし、中部も被災した。

表1-1 アメダス降水量の極値表

(単位：mm)

アメダス 地点名	7月3日～4日			7月11日～14日		
	梅雨前線			梅雨前線		
	期間合計 降水量(mm)	最大日 降水量(mm)	1時間最大 降水量(mm)	期間合計 降水量(mm)	最大日 降水量(mm)	1時間最大 降水量(mm)
国見	59.5	41.5	20.0	195.5	146.0	44.5
中津	112.0	96.0	57.0	260.5	152.0	46.0
豊後高田	126.0	103.5	57.5	205.5	121.0	35.5
耶馬溪	303.0	250.5	91.0	401.5	209.5	69.5
院内	234.0	194.0	57.5	282.5	168.0	44.5
杵築	164.5	120.0	38.5	223.5	94.5	40.5
武蔵	135.5	98.5	28.0	173.0	79.5	24.0
日田	223.0	168.5	80.5	462.0	237.0	64.0
玖珠	173.0	134.5	50.0	392.5	220.0	37.5
湯布院	117.0	87.5	45.5	338.0	166.5	36.0
大分	80.0	45.0	27.5	289.0	155.0	48.0
佐賀関	87.0	58.5	32.5	240.0	76.0	47.5
椿ヶ鼻	158.5	89.0	37.5	656.5	368.5	85.0
臼杵	35.5	29.0	21.5	187.0	72.5	30.0
犬飼	20.0	16.0	10.0	205.5	99.5	34.0
竹田	27.5	15.0	13.5	402.0	251.0	54.5
佐伯	2.5	2.0	1.0	152.0	64.0	25.5
宇目	3.0	1.5	1.5	155.5	100.0	32.0
蒲江	3.0	2.0	2.0	107.5	59.0	27.5

出典：大分地方気象台資料をもとに作成

第2節 各気象、降雨の概要

(1) 7月3日～4日

[気象の概要]

梅雨前線が九州北部地方に停滞し、前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込んだため、大気の状態が非常に不安定となった。7月3日の明け方から午前中にかけて雷を伴った激しい雨が断続的に降り、西部や北部を中心に記録的な大雨となった。

引き続き7月4日も、昼前を中心に大気の状態が不安定となり、激しい雨が降った。

[降雨の状況]

○7月3日から4日までの総降水量（多い方から5観測点）

- ・ 耶馬溪（中津市）： 303.0ミリ 「7月3日：250.5ミリ（日降水量7月の1位）」
- ・ 院内（宇佐市）： 234.0ミリ 「7月3日：194.0ミリ（日降水量7月の1位）」
- ・ 日田（日田市）： 223.0ミリ
- ・ 玖珠（玖珠町）： 173.0ミリ
- ・ 杵築（杵築市）： 164.5ミリ

○日最大1時間降水量（極値を更新した2観測点）

- ・ 耶馬溪（中津市）： 91.0ミリ（3日～06時45分） 「観測史上1位」
- ・ 院内（宇佐市）： 57.5ミリ（3日～07時44分） 「7月の1位」（観測史上2位）

※3日08時00分には、日田市日田付近で1時間約110ミリの猛烈な雨が解析された。

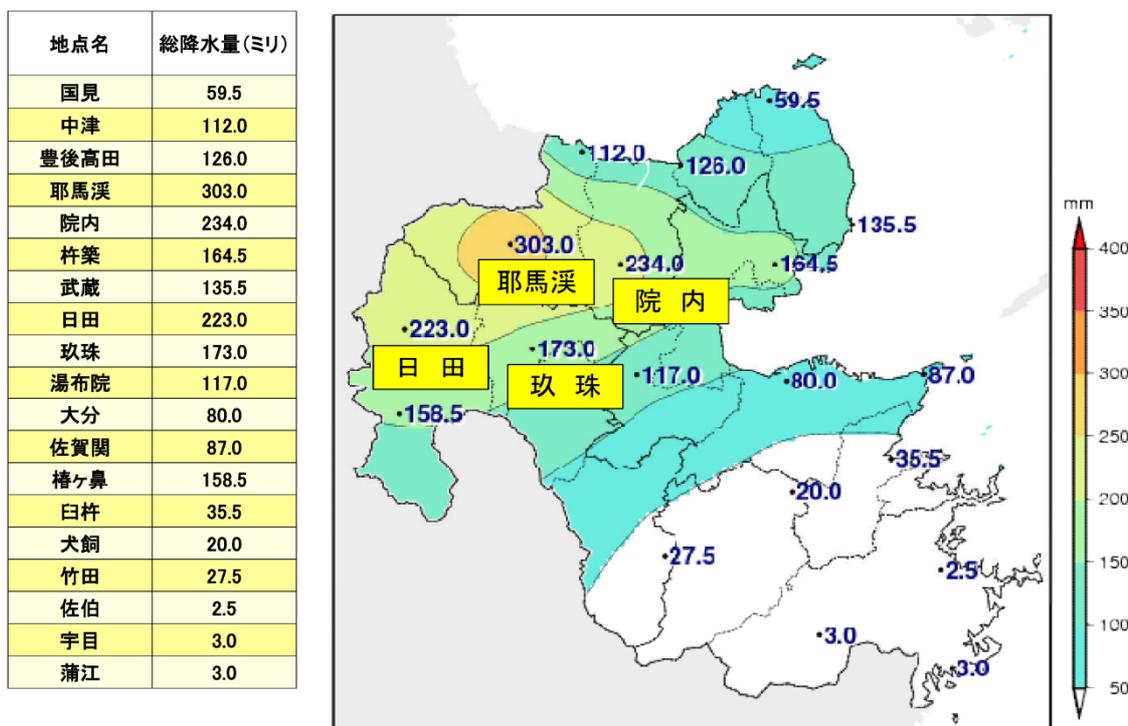


図 2-1 アメダス総降水量分布図（7月3日～4日）

出典：大分地方気象台 HP

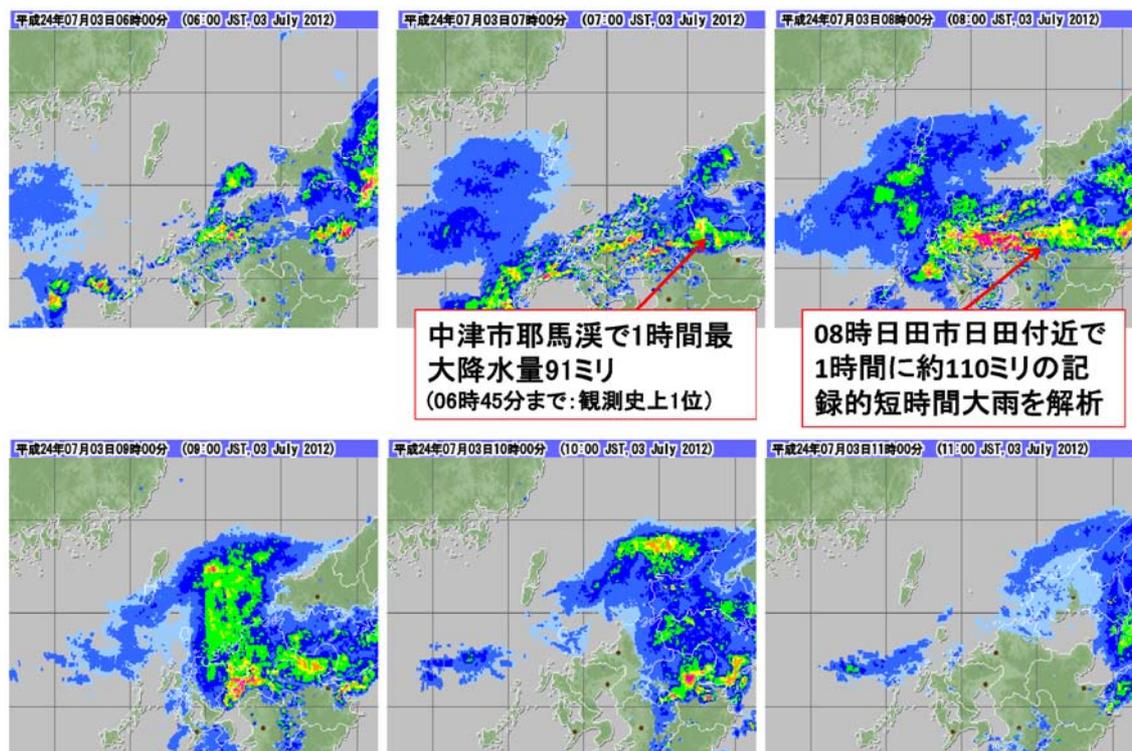


図 2-2 気象レーダー画像（7月3日）

出典：大分地方気象台 HP

日付	時間	大分市	別府市	中津市	日田市	佐伯市	臼杵市	津久見市	竹田市	豊後高田市	杵築市	宇佐市	豊後大野市	由布市	国東市	姫島村	日出町	九重町	玖珠町	
7月3日	4:40	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	6:05		●																	
	7:15				◆	◆														
	7:35	●						●												
	8:00			◆						◆	◆	◆			◆			◆		◆
	8:24																			
	8:30	■	■				■	■	■	■				■				■		■
	9:00																			◆
	14:00			解						解	解						解			解
	15:40	■	■		■		●	●	●	●	●	●	●	■	●	■		■	■	■
	18:05			解	解								解		解				解	解
	19:15	●	●	●	●						●	●		●	●		●	●	●	●
7月4日	8:00			●	●							●		●				●	●	●
	10:15	■	■	■	■							■		■						■
	10:40			◆	◆															
	11:00									●	●				●		●			●
	13:25	●	■	■	■					●	●			●	●		●	●		■
	16:35			解	解															
	17:15	解	解	解		解	解	解	解	解	解	解	解	解	解	解	解	解	解	解
	18:30	解	解	●	●	解			解	解	解	●		解	解	解	解	解	解	●

凡例 ● 大雨警報 ○ 大雨注意報 解 解除
 ■ 洪水警報 □ 洪水注意報
 ◆ 土砂災害警戒情報

図 2-3 注意報・警報の発表経過（7月3日～4日）

(2) 7月11日～14日

〔気象の概要〕

朝鮮半島付近にあった梅雨前線が対馬海峡まで南下し、前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込んだため大気の状態が不安定となった。12日は大分県や熊本県を中心に、非常に発達した雨雲が次々と流れ込んだ。

また、梅雨前線の停滞により、13日は佐賀県、福岡県を中心に、14日は福岡県、大分県を中心に非常に発達した雨雲が次々と流れ込んだ。

12日未明から朝にかけて西部を中心に非常に激しい雨となり、13日は昼前から昼過ぎにかけて、西部・北部・中部を中心に激しい雨となった。また14日未明から昼前にかけても同様に非常に激しい雨となり、夕方まで断続的に強い雨が降った。

〔降雨の状況〕

○7月11日から14日までの総降水量（多い方から5観測点）

- ・椿ヶ鼻（日田市）： 656.5ミリ
- ・日田（日田市）： 462.0ミリ「7月14日：237.0ミリ（日降水量7月の1位）」
- ・竹田（竹田市）： 402.0ミリ
- ・耶馬溪（中津町）： 401.5ミリ
- ・玖珠（玖珠町）： 392.5ミリ「7月14日：220.0ミリ（観測史上1位）」

○極値を更新した観測点

11日から14日の大雨により、以下のとおり観測史上一位の記録を更新した。

日付	要素	アメダス地点	降水量（mm）
7月12日	最大3時間降水量	竹田	135.0
7月14日	最大24時間降水量	耶馬溪	327.5
		日田	309.5
	最大72時間降水量	耶馬溪	395.5
		日田	455.5

地点番号	地点名	総雨量
83021	国見	183.0
83051	中津	239.5
83061	豊後高田	195.5
83096	耶馬溪	369.5
83106	院内	272.0
83121	杵築	216.5
83126	武蔵	157.0
83137	日田	411.5
83191	玖珠	381.0
83201	湯布院	329.0
83216	大分	277.5
83226	佐賀関	190.5
83242	椿ヶ鼻	612.5
83286	白杵	145.0
83341	犬飼	197.0
83371	竹田	399.5
83401	佐伯	92.5
83431	宇目	112.5
83476	蒲江	48.5

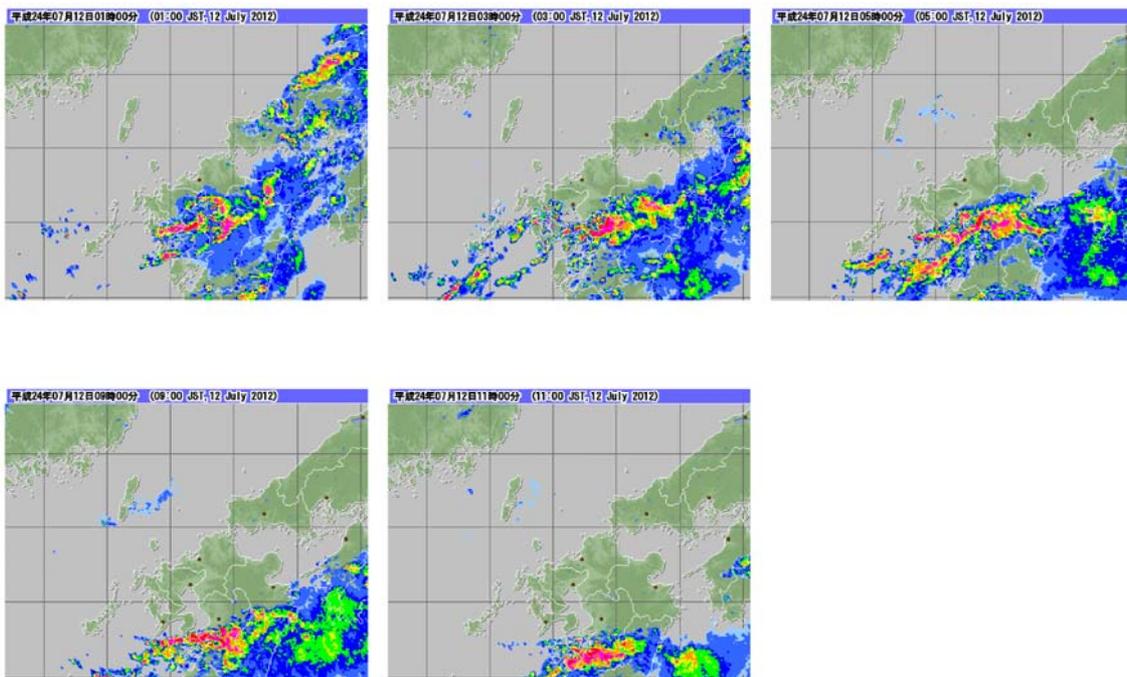
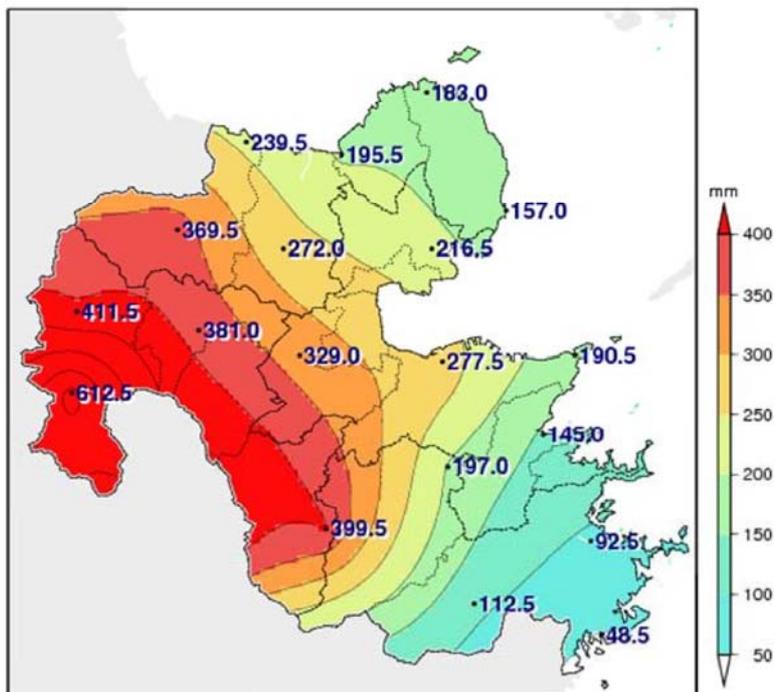


図 2-4(1) アメダス総降水量分布図・気象レーダー画像 (7月12日~14日)

出典：大分地方気象台 HP

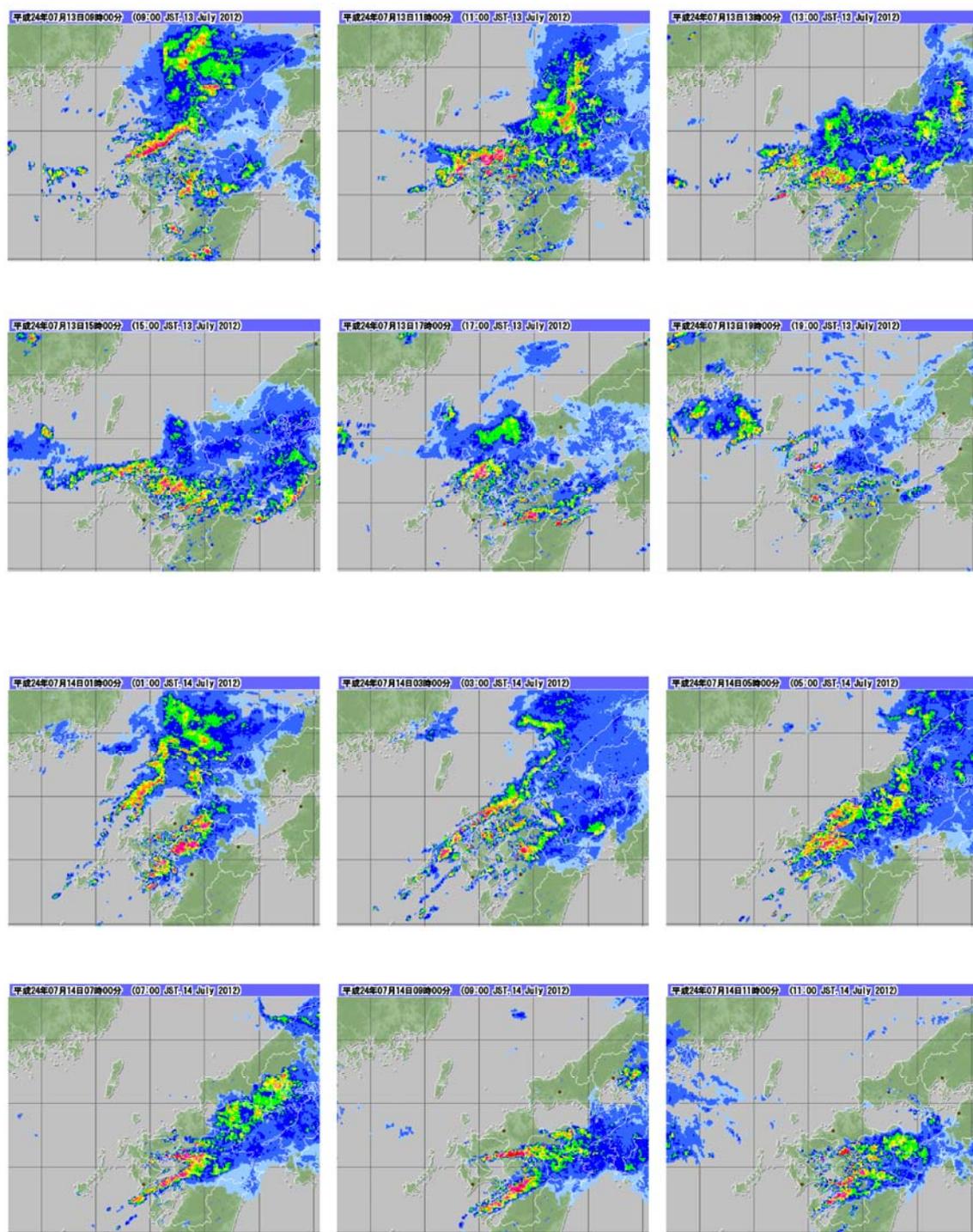


図 2-4(2) 気象レーダー画像 (7月12日~14日)

出典：大分地方気象台 HP

日付	時間	大分市	別府市	中津市	日田市	佐伯市	臼杵市	津久見市	竹田市	豊後高田市	杵築市	宇佐市	豊後大野市	由布市	国東市	姫島村	日出町	九重町	玖珠町		
7月11日	2:50	●	●			●	●	●	●		●			●			●				
	8:02	解	解			解	解	解	解		解			解			解				
	16:57	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
	23:50			■	■															●	
7月12日	0:25				■				■					■				■	■	■	
	2:20				●				●											■	
	2:40	●	■	■									●	■							
	5:35			解	解					解	解	解			解	解	解				
	6:00		●											●					●		
	7:40					●	■														
	10:05		解		解															解	
	10:50	●	●	●	●	●	●								●				●	●	
	13:05				解				解					解							解
	14:30	解	解		解	解	解	解	解	●	解			●	解	解		解	解	解	
19:54	解							解	解				解	解					解		
23:30				●				●												●	
7月13日	7:51				■				■									●	■	●	
	9:07	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
	12:30			■	■		●	●		●	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
	12:50			●		●															
	13:05												●								
	13:50	●	■	■		●	■	■	■				●	■	■			●	■		
	18:45												解								
	19:10						解	解													
	20:25			解	解																
	20:30	■	●	■	■				■	●	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
7月14日	1:30	■	●	■	■				■	●	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
	2:00			●	●																
	5:10									●			●								
	6:15																		●	●	
	6:30								■							●	■				
	16:55		■			解	解			■	■		解		■	●	■	■			
	17:00									解											
	18:05												解							解	
	19:10	●	●		解			解	解	●	●			●	●	●	●	●	●	●	
	21:15	解	解	●	■				●	解	解	●	●	解	解	解	解	●	●	●	
22:10				解																	
23:35				●	■														■		
7月15日	2:45	解	解	解							解	解	解			解	解	解	解		

凡例 ● 大雨警報
 ■ 洪水警報
 ◆ 土砂災害警戒情報
 ● 大雨注意報
 ■ 洪水注意報
 解 解除

図2-5 注意報・警報の発表経過（7月11日～15日）

第3章 災害の特徴

第1節 概説

平成24年7月に九州北部を襲った梅雨前線の豪雨は、気象庁から国内で初めて「これまで経験したことのないような大雨」と表現された7月12日の豪雨を含めて、甚大な河川災害を大分・福岡・佐賀・熊本県域を中心とした九州北部にもたらした。

被害状況は、死者3人、行方不明者1人、家屋全半壊（一部破損を含み）637棟、床上浸水558棟、床下浸水389棟であった。

被害額で見ると、公共土木施設で224億円、農林水産施設で154億円、公立文教施設で1.3億円、その他公共施設で6.7億円となっており、その他農産被害等を含めると、大分県下で総額449億円にのぼっている。

表3-1 平成24年公共土木施設災害復旧被害報告額

降雨期間	災害原因	被害額 (億円)	被害の発生した主な所管土木事務所
7月3日～4日	梅雨前線	97.2	中津、日田、玖珠
7月11日～14日	梅雨前線	162.8	中津、日田、玖珠、竹田
計		260.0	

第2節 数字から見る被害状況

(1) 人的被害

区分		災害名		豪雨 7月1日	豪雨 (平成24年7月 九州北部豪雨含む) 7月3日～ 15日	豪雨 7月21日～ 24日	合計	
		発生年月日						
人的被害	死者	人			3		3	
	行方不明	人			1		1	
	負傷者	重傷	人			1		1
		軽傷	人			4		4
住家被害	全壊	棟			36		36	
	半壊	棟		2	578		580	
	一部損壊	棟			21		21	
	床上浸水	棟		2	556		558	
	床下浸水	棟		7	381	1	389	
非住家被害					670	1	671	

※被害状況の集計期間は、梅雨前線豪雨

出典：H24 災害年報をもとに作成

(2) 被害金額

区分		災害名		豪雨 7月1日	豪雨 (平成24年7月 九州北部豪雨含む) 7月3日～ 15日	豪雨 7月21日～ 24日	合計
		発生年月日					
公共土木施設		千円		6,221,702	16,157,710		22,379,412
農林水産業施設		千円			15,387,304		15,387,304
公立文教施設		千円			131,063		131,063
その他公共施設		千円			669,775		669,775
小計		千円		6,221,702	32,345,852		38,567,554
その他	農産被害	千円		4,356	567,653		572,009
	林産被害	千円		472,875	3,217,238		3,690,113
	畜産被害	千円			32,003		32,003
	水産被害	千円			87,860		87,860
	商工被害	千円			1,787,000		1,787,000
	その他	千円			160,952		160,952
被害総額		千円		6,698,933	38,198,558		44,897,491

出典：H24 災害年報をもとに作成

第3章 災害の特徴

第2節 数字から見る被害状況

(3) 公共土木施設災害復旧 被害報告額

公共土木施設災害復旧被害報告額

平成24年6月29日～平成24年7月8日発生分

(単位：千円)

大分県	河川		砂防施設		急傾斜		道路		橋梁		下水道		港湾		公園		合計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
豊後高田土木																		
国東土木																		
別府土木	3	59,000	1	1,500								1	3,000				5	63,500
大分土木	2	9,500	2	28,000													4	37,500
臼杵土木																		
佐伯土木																		
豊後大野土木																		
竹田土木																		
玖珠土木	21	477,855	16	734,600			10	91,000									47	1,303,455
日田土木	103	2,065,885	31	679,319			15	279,630	1	60,000							150	3,084,834
中津土木	64	1,420,524	17	313,701			34	794,187	1	104,922							116	2,633,334
宇佐土木	14	128,000	10	108,600			2	9,159									26	245,759
計	207	4,160,764	77	1,865,720			61	1,173,976	2	164,922			1	3,000			348	7,368,382

市町村	河川		砂防施設		急傾斜		道路		橋梁		下水道		港湾		公園		合計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
大分市																		
別府市																		
中津市	20	211,226					17	106,962	6	213,949							43	532,137
日田市	60	691,369					66	403,257	2	31,249	1	6,800			3	7,137	132	1,139,812
佐伯市																		
臼杵市																		
津久見市																		
竹田市																		
豊後高田市																		
杵築市	25	101,200					19	119,700									44	220,900
宇佐市	7	40,000					8	37,000									15	77,000
豊後大野市																		
由布市																		
国東市																		
姫島村																		
日出町							3	5,500									3	5,500
九重町							3	4,200									3	4,200
玖珠町	59	336,700					15	43,400									74	380,100
計	171	1,380,495					131	720,019	8	245,198	1	6,800			3	7,137	314	2,359,649

注) 公共土木施設災害復旧事業費国庫負担法に基づく被害報告額

公共土木施設災害復旧被害報告額

平成24年7月10日～平成24年7月23日発生分

(単位：千円)

大分県	河川		砂防施設		急傾斜		道路		橋梁		下水道		港湾		公園		合計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
豊後高田土木	1	11,000															1	11,000
国東土木																		
別府土木																		
大分土木	2	29,500					3	80,800									5	110,300
臼杵土木																		
佐伯土木																		
豊後大野土木	34	1,743,214					2	7,500	1	31,500							37	1,782,214
竹田土木	137	5,453,440	4	516,680			15	232,600	1	5,000							157	6,207,720
玖珠土木	14	155,065	2	11,800			2	18,600									18	185,465
日田土木	99	1,813,921	41	771,926			32	694,370									172	3,280,217
中津土木	36	506,486	28	404,977	1	27,732	22	187,418									87	1,126,613
宇佐土木							1	20,000									1	20,000
計	323	9,712,626	75	1,705,383	1	27,732	77	1,241,288	2	36,500							478	12,723,529

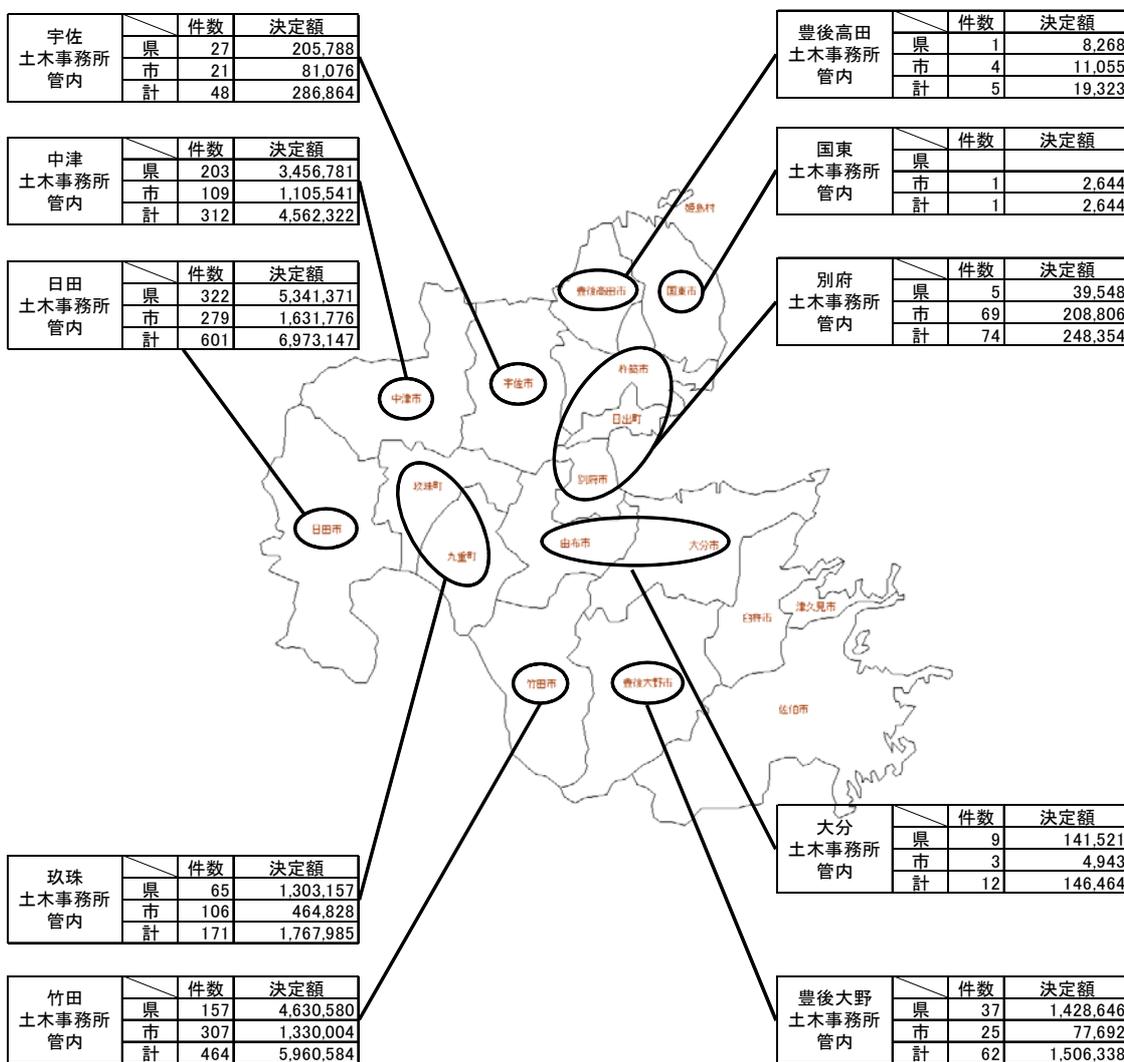
市町村	河川		砂防施設		急傾斜		道路		橋梁		下水道		港湾		公園		合計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
大分市							2	3,600									2	3,600
別府市																		
中津市	38	369,474					20	105,075	7	114,419	1	77,000					66	665,968
日田市	42	212,739					101	747,824	4	41,679							147	1,002,242
佐伯市																		
臼杵市																		
津久見市																		
竹田市	66	363,400					227	962,701	14	226,500					1	11,175	308	1,563,776
豊後高田市	1	1,400					3	11,000									4	12,400
杵築市	10	43,900					10	27,600									20	71,500
宇佐市	6	23,000															6	23,000
豊後大野市	6	13,800					17	53,850	2	25,100							25	92,750
由布市							1	1,760									1	1,760
国東市							1	2,644									1	2,644
姫島村																		
日出町							2	2,350									2	2,350
九重町	2	2,800					6	15,000									8	17,800
玖珠町	10	25,100					11	74,700									21	99,800
計	181	1,055,613					401	2,008,104	27	407,698	1	77,000			1	11,175	611	3,559,590

注) 公共土木施設災害復旧事業費国庫負担法に基づく被害報告額

平成24年 梅雨前線豪雨に伴う公共土木施設災害の状況

(単位:千円)

県全体	河川		砂防施設		急傾斜		道路		橋梁	
	件数	決定額	件数	決定額	件数	決定額	件数	決定額	件数	決定額
	県	530	11,437,050	152	2,917,656	1	27,603	138	1,975,309	4
市	352	2,137,840	0	0	0	0	531	2,130,533	35	592,942
計	882	13,574,890	152	2,917,656	1	27,603	669	4,105,842	39	789,617
県全体	下水道		港湾		公園				合計	
	件数	決定額	件数	決定額	件数	決定額			件数	決定額
	県	0	0	1	1,367	0	0			826
市	2	38,950	0	0	4	18,100			924	4,918,365
計	2	38,950	1	1,367	4	18,100			1,750	21,474,025



(4) 平成24年発生被害、工事費決定状況

公共土木施設災害決定額

平成24年6月29日～平成24年7月8日発生分

(単位：千円)

大分県	河川		砂防施設		急傾斜		道路		橋梁		下水道		港湾		公園		合計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
豊後高田土木	申請																	
豊後高田土木	決定																	
国東土木	申請																	
国東土木	決定																	
別府土木	申請	3	37,527	1	1,777												4	39,304
別府土木	決定	3	36,571	1	1,610												4	38,181
大分土木	申請	2	9,257	2	28,516												4	37,773
大分土木	決定	2	9,110	2	23,797												4	32,907
臼杵土木	申請																	
臼杵土木	決定																	
佐伯土木	申請																	
佐伯土木	決定																	
豊後大野土木	申請																	
豊後大野土木	決定																	
竹田土木	申請																	
竹田土木	決定																	
玖珠土木	申請	21	475,275	16	733,912			10	93,699								47	1,302,886
玖珠土木	決定	21	404,054	16	631,138			10	89,527								47	1,124,719
日田土木	申請	103	2,033,625	31	400,129			15	191,775	1	61,204						150	2,686,733
日田土木	決定	103	1,907,874	31	372,902			15	168,581	1	61,204						150	2,510,561
中津土木	申請	64	1,432,709	17	315,696			34	794,187	1	104,922						116	2,647,514
中津土木	決定	64	1,305,601	17	249,589			34	758,618	1	104,402						116	2,418,210
宇佐土木	申請	14	107,141	10	100,587			2	9,293								26	217,021
宇佐土木	決定	14	105,443	10	72,043			2	9,293								26	186,779
計	申請	207	4,095,534	77	1,580,617			61	1,088,954	2	166,126						347	6,931,231
計	決定	207	3,768,653	77	1,351,079			61	1,026,019	2	165,606						347	6,311,357

市町村	河川		砂防施設		急傾斜		道路		橋梁		下水道		港湾		公園		合計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
大分市	申請																	
大分市	決定																	
別府市	申請																	
別府市	決定																	
中津市	申請	20	211,226					17	106,962	6	214,686						43	532,874
中津市	決定	20	205,855					17	106,451	6	208,908						43	521,214
日田市	申請	60	508,628					66	264,429	2	31,249	1	4,079		3	7,137	132	815,522
日田市	決定	60	483,489					66	245,362	2	30,154	1	4,079		3	7,027	132	770,111
佐伯市	申請																	
佐伯市	決定																	
臼杵市	申請																	
臼杵市	決定																	
津久見市	申請																	
津久見市	決定																	
竹田市	申請																	
竹田市	決定																	
豊後高田市	申請																	
豊後高田市	決定																	
杵築市	申請	25	81,996					19	92,090								44	174,086
杵築市	決定	25	72,733					19	82,061								44	154,794
宇佐市	申請	7	35,434					8	30,256								15	65,690
宇佐市	決定	7	32,939					8	30,010								15	62,949
豊後大野市	申請																	
豊後大野市	決定																	
由布市	申請																	
由布市	決定																	
国東市	申請																	
国東市	決定																	
姫島村	申請																	
姫島村	決定																	
日出町	申請							3	5,906								3	5,906
日出町	決定							3	5,014								3	5,014
九重町	申請							3	4,139								3	4,139
九重町	決定							3	3,814								3	3,814
玖珠町	申請	59	327,085					15	40,221								74	367,306
玖珠町	決定	59	312,007					15	38,977								74	350,984
計	申請	171	1,164,369					131	544,003	8	245,935	1	4,079		3	7,137	314	1,965,523
計	決定	171	1,107,023					131	511,689	8	239,062	1	4,079		3	7,027	314	1,868,880

合計	河川		砂防施設		急傾斜		道路		橋梁		下水道		港湾		公園		合計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
申請	378	5,259,903	77	1,580,617			192	1,632,957	10	412,061	1	4,079			3	7,137	661	8,896,754
決定	378	4,875,676	77	1,351,079			192	1,537,708	10	404,668	1	4,079			3	7,027	661	8,180,237

注) 公共土木施設災害復旧事業費国庫負担法に基づく災害決定額

第3章 災害の特徴

第2節 数字から見る被害状況

公共土木施設災害決定額

平成24年7月10日～平成24年7月23日発生分

(単位：千円)

大分県	河川		砂防施設		急傾斜		道路		橋梁		下水道		港湾		公園		合計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
豊後高田市	申請	1	8,268														1	8,268
	決定	1	8,268														1	8,268
国東土木	申請																	
	決定																	
別府土木	申請												1	1,374			1	1,374
	決定												1	1,367			1	1,367
大分土木	申請	2	28,692				3	85,962									5	114,654
	決定	2	27,740				3	80,874									5	108,614
臼杵土木	申請																	
	決定																	
佐伯土木	申請																	
	決定																	
豊後大野土木	申請	34	1,665,374				2	6,288	1	24,650							37	1,696,312
	決定	34	1,398,591				2	5,466	1	24,589							37	1,428,646
竹田土木	申請	137	4,560,532	4	408,986		15	218,367	1	6,480							157	5,194,365
	決定	137	4,035,025	4	389,201		15	199,874	1	6,480							157	4,630,580
玖珠土木	申請	14	152,401	2	11,776		2	18,489									18	182,666
	決定	14	148,473	2	11,710		2	18,255									18	178,438
日田土木	申請	99	1,690,950	41	814,731		32	503,678									172	3,009,359
	決定	99	1,571,902	41	799,701		32	459,207									172	2,830,810
中津土木	申請	36	509,570	28	404,977	1	27,732	22	187,418								87	1,129,697
	決定	36	478,398	28	365,965	1	27,603	22	166,605								87	1,038,571
宇佐土木	申請							1	19,009								1	19,009
	決定							1	19,009								1	19,009
計	申請	323	8,615,787	75	1,640,470	1	27,732	77	1,039,211	2	31,130			1	1,374		479	11,355,704
	決定	323	7,668,397	75	1,566,577	1	27,603	77	949,290	2	31,069			1	1,367		479	10,244,303

市町村	河川		砂防施設		急傾斜		道路		橋梁		下水道		港湾		公園		合計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
大分市	申請						2	3,339									2	3,339
	決定						2	3,339									2	3,339
別府市	申請																	
	決定																	
中津市	申請	38	369,204				20	105,075	7	109,413	1	40,679					66	624,371
	決定	38	339,907				20	100,359	7	109,190	1	34,871					66	584,327
日田市	申請	42	220,529				101	638,392	4	45,617							147	904,538
	決定	42	213,503				101	602,545	4	45,617							147	861,665
佐伯市	申請																	
	決定																	
臼杵市	申請																	
	決定																	
津久見市	申請																	
	決定																	
竹田市	申請	66	420,281				227	790,847	14	178,217					1	11,175	308	1,400,520
	決定	66	391,449				226	751,078	14	176,404					1	11,073	307	1,330,004
豊後高田市	申請	1	1,230				3	10,013									4	11,243
	決定	1	1,230				3	9,825									4	11,055
杵築市	申請	10	29,474				10	22,618									20	52,092
	決定	10	27,179				10	19,970									20	47,149
宇佐市	申請	6	20,071														6	20,071
	決定	6	18,127														6	18,127
豊後大野市	申請	6	12,465				17	42,668	2	23,533							25	78,666
	決定	6	12,465				17	42,558	2	22,669							25	77,692
由布市	申請						1	1,604									1	1,604
	決定						1	1,604									1	1,604
国東市	申請						1	2,644									1	2,644
	決定						1	2,644									1	2,644
姫島村	申請																	
	決定																	
日出町	申請						2	1,849									2	1,849
	決定						2	1,849									2	1,849
九重町	申請	2	2,775				6	12,248									8	15,023
	決定	2	2,775				6	12,074									8	14,849
玖珠町	申請	10	24,694				11	71,165									21	95,859
	決定	10	24,182				11	70,999									21	95,181
計	申請	181	1,100,723				401	1,702,462	27	356,780	1	40,679			1	11,175	611	3,211,819
	決定	181	1,030,817				400	1,618,844	27	353,880	1	34,871			1	11,073	610	3,049,485

合計	河川		砂防施設		急傾斜		道路		橋梁		下水道		港湾		公園		合計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
申請	504	9,716,510	75	1,640,470	1	27,732	478	2,741,673	29	387,910	1	40,679	1	1,374	1	11,175	1,090	14,567,523
決定	504	8,699,214	75	1,566,577	1	27,603	477	2,568,134	29	384,949	1	34,871	1	1,367	1	11,073	1,089	13,293,788

注) 公共土木施設災害復旧事業費国庫負担法に基づく災害決定額

- (5) 「激甚災害に対処するための特別の財政援助等に関する法律」に基づく
国庫負担率の嵩上げ

平成24年6月8日から7月23日にかけて一連の気象現象としての梅雨前線及び台風4号により九州地方を中心に全国各地に甚大な被害をもたらされた。

このため、「激甚災害に対処するための特別の財政援助等に関する法律」(以下、「激甚法」という。)に基づき、当該災害を激甚災害として指定し、併せて当該災害に適用すべき措置を指定する政令が、平成24年7月31日の閣議において決定され、8月3日に公布・施行された。

激甚法に基づき、特別の財政助成措置が講じられる地方公共団体は地方公共団体の財政力を表す“標準税収”に対する“地方負担額”(査定事業費の地方負担額)の割合が5%以上である、日田市、竹田市及び玖珠町である。

なお、中津市は国庫負担率嵩上げの対象となる2市1町と同程度の甚大な被害を受けたが、指定基準を満たさないため嵩上げの対象外である。

表3-2 国庫負担率嵩上げの対象となる地方公共団体の判定

市町名	標準税収 (A)	決定財政 援助額 (B)	地方負担額 (C)	配分比率 (D=B/C)	(E=C/A)	備 考
中津市	9,325,519	-	455,635	-	0.049	
日田市	7,057,020	156,383	613,490	0.255	0.087	激甚指定
竹田市	1,870,485	303,624	540,633	0.562	0.289	激甚指定
玖珠町	1,514,644	59,502	171,554	0.347	0.113	激甚指定

表3-3 特別財政援助額算定及び国庫負担率算定表

市町名	事業別財政援助額 (公共土木)			特例対象事業の国庫負担率			
	地方負担額 (F)	配分比率 (D)	財政援助額 (G=F×D)	特例対象 事業費 (H)	国庫 負担率 (I)	嵩上国庫 負担率 (J=G/H)	特例国庫 負担率 (K=I+J)
日田市	605,011	0.255	154,222	1,677,411	0.667	0.092	0.759
竹田市	461,428	0.562	259,141	1,369,604	0.693	0.189	0.882
玖珠町	171,554	0.347	59,502	464,780	0.667	0.128	0.795

第3節 被害状況

(1) 河川の被害

① 被害状況の概要

平成24年7月、九州北部に停滞した前線に向かって暖かく湿った空気が流入することにより二度（7月3日～4日、11日～14日）の激しい豪雨が発生し、甚大な災害をもたらした。気象庁は、7月11～14日にかけて発生した豪雨を国内で初めて「これまで経験したことのないような大雨」と表現し、後に「平成24年7月九州北部豪雨」と命名した。

この豪雨は、甚大な河川災害を大分・熊本・福岡・佐賀県域を中心に九州北部にもたらした。大分県では、筑後川水系、山国川水系、大野川水系が被災し、これらの河川の流域では多数の地点で既往最大降水量が観測され、それに伴う既往最大水位(流量)が各河川で観測された。

今回の災害の特徴としては、まず10日間で二度被災する事態が生じたことがあげられる。山国川と筑後川水系花月川では、7月3日豪雨で氾濫し、その応急復旧が終了した直後の7月14日に再び被災するという地域住民にとって大変つらい事態となった。

次に、堤防の決壊である。7月3日に花月川(国直轄区間)の5k800左岸と6k200右岸の2カ所において決壊が発生した。現状では、水衝部に強い流れが当たり堤防前面基礎部分に洗堀が生じ堤防決壊に至ったと考えられている。(土木学会平成24年九州北部豪雨災害調査団)

最後に、多量の流木発生である。山腹崩壊や河岸の侵食に伴い発生した多量の流木が、主に橋梁に集積したことにより流下能力を低下させ、氾濫を助長した箇所が多くの河川で見られた。

② 河川別の浸水状況（平成24年7月の梅雨前線豪雨）

被災土木事務所（中津、日田、玖珠、竹田、豊後大野、大分）の浸水カルテにより、河川別の浸水状況を水系毎に整理した。

表3-4 筑後川水系の浸水状況

河川名	宅地 (h a)	田・畑 (h a)	山林 (h a)	計 (h a)	床上 (戸)	床下 (戸)	備考
大肥川	0.06	1.23		1.29		2	
鶴河内川	0.13	1.21		1.34	1	3	
内河野川		0.29	0.14	0.43			
二串川	0.27	24.43		24.70	2	9	
花月川	0.53	1.83		2.36	3	4	
渡里川	0.10	0.39		0.49			
有田川	5.12	48.18		53.30	57	45	
石松川		3.92	1.29	5.21			
熊尾川	0.50	9.93	2.99	13.42	7	9	
蕪谷川	0.77	3.42		4.19	1	1	
小野川	1.68	4.43		6.11	8	9	
一の瀬川	0.40	0.60		1.00			
串川	0.03	1.49	0.22	1.74		1	
高瀬川	1.05	2.42	0.96	4.43		2	
月出山川		2.24		2.24			
浦河内川	0.30	10.60		10.90		2	
太田川	0.40	19.80		20.20	3	4	
山下川		3.70		3.70			
森川	0.10			0.10	1	2	
大九郎川	0.30	2.10		2.40		1	
谷川	0.10	0.10		0.20		2	
合計	11.84	142.31	5.60	159.75	83	96	

表3-5 山国川水系の浸水状況

河川名	宅地 (h a)	田・畑 (h a)	山林 (h a)	計 (h a)	床上 (戸)	床下 (戸)	備考
山国川	22.80	96.90		119.70	185	60	
跡田川	0.19			0.19		2	
西谷川	0.26	1.81	0.07	2.14		2	
木ノ子川	0.66	1.98		2.64	2	7	
三尾母川	0.04	0.40		0.44		2	
津民川	1.17	6.94	0.28	8.39	11	2	
山移川	2.50	4.29	0.32	7.11	15	24	
金吉川	3.30	30.80		34.10	26	14	
下河内川		0.30		0.30			
樋山路川	0.20	2.56		2.76	2	3	
春田川		12.50		12.50			
合計	31.12	158.48	0.67	190.27	241	116	

表 3-6 大野川水系の浸水状況

河川名	宅地 (h a)	田・畑 (h a)	山林 (h a)	計 (h a)	床上 (戸)	床下 (戸)	備考
大野川		2.29		2.29			大分土木管内
	0.42	71.50	1.30	73.22	9	3	豊後大野土木管内
	0.96	29.54		30.50	9	1	竹田土木管内
大谷川		21.26		21.26			
宮谷川		4.07		4.07			
大内川		15.22		15.22			
戸次古川		43.24		43.24			
奥岳川		1.10		1.10			
平井川		6.40		6.40			
酒井寺川		0.10		0.10			
小賀川	0.10	0.30		0.40		1	
真竹川		0.20		0.20			
緒方川		12.30	0.60	12.90			
徳田川		0.20		0.20			
間戸川		1.90		1.90			
濁淵川	5.59	12.41		18.00	18	12	
稲葉川	3.53	16.57		20.10	56	14	
玉来川	13.77	41.63		55.40	147	18	
矢倉川	2.76	4.34		7.10	36	6	
滝水川	1.90	31.30		33.20	6	4	
合計	29.03	315.87	1.90	346.80	281	59	

表 3-7 犬丸川の浸水状況

河川名	宅地 (h a)	田・畑 (h a)	山林 (h a)	計 (h a)	床上 (戸)	床下 (戸)	備考
犬丸川	0.15	3.58		3.73		1	

③ 河川の被害状況写真

□ 筑後川水系

串川出水状況（日田市大字高瀬）



小野川被災状況（日田市大字小野）



熊尾川被災状況（日田市大字羽田）



大肥川出水状況（日田市大字夜明）



有田川出水状況（日田市大字羽田）



有田川被災状況（日田市大字東有田）



有田川出水状況（日田市大字東有田、日掛橋付近）



提供：大分合同新聞社

有田川出水状況（日田市大字有田）



花月川被災状況（日田市大字花月）



花月川被災状況（日田市大字花月）



□山国川水系

山国川出水状況（中津市山国町中摩、中摩橋付近）



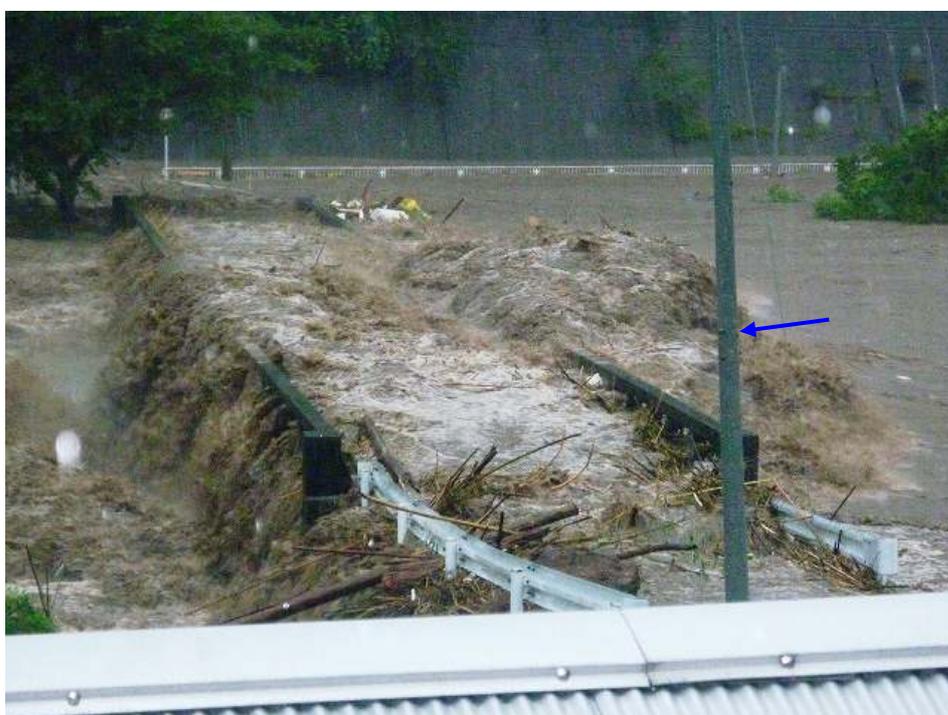
山国川出水状況（中津市耶馬溪町大字大島、雲輿橋付近）



山国川浸水状況（中津市耶馬溪町大字樋山路）



山国町出水状況（中津市耶馬溪町大字大島、柳ヶ平橋付近）



春田川被災状況（中津市山国町中摩）



春田川被災状況（中津市山国町中摩）



金吉川出水状況（玖珠町大字古後）



金吉川出水状況（玖珠町大字古後）



金吉川被災状況（玖珠町大字古後）



金吉川出水状況（中津市耶馬溪町大字金吉、妙見橋付近）



津民川浸水状況（中津市耶馬溪町大字栃木）



津民川浸水状況（中津市耶馬溪町大字栃木）



□大野川水系

大野川被災状況（竹田市大字片ヶ瀬）



大野川被災状況（竹田市大字片ヶ瀬、滑瀬橋付近）



大野川出水状況（豊後大野市緒方町軸丸、猿飛橋付近）



大野川浸水状況（豊後大野市三重町上田原）



大野川浸水状況（豊後大野市三重町浅瀬、平成大橋付近）



大野川出水状況（大分市大字毛井）



滝水川被災状況（竹田市荻町南河内）



滝水川被災状況（竹田市大字穴井迫）



矢倉川出水痕跡（竹田市大字君ヶ園、玉洗橋付近）



玉来川被災状況（竹田市大字玉来、稲荷橋付近）



玉来川出水状況（竹田市大字玉来、桜瀬橋付近）



玉来川被災状況（竹田市大字玉来）



玉来川（旧河道）出水状況（竹田市大字玉来）



玉来川からのはん濫状況（竹田市大字竹田）



竹田総合庁舎浸水状況（竹田市大字竹田）



竹田土木事務所片付け状況



□ 犬丸川水系

犬丸川出水状況（中津市三光上秣）



犬丸川出水状況（中津市三光上秣）



④河川の被害航空写真

□筑後川水系

有田川（花月川合流点付近）



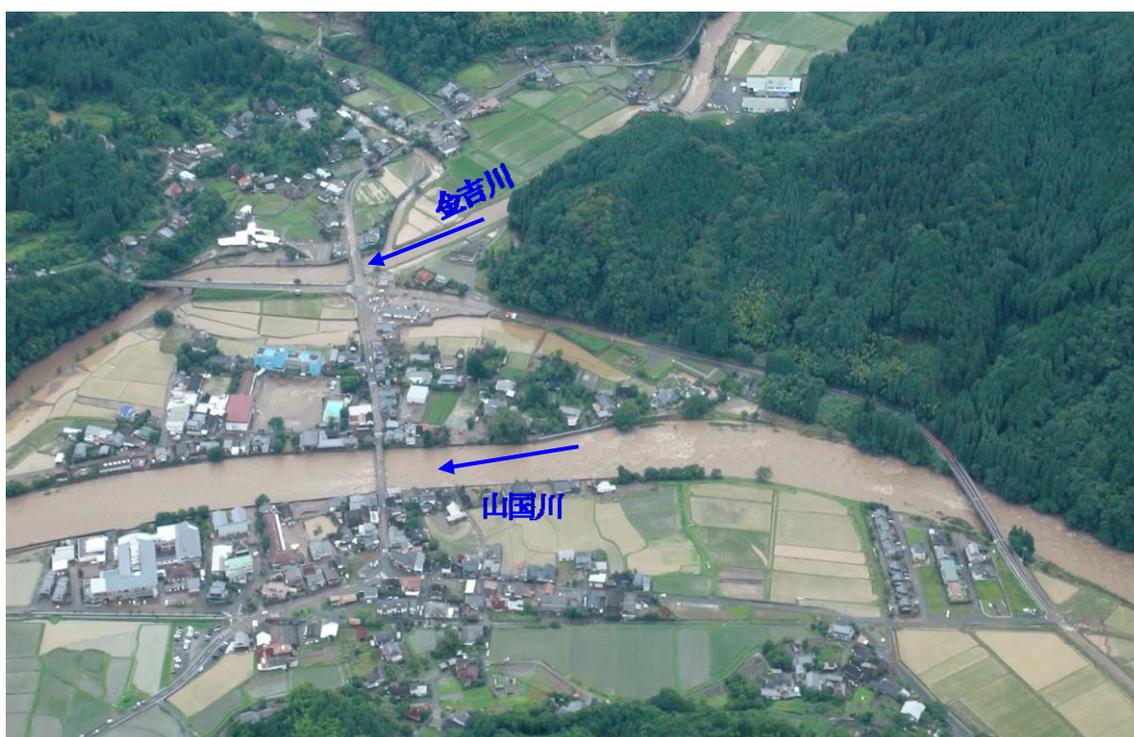
花月川（日田市大字三和付近）



□山国川水系
山国川（柳ヶ平橋付近）



山国川（中津市耶馬溪町大字大島付近）

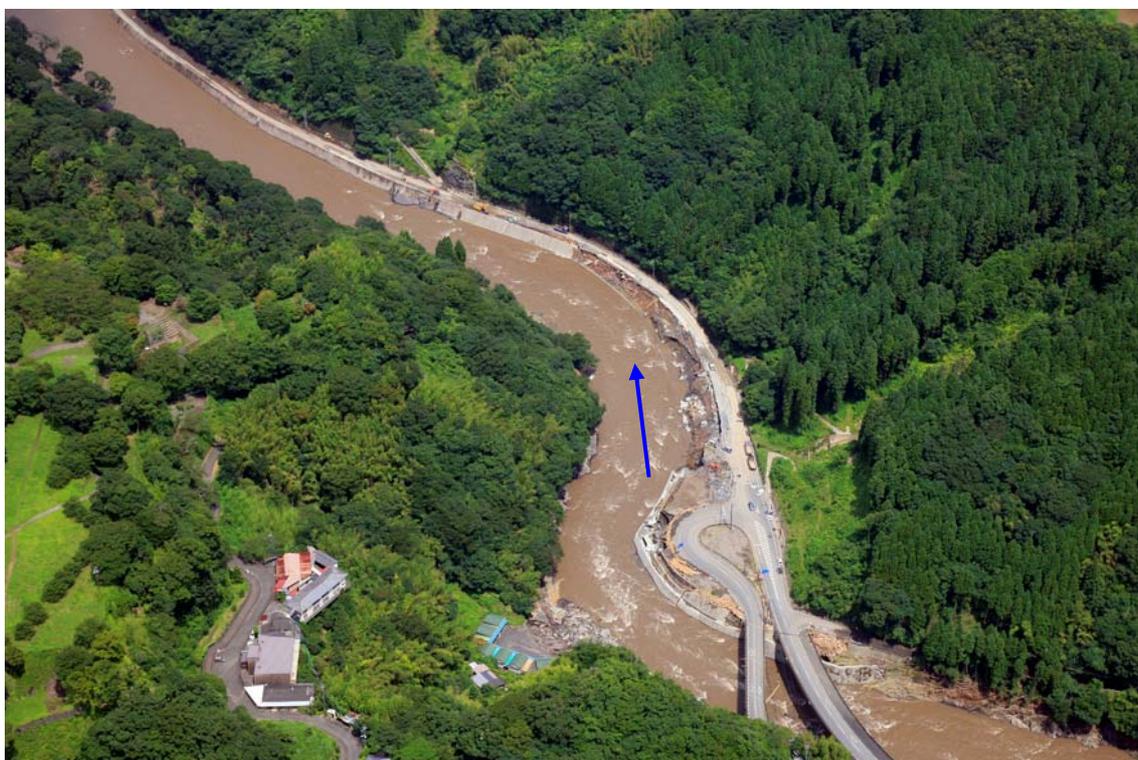


□大野川水系

大野川（県道竹田五ヶ瀬線・魚住橋付近）



大野川（国道 502 号・滑瀬橋付近）



玉来川（竹田市大字玉来付近）



玉来川（井手添橋付近）



滝水川（蕨菜橋付近）



滝水川（竹田市萩町南河内付近）



(2) 砂防の被害

①被害状況の概要

平成24年7月3日～4日、11日～14日の豪雨により、土砂災害が各地に発生した。県内各地で「これまで経験したことのないような大雨」が降り、大きな災害が発生した地域では、降雨量が、6月8日の梅雨入りから7月14日までに累計1,000mmを超えた。

この豪雨のため、山間部で土砂災害が多数発生した。7月3日～14日までに発生した土砂災害は、「土石流」が5件、「土砂流出」が1件、「がけ崩れ」が44件の計50件にのぼった。

表 3-8 土砂災害発生数集計（7月3日、7月11日～12日）

被災年月日	災害名	件数	災害箇所	土砂災害		
				がけ崩れ	土石流	土砂流出
H24. 7. 3	梅雨前線豪雨	23	由布市		1	
			竹田市	1		
			杵築市	1		
			宇佐市	2		
			玖珠町	4		
			中津市	5	1	
			日田市	7	1	
			小計	20	3	
H24. 7. 11～12	梅雨前線豪雨	27	大分市	1		
			豊後大野市	1		
			豊後高田市	2		
			宇佐市	2		
			中津市	2		
			日田市	2	2	1
			竹田市	14		
			小計	24	2	1
合計				44	5	1

②土砂災害による被害状況写真

柚ノ木川土石流被災状況（日田市大字鶴河内）



板地川土砂流出被災状況（別府市大字南立石）



紙漉地区がけ崩れ被災状況（竹田市大字川床）

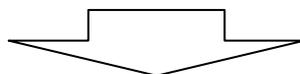


浦久保地区がけ崩れ被災状況（竹田市大字古園）

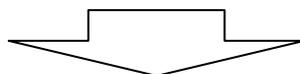


③砂防堰堤の整備効果

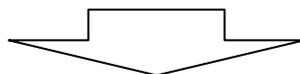
湯ノ坪川砂防堰堤の土石流捕捉状況（由布市湯布院町川上）



所小野川砂防堰堤の土石流捕捉状況（中津市山国町小屋川）



田良川砂防堰堤の土石流捕捉状況（中津市山国町草本）



(3)道路、橋梁等の被害

①被害状況の概要

平成24年7月3日～4日、11日～14日の二度の激しい豪雨により、県管理の道路、橋梁にも甚大な被害がもたらされた。

豪雨による河川の氾濫により、河川沿いの多くの道路が護岸の洗掘により決壊した。また、山間部では、豪雨による自然法面の崩壊が発生し、中津、日田、玖珠、豊後大野、別府土木事務所が管理する国道、主要地方道、一般県道の多くが全面通行止めの処置を余儀なくされた。

道路のみではなく、橋梁の被害も甚大であり、山国川に架かっていた一般県道中津山国自転車道線の第二山国川橋は、7月3日の豪雨により、橋脚3脚と上部工の一部が流失した。その他も県道において、豪雨時の橋梁による堰上げのためと思われる橋台背面の流出があり、現在対応中である。

県内では二度の豪雨により、64路線が全面通行止めとなり、被災後の復旧活動や住民生活に甚大な影響を及ぼした。

表 3-9 全面通行止め箇所の原因別内訳表（7月3日～4日、11日～14日）

道路種別	崩土				決壊						落橋	構造物崩壊		冠水			通行規制			小計	路線数		
	自然法面崩壊	土石流	倒木	土砂堆積	道路崩壊	道路決壊	舗装めくれ	路肩崩壊	路肩陥没	路面洗掘		路面崩壊	橋梁被害	構造物崩壊	九電柱倒壊	冠水	冠水・歩道決壊	冠水・土砂堆積	事前通行規制			事前規制	特殊通行規制
国道	5				4										14	1		1			25	8	211号、212号、326号、386号、442号、496号、500号、502号
	5				4								15			1							
主要地方道	23	1			1	1	1	2	1			1			7			2	1		41	16	日田玖珠線 日田鹿本線 竹田五ヶ瀬線ほか
	24				6							1	7			3							
一般地方道	68	1	3	1	8			6	2	1	1	2	1		16		1	1		1	113	40	宝珠山日田線 朝日日田線 日田山国線ほか
	73				18						2	1	17			2							
計	102				28						2	2	39			6			179	64			

②道路、橋梁の被害状況写真

国道 212 号冠水状況（日田市大字三和）



国道 386 号被災状況（日田市大字夜明）



(主) 緒方朝地線（猿飛橋付近）被災状況（豊後大野市緒方町軸丸）



(主) 高森竹田線被災状況（竹田市大字竹田）



(主) 玖珠山国線被災状況 (玖珠町大字山下)



(主) 玖珠山国線被災状況 (玖珠町大字山下)



(主) 耶馬溪院内線被災状況 (中津市耶馬溪町大字深耶馬)



(一) 白丹竹田線被災状況 (竹田市大字刈小野)



(一)宝珠山日田線被災状況（日田市大字小野）



(一)中津山国自転車道線（第二山国川橋）被災状況
（中津市耶馬溪町大字栃木）



(4) その他被害

① 流木、ゴミ被害状況の概要

平成24年7月3日～4日、11日～14の梅雨前線による豪雨により発生した洪水のため、各河川の流域から流木やゴミ等が流出し県内沿岸に漂着した。

特に、別府湾沿岸域の海岸線には、多量の流木、ゴミ等が漂着し清掃作業に時間と経費を要した。

表3-10 各土木事務所別の流木等被害状況

土木名	施設別	海岸名	処理量 (m ³)	処理額 (円)	所管	事業名
国東	海岸	国東海岸 (小原地区)	80	908,250	水管理・ 国土保全局	災害関連緊急大規模漂着流木等 処理対策事業
	海岸	安岐海岸 (塩屋地区)	260	2,520,000	水管理・ 国土保全局	災害関連緊急大規模漂着流木等 処理対策事業
		計	340	3,428,250		
別府	海岸	杵築海岸 (奈多地区)	1,220	20,829,900	水管理・ 国土保全局	災害関連緊急大規模漂着流木等 処理対策事業
	海岸	守江港海岸 (住吉浜)	140	2,439,150	港湾局	災害関連緊急大規模漂着流木等 処理対策事業
	港湾	守江港 (灘手地区)	200	2,194,500	港湾局	単県施設災害復 旧事業
	港湾	守江港 (納屋地区)	180	1,805,500	港湾局	単県施設災害復 旧事業
	港湾	守江港 (納屋地区)	308	3,096,450	港湾局	公共施設災害復 旧事業
	海岸	真那井海岸	100	1,215,900	水管理・ 国土保全局	災害関連緊急大規模漂着流木等 処理対策事業
	海岸	日出海岸 (糸ヶ浜地区)	1,130	13,454,700	水管理・ 国土保全局	災害関連緊急大規模漂着流木等 処理対策事業
	海岸	日出港海岸 (須崎地区)	10	131,250	港湾局	港湾単費
	海岸	豊岡海岸 (平道地区)	20	236,250	水管理・ 国土保全局	河川単費
	海岸	別府港海岸	2,060	29,057,700	港湾局	災害関連緊急大規模漂着流木等 処理対策事業
			計	5,368	74,461,300	
合計	海岸	計(水管理・国土保 全局海岸)	2,810	39,165,000		
		計(港湾局海岸)	2,210	31,628,100		
	港湾	計(港湾)	688	7,096,450		

②流木、ゴミ等の被害状況写真
国東海岸（小原地区）



安岐海岸（塩屋地区）



杵築海岸（奈多地区）



守江港海岸（住吉浜地区）



守江港（納屋地区）



真那井海岸



日出海岸（糸ヶ浜地区）



日出港海岸（須崎地区）



豊岡海岸（平道地区）



別府港海岸（関ノ江地区）



別府港海岸（上人ヶ浜地区）



別府港海岸（餅ヶ浜地区）



別府港海岸（的ヶ浜地区）



別府港（ヨットハーバー）



第4章 水防活動及び被災地への対応

第1節 水防警報発令状況

水防警報の発令状況は以下の通りであった。

表 4-1 水防警報発令状況

日時	国管理		県管理	
	河川	地点	河川	地点
7月3日	3	6	21	22
7月4日	1	2	8	8
7月5日			4	4
7月12日	9	8	25	25
7月13日	5	8	22	22
7月14日	6	9	30	29

7月3日の水防警報発表状況（国管理）

発表機関	河川名	観測所	発令		解除	
山国川河川	山国川	下唐原	7/3	8:10	7/3	15:10
		柿坂	7/3	7:20	7/4	0:10
		金谷	7/3	8:30	7/3	13:40
		上曾木	7/3	7:00	7/4	2:50
筑後川河川	花月川	花月	7/3	7:20	7/3	20:20
	筑後川	小渕	7/3	9:10	7/3	16:00

7月3日の水防警報発表状況（大分県管理）

発表機関	河川名	観測所	発令		解除	
豊後高田土木	桂川	泉橋	7/3	7:20	7/3	14:00
	真玉川	千原橋	7/3	7:50	7/3	17:55
別府土木	八坂川	八坂橋	7/3	9:00	7/3	14:40
	高山川	宮司川	7/3	6:45	7/3	15:35
	石丸川	角石橋	7/3	7:00	7/3	14:00
大分土木	宮川	宮川橋	7/3	8:45	7/3	15:05
玖珠土木	森川	森川橋	7/3	8:30	7/3	12:00
日田土木	渡里川	養面寺橋	7/3	6:30	7/3	19:20
	高瀬川	鰐淵橋	7/3	8:20	7/3	19:20
	串川	石井橋	7/3	8:00	7/3	19:20
	玖珠川	天ヶ瀬橋	7/3	8:40	7/3	19:20
	有田川	日の掛橋	7/3	8:00	7/3	19:20
中津土木	山国川	宇治見橋	7/3	6:55	7/4	0:00
	犬丸川	川面橋	7/3	6:45	7/3	16:20
	蛸瀬川	蛸瀬橋	7/3	5:55	7/3	15:10
	跡田川	耶馬橋	7/3	9:00	7/3	15:10
宇佐土木	津房川	上荘橋	7/3	7:25	7/3	12:00
	駅館川	別府橋	7/3	8:40	7/3	14:50
		小松橋	7/3	10:30	7/3	11:50
	寄藻川	寄藻橋	7/3	7:23	7/3	12:00
	深見川	安心院大橋	7/3	8:00	7/3	12:00
	伊呂波川	伊呂波橋	7/3	6:45	7/3	12:30

7月4日の水防警報発表状況（国管理）

発表機関	河川名	観測所	発令		解除	
山国川河川	山国川	上曾木	7/4	9:20	7/4	20:30
		柿坂	7/4	9:20	7/4	17:50

7月4日の水防警報発表状況（大分県管理）

発表機関	河川名	観測所	発令		解除	
豊後高田土木	桂川	泉橋	7/4	11:10	7/4	17:05
日田土木	渡里川	養面寺橋	7/4	10:15	7/4	12:00
	高瀬川	鰐淵橋	7/4	10:25	7/4	19:10
	串川	石井橋	7/4	10:25	7/4	19:10
	玖珠川	天ヶ瀬橋	7/4	10:25	7/4	19:10
	有田川	日の掛橋	7/4	10:30	7/4	19:10
中津土木	山国川	宇治見橋	7/4	10:10	7/4	19:50
宇佐土木	伊呂波川	伊呂波橋	7/4	11:00	7/4	16:00

7月5日の水防警報発表状況（大分県管理）

発表機関	河川名	観測所	発令		解除	
日田土木	高瀬川	鰐淵橋	7/5	2:30	7/5	8:00
	玖珠川	天ヶ瀬橋	7/5	2:00	7/5	8:00
	有田川	日の掛橋	7/5	2:00	7/5	8:00
中津土木	山国川	宇治見橋	7/5	2:55	7/5	7:50

7月12日の水防警報発表状況（国管理）

発表機関	河川名	観測所	発令		解除	
大分河川国道	賀来川	宮苑	7/12	3:20	7/12	10:40
	七瀬川	胡麻鶴	7/12	5:00	7/12	13:20
	大分川	同尻	7/12	3:50	7/12	10:40
		府内大橋	7/12	7:50	7/12	10:40
	大野川・乙津川	鶴崎橋	7/12	10:50	7/12	15:30
	判田川・立小野川	白滝橋	7/12	8:30	7/12	14:10
筑後川河川	花月川	花月	7/12	1:20	7/12	8:50
	筑後川	小湊	7/12	5:10	7/12	18:10

7月12日の水防警報発表状況（大分県管理）

発表機関	河川名	観測所	発令		解除	
大分土木	七瀬川	一ノ瀬橋	7/12	6:20	7/12	12:10
	宮川	宮川橋	7/12	2:17	7/12	9:30
	戸次古川	静橋	7/12	8:25	7/12	15:45
	尼ヶ瀬川	尼ヶ瀬樋門	7/12	4:15	7/12	12:10
	大野川	筒井大橋	7/12	8:10	7/12	15:45
	北鼻川	大堀樋門	7/12	9:40	7/12	15:00
	祓川	祓川	7/12	2:37	7/12	12:10
臼杵土木	熊崎川	堂籠橋	7/12	4:40	7/12	12:00
佐伯土木	市園川	ふれあい橋	7/12	7:00	7/12	11:00
	門前川	門前南2号橋	7/12	5:50	7/12	11:00
豊後大野土木	大野川・柴北川	犬飼	7/12	7:50	7/12	14:30
	大野川	向野橋	7/12	6:05	7/12	18:30
	茜川	新殿橋	7/12	7:33	7/12	14:30
	平井川・真竹川 小賀川	朝地橋	7/12	4:00	7/12	14:30
竹田土木	稲葉川	騎牟礼大橋	7/12	3:25	7/12	14:15
	玉来川	桜瀬橋	7/12	3:45	7/12	14:00
	芹川	桑畑橋	7/12	2:32	7/12	14:15
	大野川	中尾橋	7/12	4:30	7/12	14:15
	緒方川	入田橋	7/12	5:10	7/12	14:15
日田土木	渡里川	養面寺橋	7/11	23:50	7/12	7:50
	高瀬川	鰐淵橋	7/12	0:45	7/12	7:50
	串川	石井橋	7/12	0:35	7/12	7:50
	玖珠川	天ヶ瀬橋	7/12	2:10	7/12	11:50
	有田川	日の掛橋	7/11	23:50	7/12	8:20
中津土木	山国川	宇治見橋	7/12	0:45	7/12	5:40

7月13日の水防警報発表状況（国管理）

発表機関	河川名	観測所	発令		解除	
			日	時刻	日	時刻
大分河川国道	七瀬川	胡麻鶴	7/13	14:40	7/13	19:00
	大分川	同尻	7/13	15:30	7/13	17:15
山国川河川	山国川	下唐原	7/13	13:20	7/13	17:30
		柿坂	7/13	12:20	7/15	1:40
		金谷	7/13	14:30	7/13	17:00
		上曾木	7/13	12:20	7/15	2:30
筑後川河川	花月川	花月	7/13	12:20	7/15	17:00
	筑後川	小淵	7/13	12:00	7/16	6:10

7月13日の水防警報発表状況（大分県管理）

発表機関	河川名	観測所	発令		解除	
			日	時刻	日	時刻
豊後高田土木	桂川	泉橋	7/13	14:20	7/13	21:00
別府土木	高山川	宮司川	7/13	13:10	7/13	16:30
	石丸川	角石橋	7/13	12:40	7/13	16:30
大分土木	七瀬川	一ノ瀬橋	7/13	16:10	7/13	23:20
	宮川	宮川橋	7/13	13:40	7/13	19:00
	祓川	祓川	7/13	13:45	7/13	20:20
	平川・小槐木川	合流点	7/13	13:50	7/13	20:20
	志生木川	十谷橋	7/13	14:10	7/14	5:30
豊後大野土木	大野川	向野橋	7/13	17:30	7/13	22:00
竹田土木	稲葉川	騎牟礼大橋	7/13	14:53	7/13	20:30
	玉来川	桜瀬橋	7/13	16:24	7/13	21:25
	芹川	桑畑橋	7/13	14:15	7/13	20:35
	大野川	中尾橋	7/13	18:25	7/13	20:35
日田土木	高瀬川	鰐淵橋	7/13	14:10	7/15	9:00
	串川	石井橋	7/13	14:10	7/16	0:15
	玖珠川	天ヶ瀬橋	7/13	12:15	7/15	9:00
	有田川	日の掛橋	7/13	12:45	7/15	0:20
中津土木	犬丸川	川面橋	7/13	12:20	7/13	20:40
	山国川	宇治見橋	7/13	12:10	7/15	5:20
	跡田川	耶馬橋	7/13	12:50	7/13	17:00
宇佐土木	寄藻川	寄藻橋	7/13	13:40	7/13	16:00
	伊呂波川	伊呂波橋	7/13	12:40	7/13	16:00

7月14日の水防警報発表状況（国管理）

発表機関	河川名	観測所	発令		解除	
山国川河川	山国川	下唐原	7/14	6:00	7/14	12:50
		金谷	7/14	7:00	7/14	12:30
大分河川国道	賀来川	宮苑	7/14	12:40	7/14	15:00
	七瀬川	胡麻鶴	7/14	10:50	7/14	15:00
	大分川	同尻	7/14	10:10	7/14	17:40

7月14日の水防警報発表状況（大分県管理）

発表機関	河川名	観測所	発令		解除	
豊後高田土木	桂川	泉橋	7/14	6:00	7/14	20:50
	真玉川	千原橋	7/14	6:00	7/14	19:10
	竹田川	樋の口橋	7/14	7:00	7/14	11:00
別府土木	高山川	宮司川	7/14	7:40	7/14	20:35
	石丸川	角石橋	7/14	7:30	7/14	20:35
大分土木	七瀬川	一ノ瀬橋	7/14	10:40	7/14	19:50
	大分川	碩南大橋	7/14	10:00	7/14	20:00
	宮川	宮川橋	7/14	7:45	7/14	19:25
	尼ヶ瀬川	尼ヶ瀬樋門	7/14	10:55	7/14	19:40
	平川・小槐木川	合流点	7/14	7:30	7/14	20:00
竹田土木	稲葉川	騎牟礼大橋	7/14	10:06	7/14	16:10
	玉来川	桜瀬橋	7/14	10:23	7/14	16:50
	芹川	桑畑橋	7/14	9:10	7/14	15:10
玖珠土木	町田川	第一桐木橋	7/14	7:50	7/14	23:30
	野上川	寺田橋	7/14	10:00	7/14	22:00
日田土木	渡里川	養面寺橋	7/14	11:50	7/15	0:20
中津土木	犬丸川	川面橋	7/14	2:40	7/14	20:45
	蛸瀬川	蛸瀬橋	7/14	5:20	7/14	19:00
	跡田川	耶馬橋	7/14	6:00	7/14	11:50
宇佐土木	津房川	上荘橋	7/14	7:20	7/14	20:50
	駅館川	別府橋	7/14	5:50	7/14	20:50
	寄藻川	寄藻橋	7/14	6:50	7/14	20:50
	深見川	安心院大橋	7/14	7:30	7/14	20:50
	伊呂波川	伊呂波橋	7/14	2:50	7/14	20:50

第2節 大分県災害対策本部設置状況

豪雨の発生に伴い、下記の期間災害対策本部が設置され災害対応を行った。

表 4-2 災害対策本部設置の経過状況

期日及び時間	設置対象
7月 3日 (11:30) ～7月 3日 (19:30)	梅雨前線による豪雨
7月 12日 (10:00) ～7月 12日 (17:00)	梅雨前線による豪雨
7月 14日 (13:00) ～7月 15日 (9:30)	梅雨前線による豪雨

第3節 災害視察

今回の被害は、多地域にわたり、被災直後の7月5日～20日にかけて内閣総理大臣をはじめ、防災担当大臣、農林水産大臣、衆参両院の政府視察団が相次ぎ現地を訪れた。

内閣総理大臣視察の際には、広瀬知事から緊急要望書の提出が行われた。

表 4-3 災害視察の経過状況

期日	視察団名	視察者	視察先
7月 5日	政府調査団	後藤防災担当副大臣	日田市
7月 14日	政府調査団	中川防災担当大臣	竹田市
7月 14日	政府調査団	岩本農林水産副大臣	由布市
7月 16日	政党調査団	谷垣自民党総裁	竹田市
7月 16日	政府調査団	森本農林水産大臣	竹田市
7月 18日	衆議院災害対策特別委員会		中津市、日田市
7月 20日	参議院災害対策特別委員会		日田市
7月 20日	内閣総理大臣	野田総理大臣	日田市
7月 20日	政府調査団	中川防災担当大臣	中津市

第4節 災害応援派遣

7月3日及び7月12日、県内において大規模な災害の発生が想定されたため、「九州地方における大規模な災害時の応援に関する協定」に基づき、国土交通省からリエゾン（現地情報連絡員）が派遣され、防災ヘリコプター「はるかぜ」による現地調査などにより迅速な被災状況の把握が行われた。

また、九州地方整備局は県内すべての市町村とも「災害時応援協定」を締結しており、中津市、日田市、竹田市、玖珠町にもリエゾン、さらに、TEC-FORCE（緊急災害援助隊）やTEC-DOCTOR（緊急災害対策派遣ドクター）が派遣された。

由布市の岳本川では、警戒避難体制構築の技術支援を目的に国土交通本省へ専門家の派遣を要請し、7月5日から2日間にわたり現地調査が行われた。

さらに、公共土木施設等の災害復旧にあたっては、「九州・山口9県災害時応援協定」に基づき、平成24年9月1日から平成25年3月31日の間、長崎県、宮崎県、鹿児島県から土木技術職員が派遣され、早期復旧に大きく貢献した。

TEC-FORCE による被災調査状況（日田市）



写真提供：九州地方整備局

表 4-4 九州・山口9県災害時応援協定に基づく県職員の受入れ状況

職 種	受入期間	受入 所 属 及 び 人 数					計
		豊肥振興局	西部振興局	北部振興局	日田土木事務所	中津土木事務所	
農 業 土 木	H24.10.1 ～ H24.12.31	1	1	1			3
林 業	H24.9.1 ～ H25.3.31	1	1				2
土 木	H24.9.1 ～ H25.3.31				2	1	3
計		2	2	1	2	1	8

九州地方における大規模な災害時の応援に関する協定書

国土交通省九州地方整備局（以下「九州地整」という。）企画部長と大分県土木建築部長は、災害対策基本法第77条に関して、国土交通省所管施設（直轄施設を除く。以下「所管施設」という。）に大規模な災害（暴風、豪雨、豪雪、洪水、高潮、地震、津波、噴火等の自然災害により、社会的な影響が大きい重大な災害をいう。以下同じ）が発生し、または発生するおそれがある場合の応援に関する内容等を定め、もって被害の拡大や二次災害の防止を目的として、次のとおり協定を締結する。

なお、「九州地方における大規模な災害時の応援に関する申し合わせ」（平成21年4月23日）については、廃止するものとする。

（応援内容）

第1条 応援内容は、次の事項の実施に係る資機材や職員の応援に関するものとする。

- （1）施設の被害状況の把握
- （2）情報連絡網の構築
- （3）現地情報連絡員（リエゾン）の派遣
- （4）災害応急措置
- （5）その他必要と認められる事項

（被災状況の連絡及び現地情報連絡員の派遣）

第2条 大分県内の所管施設に大規模な災害が発生し、または発生のおそれがある場合には、相互に連絡するものとする。なお、大分県土木建築部長の要請があった場合、または大分県において「災害警戒本部」又は「災害対策本部」が設置され九州地整局長が必要と判断した場合は、九州地整局長は現地情報連絡員を大分県に派遣し情報交換を行うものとする。この場合、大分県土木建築部長は現地情報連絡員の活動場所を災害対策本部等に確保するよう努めるものとする。

（応援の実施）

第3条 九州地整局長は、大分県土木建築部長からの応援要請に対して、必要性について判断のうえ、応援を行うものとする。

（応援要請の手続）

第4条 大分県土木建築部長は、大分県内の所管施設に大規模な災害が発生または発生のおそれがあり、九州地整の応援を必要とする場合、九州地整企画部長に電話等により応援要請を伝え、すみやかに別紙-1の文書にて応援要請を提出するものとする。

2 九州地整企画部長は、前項の要請を受け、応援を行う場合には、大分県土木建築部

長に電話等により応援する旨を伝え、すみやかに別紙－2の文書にて応援内容を通知する。

（応援要請の手続きができない場合の応援）

第5条 大分県内の所管施設に大規模な災害が発生し、被災による相互の連絡不能などにより応援要請の手続きができない場合であっても、特に緊急を要し、かつ要請を待ついとまがないと認められる場合は、九州地整局長が独自の判断により応援できるものとする。この場合、あらかじめ九州地整企画部長は大分県土木建築部長に電話等により応援する旨を伝え、すみやかに別紙－3の文書にて応援内容を通知する。ただし、連絡網が寸断されている等、連絡を取ることが困難であるときは、事前に連絡することを要しない。

（経費の負担）

第6条 第1条に規定する応援を行った場合の経費の負担については次のとおりとする。

（1）災害初動時に第1条（1）、（2）及び（3）の応援を行う場合

九州地整の負担とする。なお、災害初動時とは、原則として九州地整が災害等支援本部を設置している期間とする。

（2）第1条（4）及び（5）の応援を行う場合

原則として応援を受けた機関の負担とするが、第1条（4）の応援を行う場合で、次の①～④の全てに該当する場合は、原則として九州地整の負担とする。

- ① 大規模な災害である場合。
- ② 国土交通本省が非常又は緊急災害対策本部を設置、若しくは非常体制を発令している場合。
- ③ 被害拡大や二次災害の防止のための必要最低限の緊急対応である場合（施設復旧ではない。）。
- ④ 広域災害等で、本来緊急対応を実施すべき者が不明（未調整）、もしくは連絡不能や連絡するいとまがない場合で、応急措置や災害復旧事業の主体や分担が決定されるまでの間。

（平常時の連絡）

第7条 九州地整企画部と大分県土木建築部は、防災に関する情報や資料の交換を行い、応援の円滑な実施を図るものとする。

（その他）

第8条 この協定書に定めのない事項、または疑義が生じた事項については、九州地整企画部長と大分県土木建築部長が協議して定めるものとする。

2 この協定書に関する実務責任者は、九州地整においては企画部防災課長、大分県に

おいては別表－1のとおりとする。

(運用)

第9条 この協定書は、平成23年3月8日から適用するものとする。

平成23年3月8日

福岡県福岡市博多区博多駅東二丁目10番7号

国土交通省九州地方整備局 企 画 部 長



大分県大分市大手町3丁目1番1号

大 分 県 土 木 建 築 部 長



九州・山口9県災害時相互応援協定

(趣 旨)

第1条 この協定は、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県及び山口県(以下「九州・山口9県」という。)において、大規模な災害が発生し、被災県独自では十分に応急措置が実施できない場合において、九州・山口9県相互間の応援を円滑に行うために必要な事項について定めるものとする。

(応援項目)

第2条 応援項目は次のとおりとする。

- 一 災害応急措置に必要な職員の派遣
- 二 食料、飲料水及び生活必需品の提供
- 三 避難・収容施設及び住宅の提供
- 四 緊急輸送路及び輸送手段の確保
- 五 医療支援
- 六 その他災害応急措置の応援のため必要な事項

(協定の運用体制)

第3条 本協定の円滑な運用を図るため、幹事県及び副幹事県を置く。

- 2 幹事県は、本協定の定めるところにより、協定運用の総合調整に当たる。
- 3 副幹事県は、幹事県が被災等によりその事務を遂行出来ない場合において、幹事県の事務を代行する。
- 4 幹事県及び副幹事県は、別に定める九州・山口9県の輪番によるものとし、その任期は1年とする。
- 5 各県は本協定の運用に関する総合連絡担当部局及び前条各号に定める応援項目ごとの担当部局をあらかじめ定め、災害が発生したときは、総合連絡担当部局を通じ速やかに必要な情報を相互に連絡するものとする。

(応援要請手続等)

第4条 応援を受けようとする被災県は、災害の状況及び必要とする応援内容を明らかにして、直ちに電話又はファクシミリ等により関係県に対して応援を要請し、後日速やかに文書を提出するものとする。

- 2 前項の応援要請を受けた県は、実施しようとする応援内容を被災県に通知するものとする。
- 3 前2項の規定による応援要請に係る手続等の細目は、第2条各号に定める応援項目ごとに別に定める。
- 4 被災県は、第1項の規定により関係県に対して個別に応援要請をするいとまがないときは、幹事県に対して一括して応援を要請できるものとする。
- 5 幹事県は、前項の規定により応援要請を一括して受けたときは、速やかに各県に通報し、実施しようとする応援内容を取りまとめ、被災県に通知するものとする。

6 被災県以外の県は、災害の実態に照らし特に緊急を要し、第1項又は第4項の要請ができない状況にあると判断されるときは、同項の要請を待たないで、幹事県の調整の下に必要な応援を行うことができるものとする。この場合には、同項の要請があったものとみなす。

(応援部隊の指揮等)

第5条 応援部隊は、応急措置の実施については、応援を受ける県の指揮の下に行動するものとする。

2 応援を受けるべき被災県が指揮不能の場合は、応援部隊は幹事県の調整の下に行動するものとする。

(経費の負担)

第6条 応援に要した経費は、原則として応援を受けた県の負担とする。

2 応援を受けた県が前項に規定する経費を支弁するいとまがなく、かつ応援を受けた県から要請があった場合には、応援した県は、当該経費を一時繰替支弁するものとする。

(平常時の各県の任務)

第7条 幹事県は他の条項において定めるもののほか、次の各号に定める事務を行う。

一 各県における関係部局の連絡先、応援能力等応援要請時に必要となる資料をとりまとめて保管するとともに、各県からの連絡により、それらを更新し、各県へ提供すること。

二 各県間の会合の開催等により、情報及び資料の交換等を主宰すること。

三 他の広域防災応援協定の幹事県等との情報交換等を行うこと。

四 前各号に定めるもののほか、協定の円滑な運用を図るために必要な事務。

2 第3条第5項に定める各県の担当部局は、年1回、応援の実施のため必要な事項を相互に確認し、各県の関係機関に必要な情報を提供するものとする。

(その他)

第8条 この協定の実施に関し必要な事項及びこの協定に定めのない事項は、各県が協議して定める。

(適用)

第9条 この協定は、平成7年11月8日から適用する。

この協定の締結を証するため、各県知事記名押印のうえ、各1通を保管する。

平成7年11月8日

福岡県知事
佐賀県知事
長崎県知事
熊本県知事
大分県知事
宮崎県知事
鹿児島県知事
沖縄県知事
山口県知事

第5節 被災者への支援

(1) 災害ボランティアによる支援

豪雨により被災した中津市、日田市、竹田市には、大分県及び各市町村の社会福祉協議会が中心となった災害ボランティアセンターが設置された。災害ボランティアセンターは、地域のニーズの把握・整理、災害ボランティアとのマッチングをコーディネートした。

表 4-4 災害ボランティアによる支援

市町村名	ボランティア数 (人)	うち県職員 (人)	活動件数 (件)	災害ボランティアセンター 設置期間	備考
中津市	3,337	291	515	7/3～8/2	
日田市	2,660	131	511	7/4～7/23	
竹田市	3,631	204	304	7/15～7/28 7/30～8/9	

(2) 自衛隊災害派遣による支援

市町村からの自衛隊災害派遣要請により、中津市、日田市、竹田市に自衛隊の支援が行われた。

表 4-5 自衛隊災害派遣要請の状況

要請内容等	要請日	要請先	派遣市町村	派遣人員等	撤収日	撤収理由
梅雨前線豪雨による(断水)に伴う給水活動	7.14	陸上自衛隊 第41普通科連隊長	中津市山国町 (平小野・吉野地区等)	延べ人員： 28名 延べ車両： 10両 (水トレー含む)	7.15	市による応急復旧が完了したため
梅雨前線豪雨による孤立地域への支援物資の輸送及び給水活動等	7.14	陸上自衛隊 第4戦車大隊長	日田市小野地区・ 豊後中村地区・ 串川町等	延べ人員： 92名 延べ車両： 19両 (水トレー含む)	7.15	市による生活基盤の確保の目途がついたため
梅雨前線豪雨による行方不明者捜索及び給水活動	7.12	陸上自衛隊 西部方面特科隊長	竹田市南河内・川床・平原・向山田地区・荻町地区	延べ人員： 931名 延べ車両： 257両 中型ヘリUH×3機	7.19	市による断水に伴う応急復旧が完了したため

第5章 復旧に向けての対応

第1節 災害復旧事業

(1) 災害査定状況

土木建築部関係の災害復旧は、河川課所管で11回に亘る災害査定が行われ、1,866件が決定された。

また、都市計画課で6件、公園・生活排水課で2件決定された。

表5-1 河川課所管の災害査定日程表

期日	査定班数	件数		
		件数	件数	件数
第1次査定 平成24年 8月20日～8月24日	査定官 1班 検査官 1班 合計 2班	豊後高田土木管内	1	件
		国東土木管内	2	件
		別府土木管内	49	件
		大分土木管内	6	件
		臼杵土木管内	1	件
		佐伯土木管内	2	件
		豊後大野土木管内	4	件
		中津土木管内	1	件
		宇佐土木管内	12	件
		計	78	件
第2次査定 平成24年 9月10日～9月14日	査定官 2班 検査官 2班 合計 4班	豊後高田土木管内	5	件
		国東土木管内	1	件
		別府土木管内	51	件
		大分土木管内	11	件
		宇佐土木管内	37	件
		計	105	件
第3次査定 平成24年 9月18日～9月21日	査定官 2班 検査官 5班 合計 7班	別府土木管内	22	件
		豊後大野土木管内	19	件
		竹田土木管内	28	件
		玖珠土木管内	32	件
		日田土木管内	30	件
		中津土木管内	34	件
		宇佐土木管内	11	件
		計	176	件
第4次査定 平成24年 9月24日～9月28日	査定官 2班 検査官 6班 合計 8班	竹田土木管内	74	件
		日田土木管内	116	件
		中津土木管内	72	件
		計	262	件
第5次査定 平成24年 10月1日～10月5日	査定官 2班 検査官 5班 合計 7班	竹田土木管内	80	件
		玖珠土木管内	35	件
		日田土木管内	74	件
		中津土木管内	55	件
		計	244	件

期日	査定班数	件数		
第6次査定 平成24年 10月9日～10月12日	査定官 2班 検査官 5班 合計 7班	竹田土木管内	72	件
		日田土木管内	88	件
		中津土木管内	20	件
		計	180	件
第7次査定 平成24年 10月15日～10月19日	査定官 2班 検査官 8班 合計 10班	大分土木管内	1	件
		豊後大野土木管内	42	件
		竹田土木管内	59	件
		玖珠土木管内	38	件
		日田土木管内	106	件
		中津土木管内	42	件
		計	288	件
第8次査定 平成24年 10月22日～10月26日	査定官 2班 検査官 6班 合計 8班	佐伯土木管内	7	件
		竹田土木管内	67	件
		玖珠土木管内	33	件
		日田土木管内	110	件
		中津土木管内	39	件
		計	256	件
第9次査定 平成24年 10月29日～11月2日	査定官 3班 検査官 6班 合計 9班	竹田土木管内	83	件
		玖珠土木管内	32	件
		日田土木管内	73	件
		中津土木管内	49	件
		計	237	件
第10次査定 平成24年 11月5日～11月8日	査定官 1班 検査官 1班 合計 2班	別府土木管内	6	件
		臼杵土木管内	17	件
		佐伯土木管内	5	件
		豊後大野土木管内	6	件
		計	34	件
第11次査定 平成24年 12月10日～12月12日	査定官 1班 合計 1班	佐伯土木管内	5	件
		豊後大野土木管内	1	件
		計	6	件
		合計	1,866	件

表5-2 都市計画課所管の災害査定日程表

期日	査定班	件数		
第1次査定 平成24年 9月18日～9月20日	査定官 1班	竹田土木	1	件
		竹田市	2	件
		日田市	3	件
		計	6	件

表5-3 公園・生活排水課所管の災害査定日程表

期日	査定班	件数		
第1次査定 平成24年 9月24日～9月28日	検査官 1班	日田市	1	件
		計	1	件
第2次査定 平成24年 10月9日～10月12日	査定官 1班	中津市	1	件
		計	1	件
		合計	2	件

(2) 災害関連事業

平成24年7月の梅雨前線豪雨により、家屋浸水などの甚大な被害が発生した、県内の各地において、国土交通省から「災害関連事業」の採択を受けた。

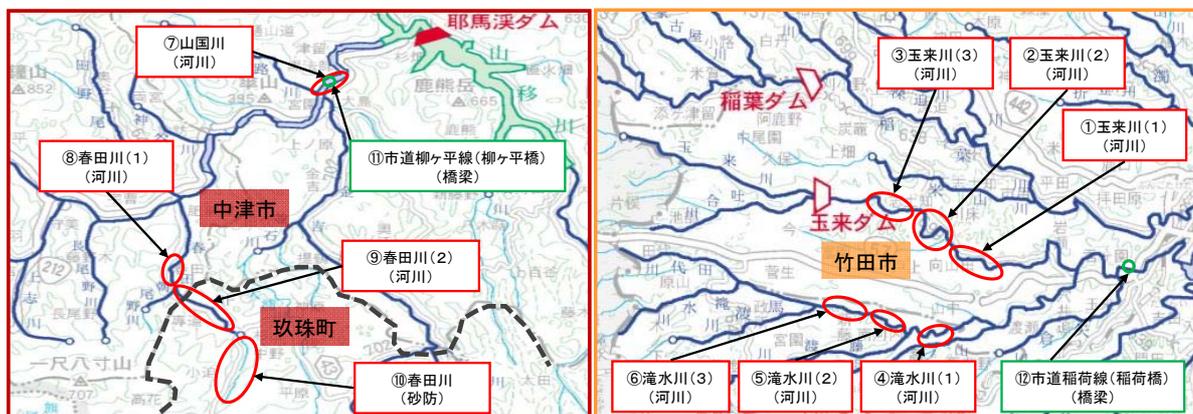
今後、河道掘削、護岸、築堤、橋梁などの工事を実施し、再度災害の防止・軽減を図る。

今回採択を受けた箇所は下記のとおり。

No	河川・路線名等	事業種別	工種	事業主体	採択事業費 (千円)	施工位置	施工延長 (m)	事業期間
①	玉来川(1)	関連(ミニ関)	河川	大分県	242,242	竹田市大字川床	1,164.7	H.24~H.26
②	玉来川(2)	関連(ミニ関)	河川	大分県	369,739	竹田市大字川床	1,380.1	H.24~H.26
③	玉来川(3)	関連(ミニ関)	河川	大分県	236,772	竹田市大字川床	957.4	H.24~H.26
④	滝水川(1)	関連(ミニ関)	河川	大分県	254,674	竹田市荻町南河内	793.4	H.24~H.26
⑤	滝水川(2)	関連(ミニ関)	河川	大分県	135,495	竹田市荻町南河内	416.0	H.24~H.26
⑥	滝水川(3)	関連(ミニ関)	河川	大分県	425,831	竹田市荻町南河内	1,452.4	H.24~H.26
⑦	山国川	関連(ミニ関)	河川	大分県	221,674	中津市耶馬溪町大字大島	463.4	H.24~H.26
⑧	春田川(1)	関連(ミニ関)	河川	大分県	185,964	中津市山国町中摩	508.0	H.24~H.26
⑨	春田川(2)	関連	河川	大分県	514,500	中津市山国町中摩 ~玖珠郡玖珠町大字古後	1,983.0	H.24~H.26
⑩	春田川	関連	砂防	大分県	886,414	玖珠郡玖珠町大字古後	2,321.0	H.24~H.26
⑪	市道柳ヶ平線(柳ヶ平橋)	関連(ミニ関)	橋梁	中津市	148,011	中津市耶馬溪町大字大島	110.0	H.24~H.26
⑫	市道稲荷線(稲荷橋)	関連(ミニ関)	橋梁	竹田市	223,323	竹田市大字拝田原	208.2	H.24~H.26

※災害関連事業

河川等が被災し、この復旧にあたり再度災害を防止するため、被災していない箇所を含む一連の施設について、一定計画等に基づき災害復旧費に改良費を加えて実施する事業。



(2)-1 玉来川災害関連事業

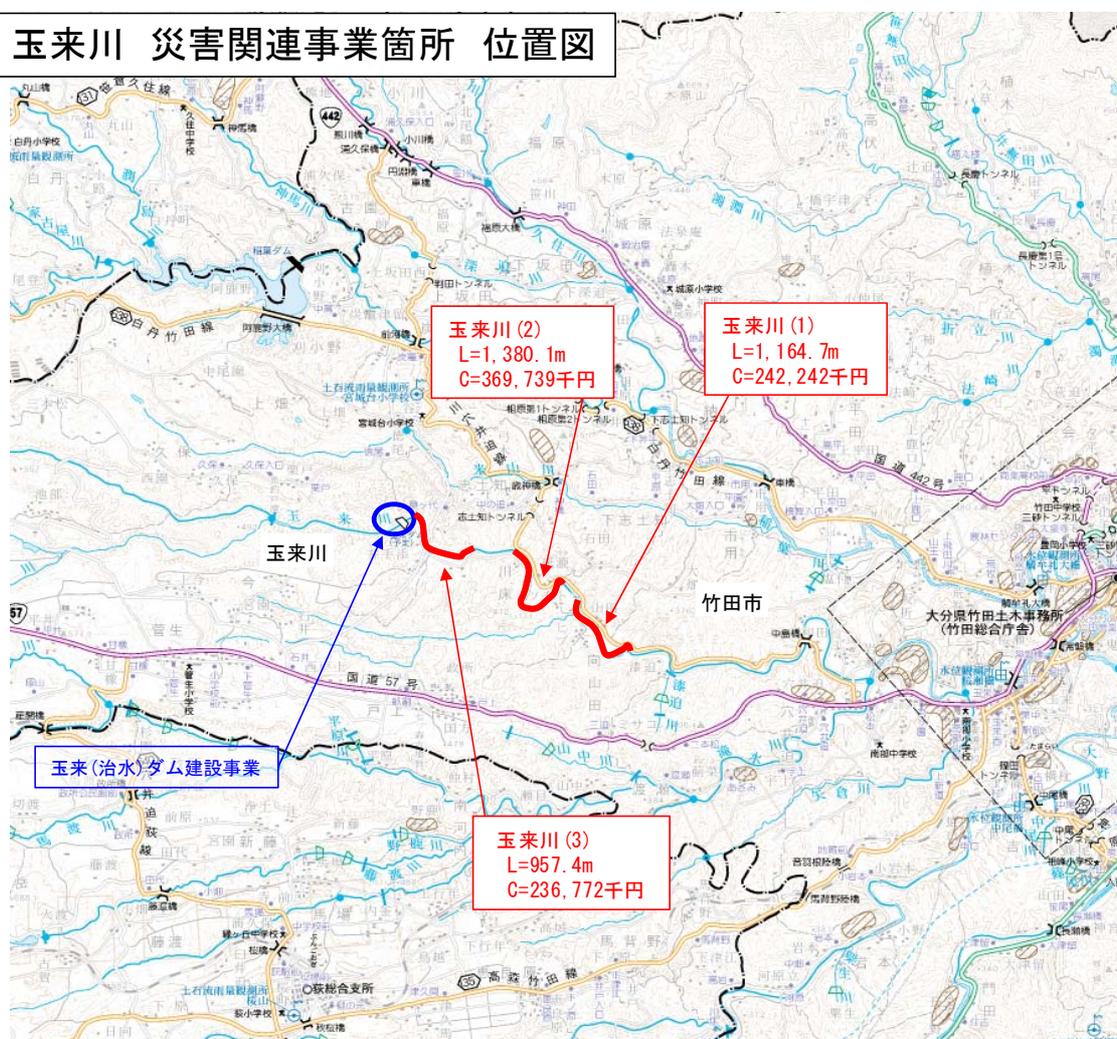
〔概要〕

7月12日の梅雨前線豪雨により、西部を中心に非常に激しい雨となり田尻観測所で最大24時間雨量361mm、最大時間雨量93mmの降雨が観測され、竹田市街に甚大な被害が発生した。

大野川流域の玉来川では、溢水、護岸崩壊等が発生し、市道橋が流失するなどの被害が発生した。

原形復旧のみでは、再度災害の防止が図れないため、家屋の浸水箇所を含む一連区間において、築堤の嵩上げなど改良復旧を行うことにより浸水被害を防ぐ災害関連事業を実施する。

玉来川 災害関連事業箇所 位置図



玉来川 (1)

〔事業内容〕

事業主体：大分県

事業箇所：竹田市大字川床

河川名：一級河川大野川水系玉来川

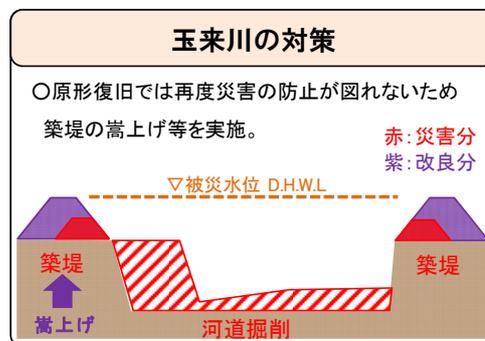
事業期間：平成24年度～平成26年度

事業費：242,242千円

(内改良費 115,072千円)

延長：L=1,164.7m

工事概要：築堤の嵩上げ等



玉来川 (2)

〔事業内容〕

事業主体：大分県

事業箇所：竹田市大字川床

河川名：一級河川大野川水系玉来川

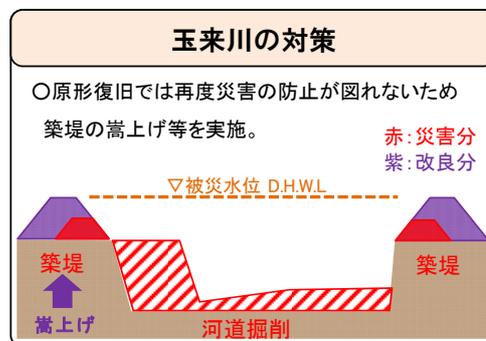
事業期間：平成24年度～平成26年度

事業費：369,739千円

(内改良費 143,883千円)

延長：L=1,380.1m

工事概要：築堤の嵩上げ等



玉来川 (3)

〔事業内容〕

事業主体：大分県

事業箇所：竹田市大字川床

河川名：一級河川大野川水系玉来川

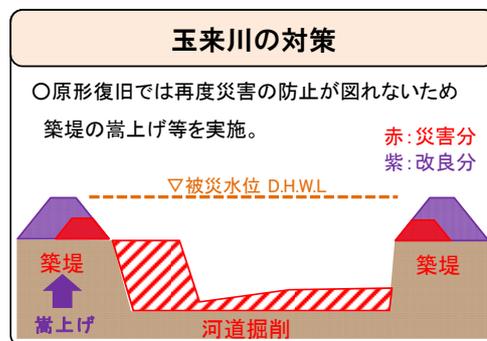
事業期間：平成24年度～平成26年度

事業費：236,772千円

(内改良費 69,510千円)

延長：L=957.4m

工事概要：築堤の嵩上げ等



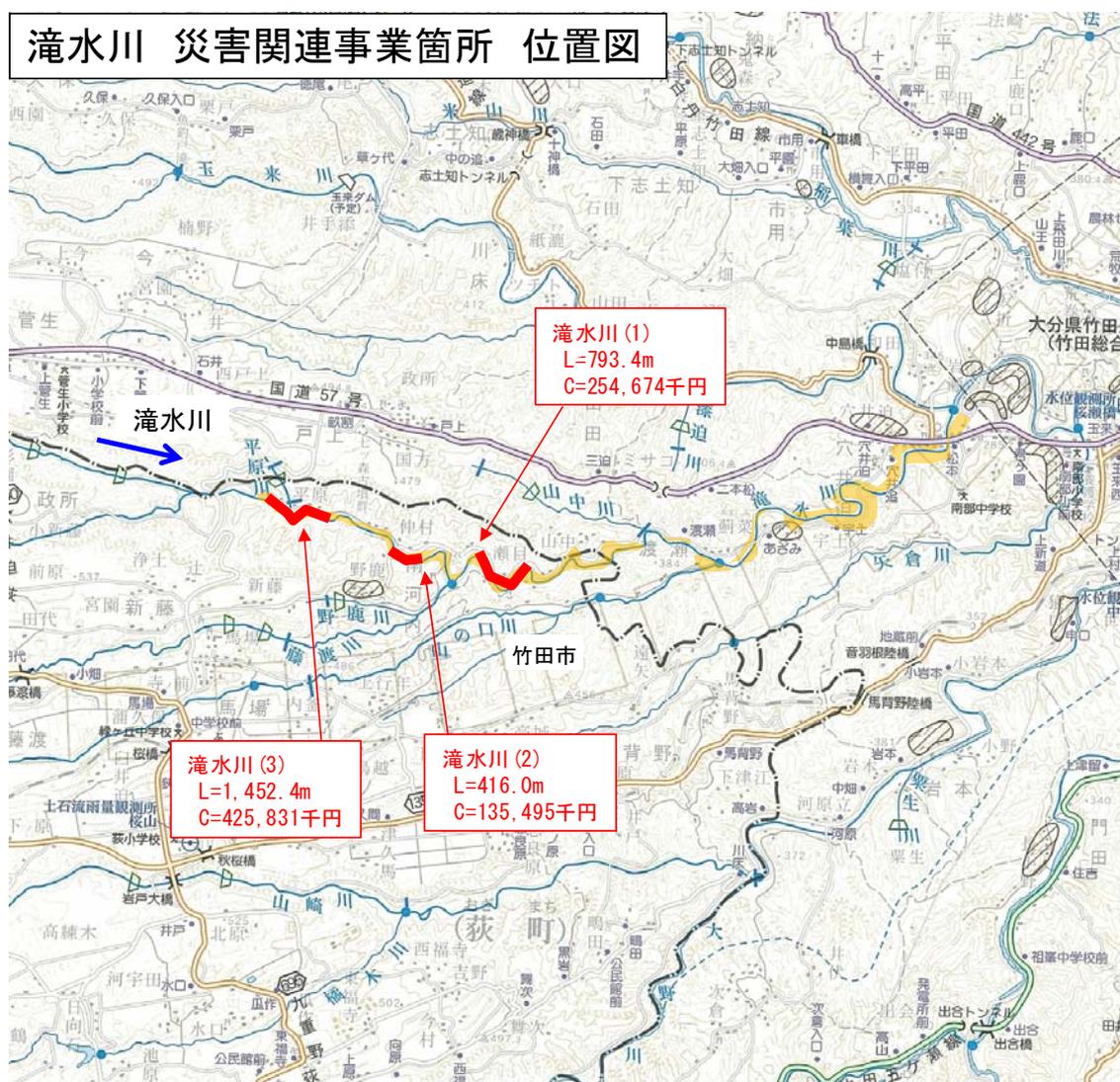
(2)-2 滝水川災害関連事業

〔概要〕

7月12日の梅雨前線豪雨により、西部を中心に非常に激しい雨となり田尻観測所で最大24時間雨量361mm、最大時間雨量93mmの降雨が観測され、竹田市街に甚大な被害が発生した。

大野川流域の滝水川では、溢水、護岸崩壊等が発生し、市道が流失するなどの被害があった。

原形復旧のみでは、再度災害の防止が図れないため、家屋の浸水箇所を含む一連区間において、築堤の嵩上げなど改良復旧を行うことにより浸水被害を防ぐ災害関連事業を実施する。



滝水川 (1)

〔事業内容〕

事業主体：大分県

事業箇所：竹田市萩町南河内

河川名：一級河川大野川水系滝水川

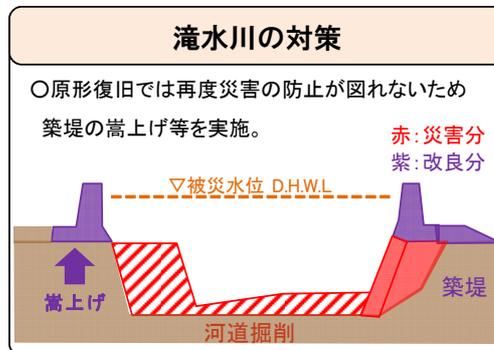
事業期間：平成24年度～平成26年度

事業費：254,674千円

(内改良費 103,484千円)

延長：L=793.4m

工事概要：築堤の嵩上げ等



滝水川 (2)

[事業内容]

事業主体: 大分県

事業箇所: 竹田市荻町南河内

河川名: 一級河川大野川水系滝水川

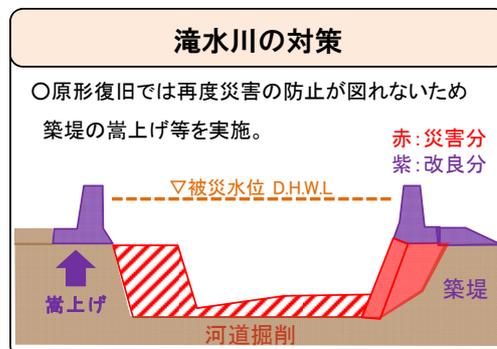
事業期間: 平成24年度～平成26年度

事業費: 135,495千円

(内改良費 29,467千円)

延長: L=416.0m

工事概要: 築堤の嵩上げ等



滝水川 (3)

〔事業内容〕

事業主体：大分県

事業箇所：竹田市萩町南河内

河川名：一級河川大野川水系滝水川

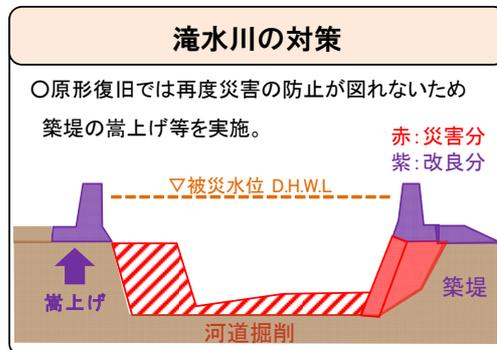
事業期間：平成24年度～平成26年度

事業費：425,831千円

(内改良費 32,369千円)

延長：L=1,452.4m

工事概要：築堤の嵩上げ等



(2)-3 山国川災害関連事業

〔概要〕

7月3日の梅雨前線豪雨により、西部や北部を中心に記録的な大雨となり耶馬溪観測所で最大24時間雨量250.5mm、最大時間雨量91mmの降雨が観測された。

山国川本川では、溢水、護岸崩壊等が発生し、川沿いの家屋の浸水や、国道の冠水の被害があった。

原形復旧のみでは、再度災害の防止が図れないため、被災箇所を含む一連区間において、河川の拡幅など改良復旧を行うことにより浸水被害を防ぐ災害関連事業を実施する。

〔事業内容〕

事業主体：大分県

事業箇所：中津市耶馬溪町大字大島

河川名：一級河川山国川水系山国川

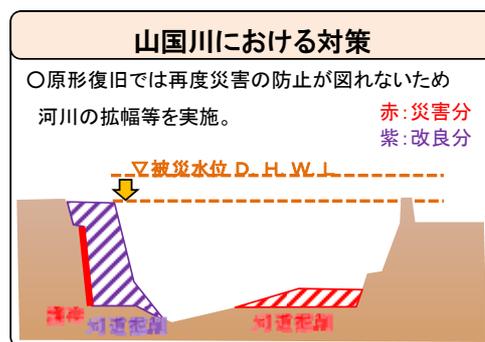
事業期間：平成24年度～平成26年度

事業費：221,674千円

(内改良費 126,644千円)

延長：L=463.4m

工事概要：河川の拡幅等



山国川 災害関連事業箇所 位置図



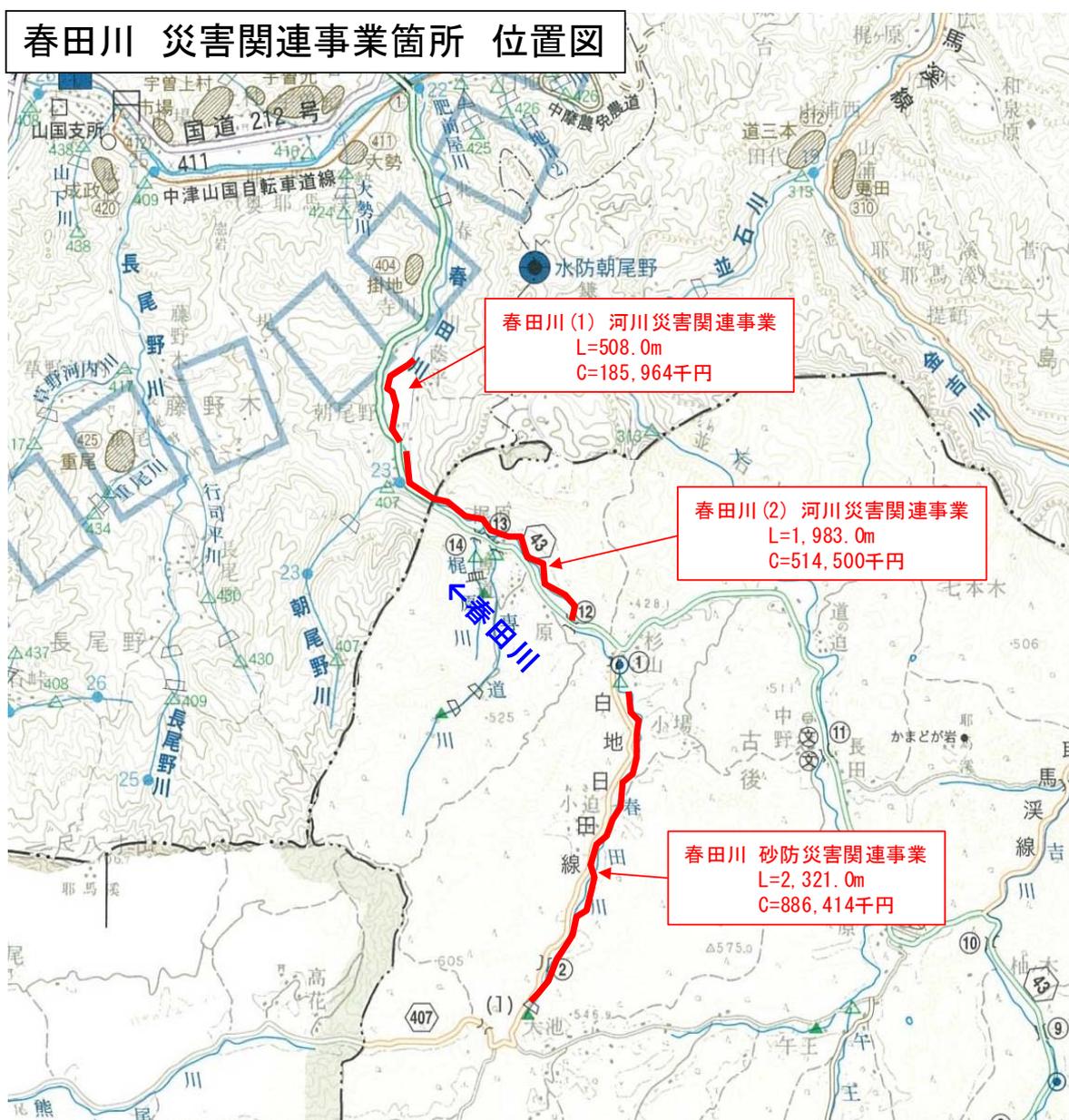
(2)-4 春田川災害関連事業

〔概要〕

7月3日の梅雨前線豪雨により、西部や北部を中心に記録的な大雨となり玖珠町古後雨量局で最大24時間雨量225mm/h、最大時間雨量79mm/hの降雨が観測された。

山国川水系春田川では、溢水、護岸崩壊等が発生し、水田が浸水するなどの被害があった。

原形復旧のみでは、再度災害の防止が図れないため、被災箇所を含む一連区間において、河川の拡幅など改良復旧を行うことにより浸水被害を防ぐように災害関連事業を実施する。



春田川 (1)

〔事業内容〕

事業主体：大分県

事業箇所：中津市山国町中摩

河川名：一級河川山国川水系春田川

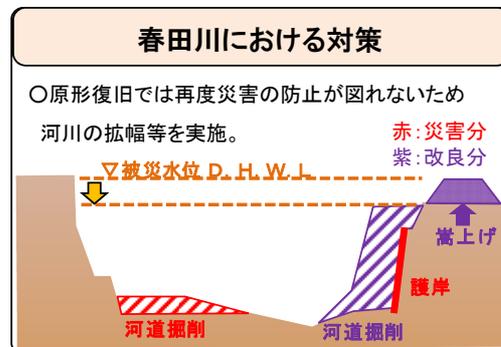
事業期間：平成24年度～平成26年度

事業費：185,964千円

(内改良費 90,990千円)

延長：L=508.0m

工事概要：河川の拡幅等



春田川(1) 河川災害関連事業 L=508.0m



春田川 (2)

〔事業内容〕

事業主体：大分県

事業箇所：中津市山国町中摩～

玖珠郡玖珠町大字古後

河川名：一級河川山国川水系春田川

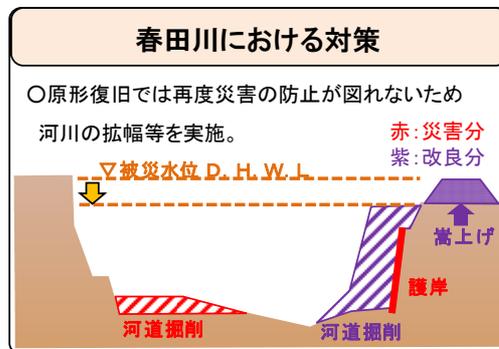
事業期間：平成24年度～平成26年度

事業費：514,500千円

(内改良費 253,469千円)

延長：L=1,983.0m

工事概要：河川の拡幅等



春田川(2) 河川災害関連事業 L=1,983.0m



春田川（砂防）

〔事業内容〕

事業主体：大分県

事業箇所：玖珠郡玖珠町大字古後

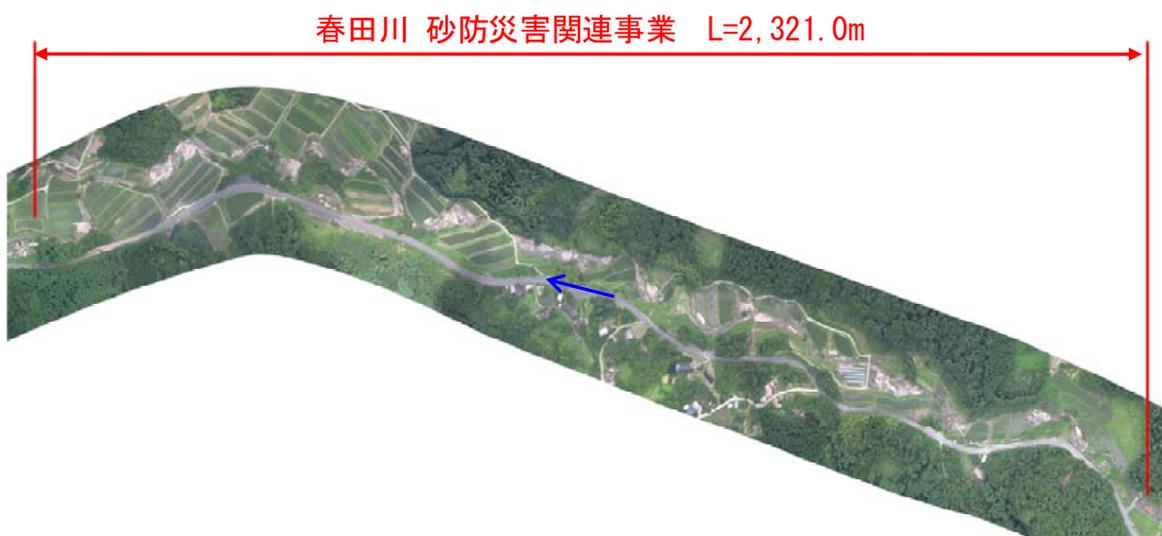
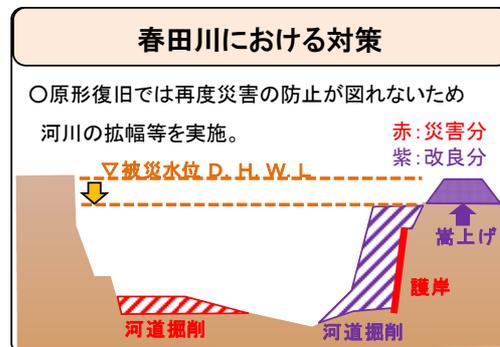
河川名：一級河川山国川水系春田川

事業期間：平成24年度～平成26年度

事業費：886,414千円
 （内改良費 406,548千円）

延長：L=2,321.0m

工事概要：河川の拡幅等



被害状況写真



被害状況写真



(2)-5 柳ヶ平橋災害関連事業

〔概要〕

7月3日の梅雨前線豪雨により、西部や北部を中心に記録的な大雨となり耶馬溪観測所で最大24時間雨量250.5mm、最大時間雨量91mmの降雨が観測された。

柳ヶ平橋では、山国川の増水により橋脚及び上部工が流失する被害となった。原形復旧のみでは、再度災害の防止が図れないため、河川の拡幅に合わせた橋梁の改築をすることにより、浸水被害を防ぐ災害関連事業を実施する。

さらに、山国川河川災害関連事業と柳ヶ平橋災害関連事業を地域関連事業とすることで、河川断面の拡大及び橋梁の拡張を一体的に実施する。

また、本箇所は県事業と一体的に整備することが効果的であり、技術的に高度であるため、市から県が受託し事業を実施している。

〔事業内容〕

事業主体：中津市

事業箇所：中津市耶馬溪町大字大島

名称：市道柳ヶ平線 柳ヶ平橋

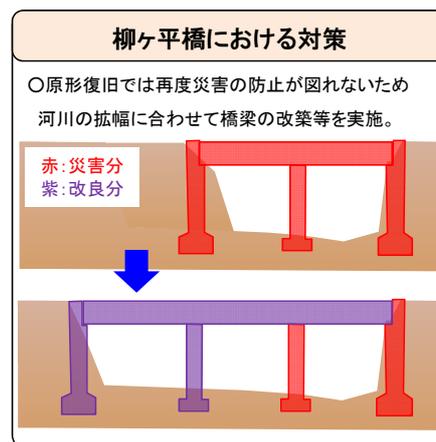
事業期間：平成24年度～平成26年度

事業費：148,011千円

(内改良費 54,278千円)

延長：L=110.0m

工事概要：河川の拡幅に合わせた橋梁の改築等



(2)-6 稲荷橋災害関連事業

〔概要〕

7月12日の梅雨前線豪雨により、西部を中心に非常に激しい雨となり田尻観測所で最大24時間雨量361mm、最大時間雨量93mmの降雨が観測され、竹田市街に甚大な被害が発生した。

稲荷橋では、河川の増水により上部工が流失する被害となった。

原形復旧のみでは、再度災害の防止が図れないため、橋梁の設置高を嵩上げするとともに合わせて幅員を拡幅する災害関連事業を実施する。

また、本箇所は県事業と一体的に整備することが効果的であり、技術的に高度であるため、市から県が受託し事業を実施している。

〔事業内容〕

事業主体：竹田市

事業箇所：竹田市大字拝田原

名称：市道稲荷線 稲荷橋

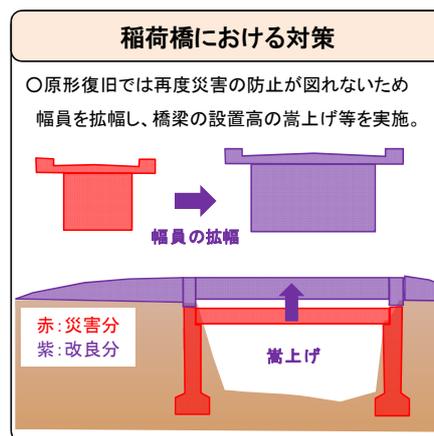
事業期間：平成24年度～平成26年度

事業費：223,323千円

(内改良費 102,134千円)

延長：L=208.2m

工事概要：幅員の拡幅・嵩上げ等



稲荷橋 災害関連事業箇所 位置図



第2節 河川事業

(1) 激甚災害対策特別緊急事業

〔概要〕

筑後川水系花月川及び支川の有田川では、7月3日及び14日の梅雨前線豪雨により観測史上最高の水位を記録する洪水が発生した。

7月3日には、花月川及び有田川の沿川において、堤防からの越水や堤防決壊等により835戸の家屋が浸水する甚大な被害が発生したため、有田川において、国管理の花月川と一体的に採択された河川激甚災害対策特別緊急事業により河道掘削、築堤及び横断工作物の改築等を実施する。

〔事業内容〕

事業主体：大分県

事業箇所：日田市大字東有田

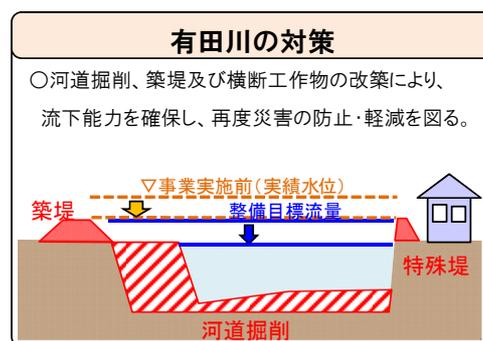
河川名：一級河川筑後川水系有田川

事業期間：平成24年度～概ね5年間

事業費：1,000百万円

延長：L=7.1km

工事概要：河道掘削、築堤、護岸、橋梁改良、堰改築等



※河川激甚災害対策特別緊急事業

洪水、高潮、地震等による激甚な災害に対して、概ね5年間の緊急的な集中投資による河川改良により再度災害防止を図る事業。

(2) 床上浸水対策特別緊急事業

〔概要〕

山国川水系山国川では、7月3日及び14日の梅雨前線豪雨により観測史上最高の水位を記録する洪水が発生した。

これらの洪水により、山国川の中流から上流の至るところではん濫し、7月3日洪水では331戸、7月14日洪水では337戸の家屋・事業所等が浸水する甚大な被害が発生したため、山国川の県管理区間において、床上浸水対策特別緊急事業により河道掘削、築堤、護岸、橋梁改築等を実施する。

〔事業内容〕

事業主体：大分県

事業箇所：中津市耶馬溪町大字大島

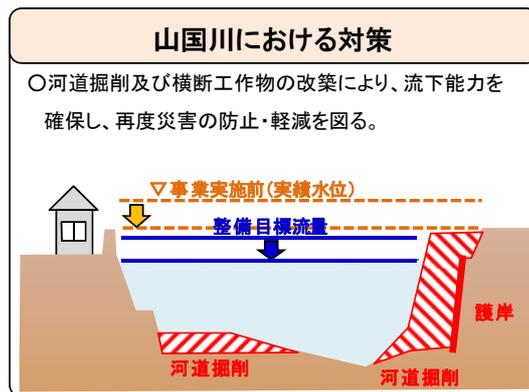
河川名：一級河川山国川水系山国川

事業期間：平成25年度～概ね5年間

事業費：1,230百万円

延長：L=2.8km

工事概要：河道掘削、築堤、護岸、橋梁改築等



※床上浸水対策特別緊急事業

床上浸水が頻発している地域において、概ね5年間の緊急的な集中投資による対策により、早期に慢性的な床上浸水被害の解消を図る事業。

(3) 災害対策等緊急事業推進費

平成24年7月の梅雨前線豪雨により、各河川で家屋が浸水する等の甚大な被害が発生したため、災害対策等緊急事業推進費により河道掘削、築堤、護岸等の対策を実施する。

No	河川名	採択事業費 (百万円)	施工位置	施工延長 (m)	工事概要
①	犬丸川	560	中津市三光森山	165	堰改修, 護岸等
②	跡田川	100	中津市本耶馬溪町跡田	400	特殊堤, 測量等
③	有田川	100	日田市大字東有田諸留町	3,700	河道掘削, 測量, 設計等
④	山国川	220	中津市耶馬溪町大字大島	2,800	河道掘削, 測量, 設計等
⑤	大谷川	96	大分市大字宮河内	400	掘削, 築堤, 護岸等
⑥	平井川	50	豊後大野市朝地町朝地	200	掘削, 護岸等
⑦	玉来川	360	竹田市大字玉来	2,270	河道掘削, 特殊堤等

※有田川は河川激甚災害対策特別緊急事業のH24分として配分



※災害対策等緊急事業推進費

自然現象による災害を受けた地域等又は社会的に影響のある公共交通に係る重大な事故が発生した箇所等において、再度災害防止又は再発防止等を図り、住民等の安全・安心の確保に資することを目的とした経費。

第3節 砂防事業

(1) 岳本川災害関連緊急砂防事業

〔概要〕

平成24年7月1日、梅雨前線による時間雨量47mm、24時間連続雨量110mmの集中豪雨により土石流が発生し、人家1戸半壊、人家13戸に床上・床下浸水の被害が発生した。

既設の1号堰堤及び2号堰堤により約8,500m³の土砂を捕捉し、下流の集落への被害を軽減させた。

災害発生後は再度災害防止のために除石工を実施した。また、災害関連緊急砂防事業で砂防堰堤1基を設置し、特定緊急砂防事業においても砂防堰堤1基を設置する。

〔事業内容〕

事業主体：大分県

事業箇所：由布市湯布院町川上

河川名等：岳本川

事業期間：平成24年度

事業費：169,920千円

工事概要：砂防堰堤1基



①上流域の崩壊状況



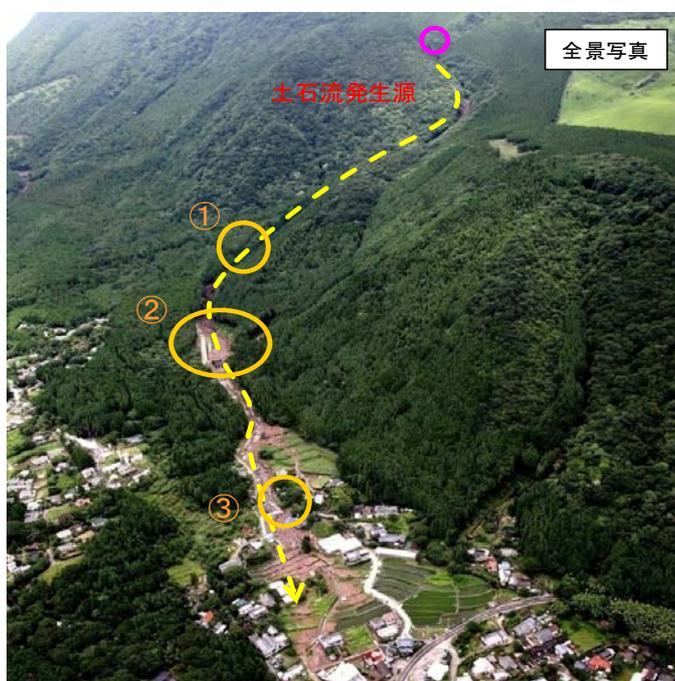
②土石流捕捉状況(2号堰堤)



施設効果を発揮

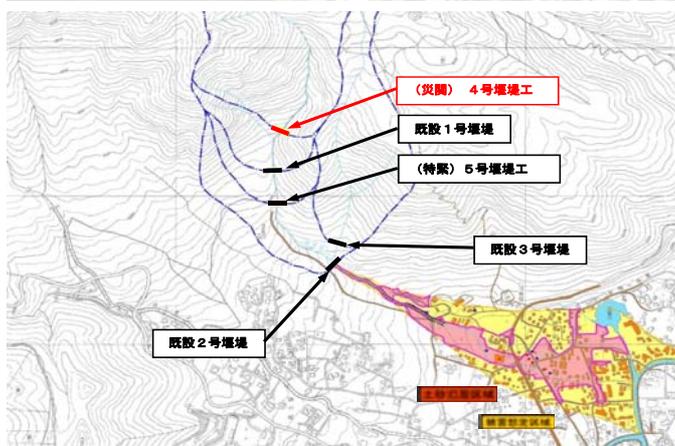


③下流域の被災状況



全景写真

土石流発生源



※災害関連緊急砂防事業

豪雨等で山腹崩壊や土石流が発生し、人家が危険な状況になった地域において、当該年度に砂防堰堤等の緊急工事を実施し、土砂流出防止を図る事業。

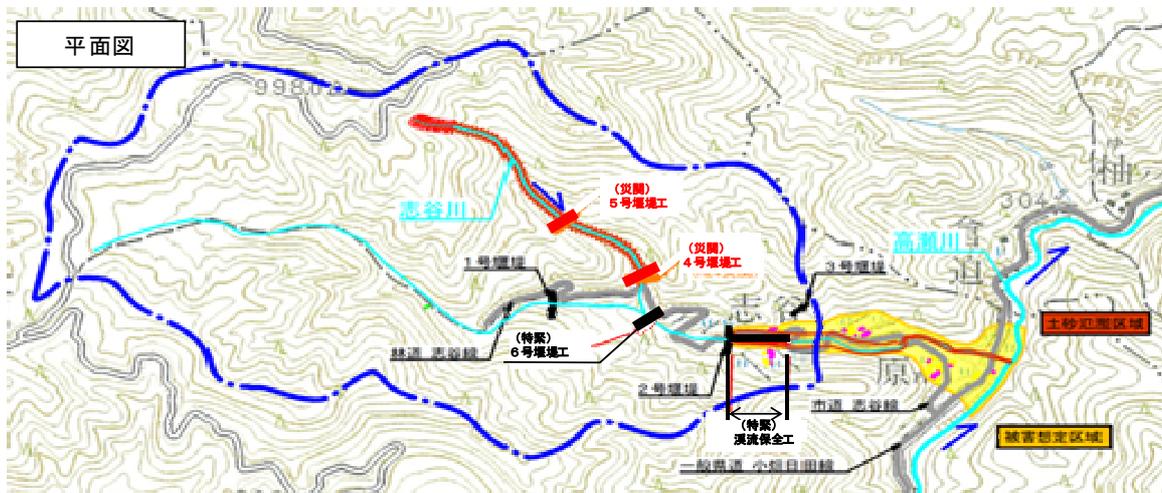
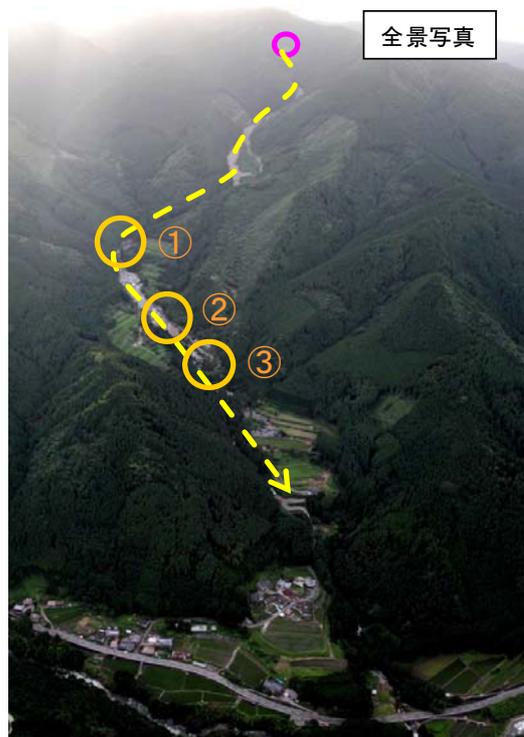
(2) 志谷川災害関連緊急砂防事業

〔概要〕

平成24年7月11日から14日にかけての梅雨前線豪雨により、最大時間雨量88mm、最大日雨量459mmの集中豪雨をうけ、志谷川で土石流が発生した。人家1戸と志谷集会所が全壊する被害が生じた。災害関連緊急砂防事業で砂防堰堤2基を設置するとともに、特定緊急砂防事業にて砂防堰堤1基および溪流保全工を実施する。

〔事業内容〕

事業主体：大分県
 事業箇所：日田市前津江町柚木
 箇所名：志谷川
 事業期間：平成24年度
 事業費：446,400千円
 工事概要：砂防堰堤2基



(3) 柿坂地区災害関連緊急急傾斜地崩壊対策事業

〔概要〕

平成24年7月14日の梅雨前線豪雨により角度が約45度をなす急斜面が幅15m高さ70mにわたり崩壊した。

崩土が家屋1戸を直撃したが、斜面中腹に設置された対策施設が土砂を捕捉したため家屋の被害を大幅に軽減させた。

対策工法としては、落石防護擁壁工及び落石防護柵工を復旧するとともに、吹付法砕工及び鉄筋挿入工により、再度災害の防止を図る。

〔事業内容〕

事業主体：大分県

事業箇所：中津市耶馬溪町大字柿坂

箇所名：柿坂地区

事業期間：平成24年度

事業費：93,884千円

工事概要：吹付法砕工、
鉄筋挿入工



第4節 災害復旧状況

□豊後大野土木事務所管内

被災直後

復旧完了後

(河川)



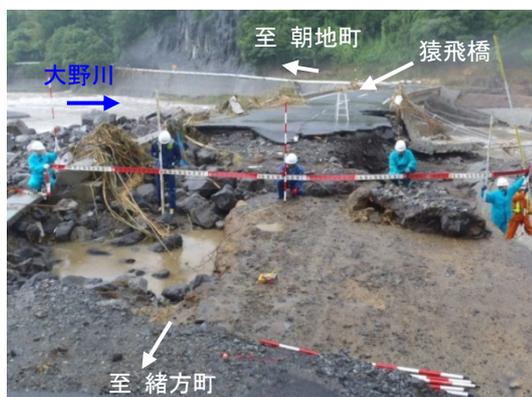
大野川（豊後大野市緒方町志賀）

(河川)



大野川（豊後大野市緒方町夏足）

(道路)



緒方朝地線（豊後大野市緒方町軸丸）

□竹田土木事務所管内

被災直後

復旧完了後

(河川)



滝水川（竹田市大字穴井迫）

(砂防)



滝水川（竹田市荻町政所）

(道路)



国道 502 号（竹田市大字片ヶ瀬）

□ 玖珠土木事務所管内

被災直後

復旧完了後

(河川)



金吉川（玖珠町大字古後）

(砂防)



専道川（玖珠町大字古後）

(道路)



玖珠山国線（玖珠町大字山下）

□日田土木事務所管内

被災直後

復旧完了後

(河川)



小野川 (日田市大字小野)

(砂防)



吾々路川 (日田市大山町西大山)

(道路)



朝田日田線 (日田市前津江村大字柚木)

□中津土木事務所管内

被災直後

復旧完了後

(河川)



金吉川（中津市耶馬溪町大字金吉）

(砂防)



柿坂地区（中津市耶馬溪町大字柿坂）

(道路)



国道 212 号（中津市耶馬溪町大字戸原）

第2節 大分県水害対策会議復旧・復興推進計画

平成24年梅雨前線豪雨災害

復旧・復興推進計画

平成24年8月27日

大分県水害対策会議

大分県水害対策会議 復旧・復興推進計画

平成24年8月27日

6月8日の入梅以来、九州北部地域においては「これまでに経験のない」記録的な雨量となり、県内各所で甚大な被害を受けました。

これまで、被災直後の緊急対応、応急復旧にしっかりと取り組んできたところです。被災後1か月が経過し、今後は、本格的な復旧、復興へと移ることから、大分県水害対策会議において、これまでの取組を含めて「復旧・復興推進計画」を策定し、関係部署が連携するとともに、国や被災市町と協力して、迅速な復旧・復興に向けた取組を着実に推進します。

(目 次)

<u>I 被災者への支援</u>	
1 暮らし・住宅再建の支援	1
2 医療・福祉・保健衛生	5
<u>II 農林水産業・商工業等への支援</u>	
1 農林水産業の再建	6
2 商工業の再生	8
<u>III 教育・文化施設等の復旧・復興</u>	
1 学校施設・教育の復旧・復興	10
2 文化・社会教育施設の復旧	10
<u>IV 社会資本等の復旧・復興</u>	
1 道路・河川等の復旧	12
2 農地・農業用施設等の復旧	17
3 その他施設の復旧	20
4 復旧工事に係る人的支援等	22
5 JRの復旧	23
<u>V 防災機能・防災力の強化</u>	
1 防災機能の強化	25
2 防災力の強化	27
<u>VI 復旧・復興情報の発信</u>	28
<u>VII 計画の進捗管理と見直し</u>	28
<u>参考1 これまでの経過</u>	29
<u>参考2 被害状況</u>	31
<u>参考3 市町別の被災図</u>	33

I 被災者への支援

1 暮らし・住宅再建の支援

(1) 緊急対応 [7月補正(専決)]

① 災害救助法の適用

7月 3日 中津市、日田市

7月12日 竹田市

② 自衛隊の派遣要請

7月12日～19日 竹田市

7月14日～15日 中津市、日田市

③ 避難所の設置 (避難所数及び避難者数の最大値)

合計 114箇所 3,003人

内訳	中津市	35箇所	776人
	日田市	53箇所	1,625人
	竹田市	17箇所	396人
	九重町	3箇所	28人
	玖珠町	6箇所	178人

※避難所数の最大値と避難者数の最大値の時期は必ずしも一致しない

④ 災害ボランティアによる支援

合計 8,265人 (うち県職員ボランティア642人)

中津市：2,380人 日田市：2,311人 竹田市：3,417人 由布市：157人

(2) 災害弔慰金、災害援護資金

① 災害弔慰金の支給 [9月補正]

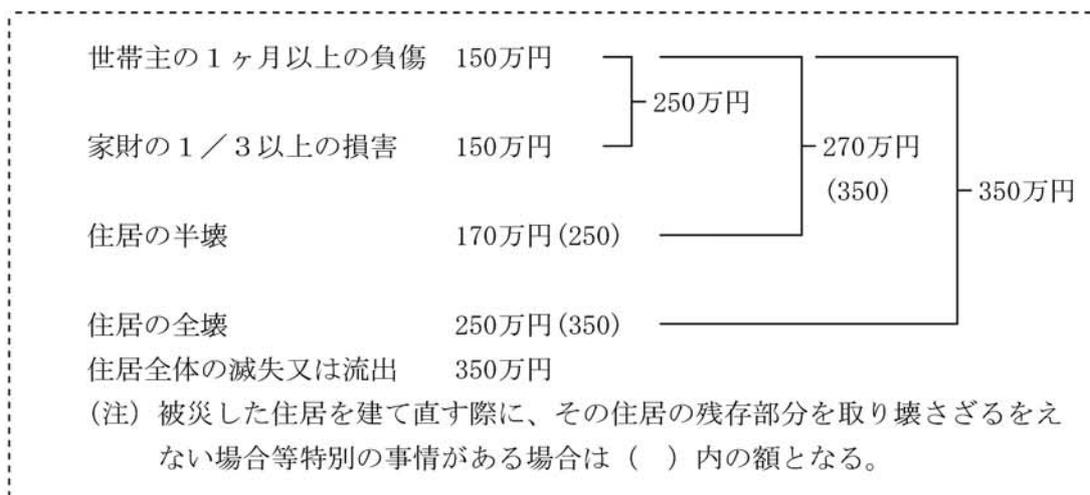
・災害弔慰金を支給する市への助成 (国1/2、県1/4)

② 災害援護資金の貸付 [7月補正(専決)]

(制度の概要)

「災害弔慰金の支給等に関する法律」に基づき、負傷、または、住居、家財に被害を受けた世帯主に対し、生活の立て直しに資する資金を貸付

- ・実施主体：市町村
- ・貸付原資負担：国2/3 県1/3 (市町村に無利子貸付)
- ・貸付限度額：350万円 ※次表を参照



- ・利率：年3%（据置期間中は無利子）
 ※中津市、日田市、竹田市は、利子補給を実施
- ・据置期間：3年（特別の場合は5年）

(3)被災住宅の再建に向けての支援

①被災者生活再建支援金（被災者生活再建支援法）（国の制度）

- ・適用市町村：中津市、日田市、竹田市
 （対象：全壊10世帯以上など要件を満たす市町村）
- ・支援対象者：住宅が全壊、大規模半壊した世帯等
- ・支援内容：住宅の被害程度、再建方法等に応じた支援金の給付

	給付額			
	基礎支援金	加算支援金		合計額
全壊 (大規模半壊)	100万円 (50万円)	建設・購入	200万円	300万円 (250万円)
		補修	100万円	200万円 (150万円)
		賃借	50万円	150万円 (100万円)

※世帯人数が1人（1人暮らし）の場合は、上記額の3/4

※()内は大規模半壊世帯の場合の支給額

- ・申請窓口：市町村

②大分県災害被災者住宅再建支援制度による支援金（県の制度）[9月補正]

- ・適用市町村：全市町村
- ・支援対象者：住宅が全壊、半壊、床上浸水した世帯
 ※同一市町村内に引き続き居住する世帯を対象
 ※国制度の支援対象者を除く

- ・支援内容：住宅の被害程度、再建方法等に応じた支援金の給付

	給付額			
	基礎支援金	加算支援金		合計額
全壊	100万円	建設・購入	200万円	300万円
		補修	100万円	200万円
		賃借	50万円	150万円
半壊	50万円	再建・購入・補修	80万円	130万円
		賃借	50万円	100万円
床上浸水	5万円	—	—	5万円

※世帯人数が1人（1人暮らし）の場合は、上記額の3/4

- ・申請窓口：市町村

(4)被災者の受入れ支援

- ①民間住宅借上げによる応急仮設住宅の設置 [7月補正（専決）]

市による民間住宅の借り上げ(応急仮設住宅の建設なし)

借上実績 竹田市7戸（8月20日現在）

- ②県営住宅等における被災者の受入れ

- ・受入れ実績 県営住宅 日田市3戸 竹田市6戸（8月24日現在）

県職員住宅 日田市 12戸（8月20日現在）

- ・使用期間：原則3か月（1回更新可：最長6か月）

→ 応急仮設住宅への入居要件を満たす被災者を対象に、入居期間を2年間に延長（7月20日～）

- ・使用料、敷金、連帯保証人を免除

(5)水道施設の復旧

- ①応急復旧、本復旧

すべて、本復旧又は応急復旧済（8月14日現在）

種別	被災施設数	本復旧	応急復旧	本復旧見込み
上水道	6施設	3	3	平成24年10月～平成25年3月 ※1
簡易水道	29施設	15	14	平成24年10月～平成25年3月 ※2
給水施設	9施設	3	6	平成24年9月～平成24年12月 ※3

※1 竹田市上水道の水管橋は平成25年12月予定（給水には支障なし）

※2 主たる水源が被害を受けた竹田市の簡易水道については、別途、県の支援により代替水源確保（開始時期調整中）

※3 応急復旧した民営給水施設の本復旧に向けた県の財政支援

- ・断水：5,512戸 → 解消済（8月14日まで）

(6) 下水道施設の復旧

① 被災下水道施設

- ・ 2施設 → 7月20日までに応急復旧済（市事業）
→ 11月までの査定終了、早期工事着手に対する調整・支援を実施

② 農業集落排水施設

- ・ 5施設 7月20日までに応急復旧済（市事業）
- ・ うち3施設は応急本復旧工事中
- ・ 11月までの査定終了、早期工事着手に対する調整・支援を実施

(7) 県関係の税金、使用料・手数料等の減免

① 県税等の減免措置、申告等の期限延長

- ・ 制度：一定の要件を満たす被災者に対し、県税の軽減・免除、一定の期間に限った申告期限の延長や納税の猶予を行うもの（個人事業税、不動産取得税、自動車税等）
- ・ 県税事務所に相談窓口を設置
- ・ 国、県、市が連携し、合同行政相談を実施（中津市役所、日田市役所）

② 使用料・手数料の減免

- ・ 減免対象：免許証再交付手数料、飲食店営業許可申請手数料、県営住宅使用料、電気工事士免状再交付手数料 など
- ・ 対象者：平成24年6月8日（梅雨入り）から7月23日（梅雨明け）の間の豪雨等により、家屋や店舗等が被災し、市町から、り災証明書の交付を受けた者
- ・ 減免率：10/10（全額減免）
- ・ 減免期間：当分の間

(8) 義援金等の募集、配分

- ① 県の災害義援金（7月19日募集開始）
59,867,038円
(8月17日現在)
- ② 日赤大分県支部、県社協、県共同募金会による義援金
36,245,126円
(8月17日現在)
- ③ 義援金配分委員会（8月23日開催）による第1次配分
 - ・ 市町へ配分（8月24日） 85,850,000円
- ④ 企業等からの物資の支援
 - ・ 県内外の企業等から物資提供の申出に対して被災市のニーズに合う物資の供給を斡旋（19企業等41品目）
（高圧洗浄機、飲料水、マスク、殺虫剤、扇風機等の提供）

2 医療・福祉・保健衛生

(1) 緊急対応

①大分DMA Tの出動（7月12日） 2チームが竹田市へ

②保健所による保健衛生の活動〔7月補正（専決）〕

- ・避難所での健康相談
- ・被災地域の医療・保健衛生ニーズの調査及び消毒の指導

(2) 施設等の復旧

①医療機関の復旧

- ・被災医療機関 4施設すべて診療再開済
- ・竹田市立こども診療所 竹田市社会福祉センター内で臨時診療所開設
8月10日に再開、改修済〔9月補正〕

②高齢者施設の再開〔9月補正〕

- ・被災した3施設(いずれも床上浸水)のうち、2施設がサービス再開
(休止中の1施設については、年度内再開予定)

③保育所の再開〔9月補正〕

- ・被災した3施設(床上浸水2、土砂流入1)のうち、2施設がサービス再開
(休止中の1施設については、年内再開予定)

④障がい者施設の再開

- ・被災した3施設(床上浸水1、損壊等2)のうち、1施設が仮施設でサービス実施中
(8月中に元の施設でのサービスを再開する予定)

(3) 被災者の健康調査・健康管理

①保健師等の健康相談・巡回訪問（7月4日～8月23日、従事延べ人員131名）

- ・避難所や巡回訪問において、保健師等が被災者の健康調査・健康相談を実施し、被災者の身体的・精神的なケアを実施
- ・今後、必要に応じて県から支援

②被災地の防疫活動

- ・被災地の環境衛生状況等を把握し、市町が行う防疫活動について指導を実施するとともに、一部地域では防疫活動の応援実施
2, 942箇所の家屋等の消毒完了（4市1町、8月10日まで）
- ・感染症法第27条第2項の規定に基づき、大規模に浸水した地域において、市が実施した消毒経費を助成〔9月補正〕

Ⅱ 農林水産業・商工業等への支援

1 農林水産業の再建

(1) 農業者への再建支援

① 相談窓口の設置

- ・事業継続を支援するための相談窓口を県振興局に設置

② 金融支援、共済制度等

- 借入資金の償還を猶予（関係金融機関に通知済）
- 大分県特定災害対策緊急資金の発動（7月20日から）
 - 対象地域：中津市、日田市、竹田市、由布市、玖珠町の5市町を指定
 - 対象者：指定地域の市町村長の罹災証明を受けた農林漁業者
 - 内容：農業近代化資金等を借入れする場合、被災程度に応じ貸付利率を0～1.0%となるよう上乗せ利子補給→貸付から7年間
- 被災農業者特別利子助成事業（国の制度）（8月13日から）
 - 対象者：市町村長の被害内容の証明を受けた農業者等
 - 内容：農業近代化資金等を借入れする場合、実質無利子化（最大2%の金利負担）→貸付から5年間
- 大分県特定災害対策緊急資金に係る保証料の軽減措置〔9月補正〕
 - 農業信用基金協会保証料を0.6%から0.2%に軽減（8月16日から実施）
- 既借入制度資金の償還困難者の借換え措置〔9月補正〕
 - 農業経営緊急対策アシスト資金の対象とし約定償還元金を長期資金に借換
- 農業共済制度の活用
 - 農作物共済（水稻）：5～9割を補償 園芸施設共済（ハウス）：6～8割を補償
 - ※農作物（水稻）被害：9月7日から支払い開始予定（通常12月支払い）
 - 園芸用ハウス：8月24日から支払い開始

③ 被災農家の負担軽減

- 園芸産地緊急支援事業〔9月補正〕
 - ・清浄なかん水が確保できなくなった施設園芸農家（トマト、ピーマン）に対し、給水車による農業用水を供給（7月26日完了）
 - 事業主体：JAおおいた
 - 事業内容：給水車借り上げによる農業用水の供給
 - 補助率：県1/3、市町村1/6
 - ・表土流出・泥水流入等の被害を受けた園芸農家の早期経営再開のため土壌改良対策を支援（8月16日から実施）
 - 事業主体：営農集団（3戸以上で構成）
 - 事業内容：経営再開に向けた地力の早期回復のための堆肥、客土、土壌改良材等の助成
 - 補助率：県1/3、市町村1/6

- 農業用ハウス等の再建・修繕への助成（国の制度）
 - 事業内容：融資等を受けハウスの再建・修繕を実施
 - 補助率：国3/10
 - 果樹の改植への助成（国の制度）
 - 事業内容：果樹を改植する場合、未収益期間の経費を助成
 - 補助率：国 改植分 1/2及び定額分 5万円/10a×4年を一括交付
 - 畜産農家への支援
 - ・被害箇所：中津市耶馬溪町、竹田市荻町
 - ・経営再建に必要な畜舎整備や家畜再導入等を支援
 - 畜舎の整備・改築
 - 対象：肉用牛増頭3カ年計画を有する農業者等
 - 補助率：県1/3、市町村1/6
 - 繁殖雌牛の導入
 - 対象：繁殖牛を概ね10頭以上を飼養する肉用牛農家
 - 補助額：1頭あたり県75,000円、市町村38,000円
 - 県営ほ場整備後の被災農家の負担軽減
 - ・既往借入金の償還繰延と災害復旧分の低利融資
- ④有害鳥獣侵入防止柵の復旧〔9月補正〕
- ・被災農地と一体的な施設は、農地の災害復旧事業として実施
 - ・施設のみは復旧は県独自で支援

(2) 林業者への再建支援

- ①事業継続を支援するための相談窓口を県振興局に設置
- ②金融支援等
 - 大分県特定災害対策緊急資金の発動（再掲）
 - 対象地域：中津市、日田市、竹田市、由布市、玖珠町の5市町を指定
 - 県制度資金に九州北部豪雨等災害復旧特別融資を創設（再掲）
 - ※企業や組合における加工施設、乾燥施設の復旧資金等
 - 椎茸生産者への支援
 - ほだ木の造成に必要な原木購入経費に支援
 - 対象：椎茸栽培に参入して5年未満で65歳未満の者
 - 補助率：県1/3、市町村1/6
 - 乾椎茸生産安定資金の活用
 - 対象：大分県椎茸農協組合員
 - 融資限度額：200万円 融資期間：1年半以内
 - 融資利率：1.675%

(3)水産業者への再建支援

①事業継続を支援するための相談窓口を県振興局に設置

②金融支援等

○大分県特定災害対策緊急資金の発動（再掲）

対象地域：中津市、日田市、竹田市、由布市、玖珠町の5市町を指定

③水産施設の復旧

○アサリ増殖施設

事業主体：大分県漁協

事業内容：被災したアサリ増殖施設の掘り出し及び漁場の整備

補助率：県1/2

時期：9月下旬完了予定

○アサリ養殖施設

被災したアサリ養殖施設の掘り出し及び試験養殖施設の復旧は、中津市単独事業として実施（9月以降）、県は養殖の技術支援を実施

2 商工業の再生

(1)中小企業への支援

①相談窓口の設置

- ・被災した中小企業の事業継続を支援するための各種相談窓口の設置
県経営金融支援室、信用保証協会、商工会議所、商工会
- ・日本政策金融公庫、大分県等による災害復旧融資に関する個別相談会の開催

②金融支援

○県制度資金に九州北部豪雨等災害復旧特別融資を創設

被災直後に「災害復旧融資（特別融資）」（実質利率2.35%）を適用したが、さらに一層の金融支援が必要との考えから「九州北部豪雨等災害復旧特別融資」（実質利率1.25%）を8月6日に創設

【九州北部豪雨等災害復旧特別融資の概要】

i) 融資限度額	企業	3,500万円	組合	7,000万円
ii) 融資期間	設備資金	10年以内（うち据置1年以内）		
	運転資金	7年以内（うち据置1年以内）		
iii) 融資利率	年1.0%（一般融資2.1%、特別融資1.8%）			
iv) 保証料率	年0.25%（一般融資0.85%以内、特別融資0.55%以内）			

- 政府系金融機関による融資（災害復旧貸付）
被災中小企業者に対する融資制度を適用

【日本政策金融公庫の場合】

国民生活事業	融資限度額	3,000万円
	融資利率	2.05%（※）
	融資期間	10年以内（うち据置2年以内）
中小企業事業	融資限度額	1億5,000万円
	融資利率	1.55%（※）
	融資期間	10年以内（うち据置2年以内）
※貸付期間5年以内の基準利率（平成24年7月31日現在）		

【商工組合中央金庫の場合】

融資限度額	1億5,000万円
融資利率	所定の利率（相談の上決定）
融資期間	10年以内（うち据置2年以内）

- セーフティネット保証第4号の適用について
セーフティネット保証第4号の指定を要請中（指定に向けて関係県において中小企業の被災状況を調査中）

(2)被災工業団地等の改良復旧支援制度の創設 [9月補正]

「大分県企業立地基盤整備費補助金」に、大規模な災害に伴う施設の改良復旧を補助対象とする新たな制度を創設

補助対象者：市町村、市町村が50%以上出資している法人等

対象要件：工場用地2ヘクタール以上 他

補助率：工事費等の1/2以内

(3)観光産業の復活への支援

①風評被害払拭のための取組

- ・ツーリズムおおいたHPにて「日田・竹田・中津 大丈夫です!!」情報を継続して発信
- ・中津市、日田市、竹田市、由布市や同市の団体へ働き掛け「〇〇市は元気ですキャンペーン」を展開（8月6日から順次）
- ・県全体として、JRやJTBの大分キャンペーンに併せて福岡・関西・首都圏域をターゲットに元気情報を発信 [9月補正]

②観光施設等の復旧・復興への県の財政支援(市町村と観光団体が共同実施の場合)

③九州自然歩道等の復旧整備 [9月補正]

- ・観光シーズンに向けて自然歩道や観光案内標識を修復
中津市（一目八景、歩行者用木橋、観光案内標識）
竹田市（沢水朽網分かれ、神原） 玖珠町（伊福一目）

Ⅲ 教育・文化施設等の復旧・復興

1 学校施設・教育の復旧・復興

(1) 学校施設の復旧等

① 学校施設の復旧

- 県立学校 4校（うち1校復旧済）
- 市立学校 8校（中津市立3校、日田市立5校（うち4校復旧済））
- 私立学校 2校（日田市1、竹田市1）

< 復旧スケジュール >

全ての学校で2学期から授業を実施

- 県立学校 3校 [9月補正]

（竹田支援学校）

9月第1週 災害査定、その後復旧工事に着手

11月 復旧工事完了予定

※他の2校についても災害査定後10月末までに復旧工事を完了予定

- 市立学校 4校

10月末までに全ての学校の復旧工事が完了予定

- 私立学校 2校 [9月補正]

- ・ 直接教育の用に供する施設設備の復旧は8月中、その他の施設設備は本年度中に復旧予定
- ・ 激甚災害(本激)の指定による国の財政支援(補助率1/2)及び県による上乗せ助成(補助率1/6) → 合計補助率2/3
(激甚災害(本激)の指定:8月10日閣議決定、8月15日公布・施行)

(2) 被災した児童・生徒等への支援

① 心のケア

- ・ 被災学校へのスクールカウンセラーの派遣 実績9校

② 教科書の給付等

- ・ 教科書の給付 実績46名 学用品等の現物給与 実績88名

③ その他

- ・ 授業時数の確保
- ・ 災害により家計が急変した場合の高等学校等奨学金(緊急採用)の貸付

2 文化・社会教育施設の復旧

(1) 文化・社会教育施設の復旧

① 文化・社会教育施設等の再建

- ・ 被災した文化・社会教育施設(公民館等)6施設の早期復旧

- ・被災した体育施設7施設（体育センター、運動場等）の早期復旧
- ・被災した13施設のうち下郷地区公民館（中津市）等9施設は年度内に復旧予定

(2)文化財の復旧

文化庁や市町と連携し甚大な被害を受けた国・県指定文化財の早期復旧（国指定文化財7件、県指定文化財10件）
…うち旧久留島氏庭園（玖珠町）等14件は年度内に復旧予定）

IV 社会資本等の復旧・復興

1 道路・河川等の復旧

(1) 応急復旧

① 道路の復旧

全面通行止め 214箇所 → 残り17箇所（8月24日現在）
（197箇所通行可）

孤立集落 22地区 → 全て車両通行可能 → 孤立集落の解消

（7月27日まで）

<主な応急復旧箇所>

中津市 国道212号（耶馬溪町戸原地区）

→ 8月20日片側交互通行可

日田市 日田玖珠線（羽田地区）

→ 7月17日片側交互通行可

竹田市 国道502号（片ヶ瀬地区）

→ 7月17日片側交互通行可

玖珠町 玖珠山国線（池ノ尾地区）

→ 7月19日片側交互通行可

国直轄事業 国道57号（熊本県阿蘇市一の宮町坂梨）

→ 8月20日仮橋設置により通行可

② 河川の復旧

被災箇所 592箇所 → 45箇所応急復旧済（8月24日現在）

<主な応急復旧箇所>

中津市 金吉川（耶馬溪町金吉）

→ 7月13日応急復旧完了

日田市 小野川（小野）

→ 7月9日応急復旧完了

→ 7月19日再度応急復旧完了

竹田市 玉来川（玉来）

→ 7月27日応急復旧完了

玖珠町 金吉川（古後）

→ 7月24日応急復旧完了

国直轄事業

日田市 花月川（藤山） → 7月11日応急復旧完了(7/3出水)

日田市 花月川（西有田） → 7月21日応急復旧完了(7/14出水)

③ 砂防設備の復旧

被災箇所 221箇所 → 15箇所応急復旧済（8月24日現在）

土石流発生7箇所 → 堆積土砂撤去

○営農などの産業活動の再生

また、災害復旧事業は「原形復旧」が基本となるものの、被災箇所の復旧にあわせて、一定計画のもと改良を加えることで再度災害を防止する「改良復旧事業」を行うなど、被災状況に応じた復旧事業を実施

<主な復旧予定>

- ・中津市 山国川（耶馬溪町大島）
- ・日田市 有田川（羽田）
- ・竹田市 玉来川（栢田原）
- ・玖珠町 金吉川（古後）
- ・災害復旧事業は、11月までに災害査定を終了し、順次工事着手
- ・改良復旧事業は、関係機関と協議中（事業採択は年内に判明）

③砂防設備の復旧、土砂災害の防止

（復旧方針）

次の条件から優先的に着手

○人命や財産を保全する施設

○営農などの産業活動の再生

また、災害復旧事業は「原形復旧」が基本となるものの、被災箇所の復旧にあわせて、一定計画のもと改良を加えることで再度災害を防止する「改良復旧事業」を行うとともに、土石流やがけ崩れが発生した箇所については、砂防ダムや待受擁壁等を緊急に新設する「災害関連緊急事業」を行うなど、被災状況に応じた事業を実施

<主な復旧予定>

- ・中津市 田野尾川（山国町中摩）
- ・日田市 釜ヶ瀬川（小野）
- ・竹田市 滝水川（荻町政所）
- ・玖珠町 春田川（古後）
- ・災害復旧事業は、11月までに災害査定を終了し、順次工事着手
- ・改良復旧事業は、関係機関と協議中（事業採択は年内に判明）

<災害関連緊急事業>

以下については、緊急砂防事業、緊急急傾斜地崩壊対策事業として事業採択申請中 → 9月事業採択予定、9月事業着手予定

- ・岳本川緊急砂防事業（由布市湯布院町川上）
- ・志谷川緊急砂防事業（日田市前津江町柚木）
- ・柿坂地区緊急急傾斜地崩壊対策事業（中津市耶馬溪町柿坂）

図1 復旧までの手続き

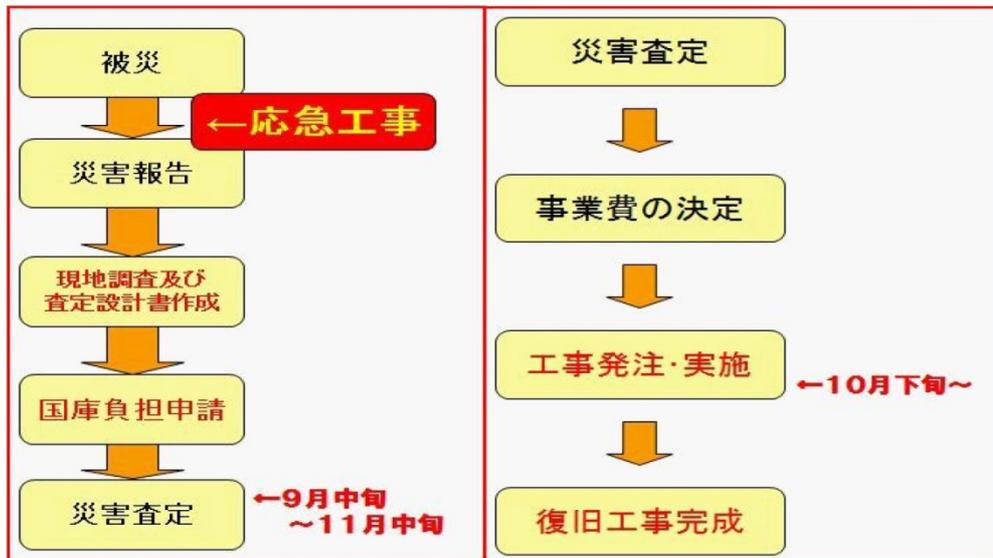


図2 復旧までのスケジュール

区 分	平成24年度									平成25年度	平成26年度
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
被災状況の調査と 災害報告	→										
応急工事	(必要に応じて実施)										
激甚災害の指定		【8/15施行】									
査定準備	→										
災害査定 (事業費の決定)			9月中旬～								
復旧工事の実施					(緊急度の高い箇所から着手)					→	→

④交通安全施設の復旧 [9月補正]

- ・道路の復旧と連携した交通安全施設の本復旧

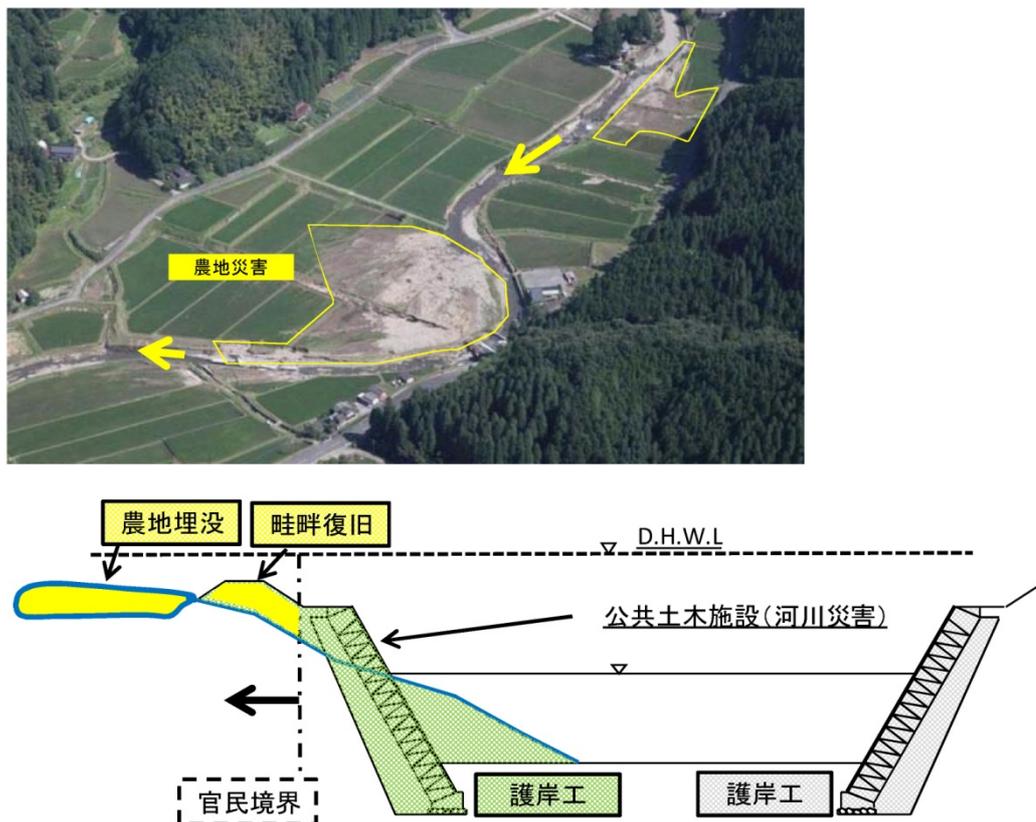
被災信号機3基 (中津市2、竹田市1) → 平成25年3月復旧予定

被災標識37本 (中津市15、日田市18、竹田市4) → 平成25年3月復旧予定

(3) 道路・河川等公共土木施設と農地の災害復旧工事に係る事前協議と調整

- ・被災施設の管理者協議（二重採択防止など）を、市町と早期かつ綿密に行うことで、11月までに査定終了の予定
- ・復旧工事において、施工方法や施工範囲、発注時期や工程等について、市町と迅速に検討・調整することで、早期に工事着手

図3 河川災害と農地災害の連携（イメージ）



(4) 県による市町復旧事業の受託 [9月補正]

市町災害復旧事業のうち、①県と一体施工することが効果的な被災箇所、②橋梁など技術的難度が高い公共土木施設災害を対象として、市町が要望する災害復旧事業を県が受託

市町名	受託予定箇所	関連する 県の施設	備考
中津市	市道 柳ヶ平線 (柳ヶ平橋)	山国川	橋梁災
日田市	市道 第一田来木弓線 (市道1号橋、兼用護岸)	吾々路川	橋梁災他
	市道 志谷線 (志谷3, 4, 5橋、兼用護岸)	志谷川	橋梁災他
竹田市	市道 稻荷線 (稻荷橋)	玉来川	橋梁災
玖珠町	大浦川	大浦川	砂防災
	山浦川	山浦川	河川災

(8月24日現在)

→ 査定終了後速やかに協定が締結できるよう、市町と事前に調整を進め協定締結後早期に工事着手

(5) 入札制度の弾力的な運用

今回の災害により被災した箇所の復旧工事に係る入札については、早期に工事着手できるよう、入札制度等を弾力的に運用

2 農地・農業用施設等の復旧

(1) 応急復旧

① 農業用施設の応急復旧

- ・用水路の崩落、土砂や瓦礫の流入堆積等に対し、緊急に用水の確保等の応急復旧工事を実施
- ・ポンプの貸出しによる河川からの直接取水
- ・応急復旧工事箇所数 (8月15日現在)

市町名	中津市	日田市	竹田市	その他	計
箇所数	21	相当数	102	4	127以上



(2)本復旧 [9月補正]

◎激甚災害(本激)の指定

農地等の激甚災害(本激)の指定 (7月31日閣議決定、8月3日公布・施行)

①市町による復旧事業 (県の支援)

・市町別被害箇所数

市町名	中津市	日田市	竹田市	玖珠町	その他	計
箇所数	1,707	2,555	3,924	583	1,297	10,066

(主な被害箇所)

中津市 山国川流域、金吉川流域

日田市 花月川流域、有田川流域

竹田市 玉来川流域、滝水川流域

豊後大野市 大野川流域

玖珠町 春田川流域

- ・ 査定に向けた資料の速やかな整備を県が支援
- ・ 9月中旬から随時査定を受け、事業決定後、早期に市町が工事着手

②小災害の復旧

- ・ 事業費が13万円以上40万円未満の小災害については、元利償還金に対する地方交付税措置100%適用の農地等小災害復旧事業債の活用を推進 (復旧工事に係る申請手続きの簡素化)
- ・ 150m範囲内の被災農地を一体とした復旧工事を実施

図4 農地・農業用施設の復旧までの手続き

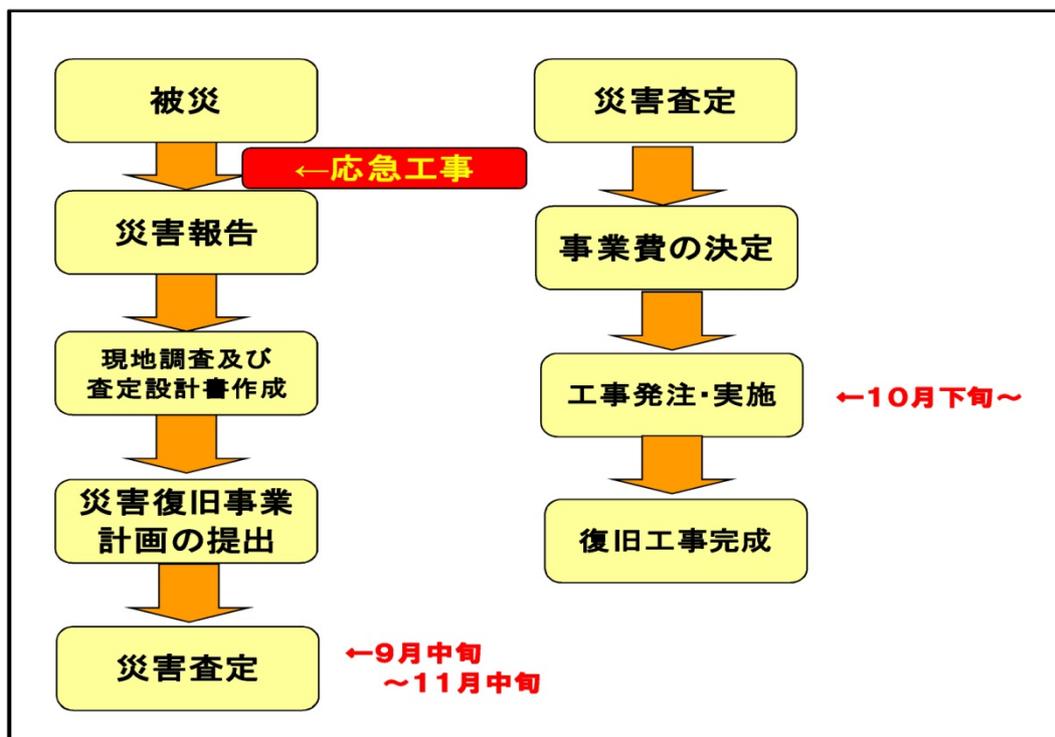


図5 復旧までのスケジュール

	平成24年度										25年度	26年度		
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月					
被災状況の調査と災害報告	→													
応急工事	【査定前着工の活用】													
激甚災害の指定(農)		【8/3施行】												
査定準備		→												
災害査定 (事業費の決定)			→											
復旧工事の実施				【優先順位の高いものから実施】										

(3) 道路・河川等公共土木施設と農地の災害復旧工事に係る事前協議と調整(再掲)

- ・被災施設の管理者協議(二重採択防止など)を、市町と早期かつ綿密に行うことで、11月までに査定終了の予定

- ・復旧工事において、施工方法や施工範囲、発注時期や工程等について、市町と迅速に検討・調整することで、早期に工事着手

3 その他施設の復旧

(1) 治山施設等の復旧 [9月補正]

(応急復旧)

被害拡大の未然防止のため、治山ダムに堆積した土砂を撤去 3箇所

<主な応急復旧箇所>

- 別府市 南立石 → 8月27日応急復旧完了
- 日田市 釜ヶ瀬 → 8月11日応急復旧完了
- 由布市 重見 → 9月下旬応急復旧完了予定

(復旧方針)

- ・市町別被害箇所数 (8月24日現在)

市町名	中津市	日田市	竹田市	その他	計
箇所数	101	317	73	69	560

* 箇所数は、林地崩壊(作業道等)、治山施設の合計

(主な被害箇所)

中津市深耶馬溪、日田市小野、竹田市新藤 等

- ・治山施設(13箇所)：治山ダムの設置、土留工等による森林の復元
査定及び国との事業協議を行い、早期に工事着手
- ・林地崩壊(547箇所)：土留工、緑化工等による森林の復元
国との事業協議を行い、早期に工事着手

(2) 林道等の復旧 [9月補正]

① 林道

(応急復旧)

大分市 九六位線 → 7月30日応急復旧完了

(復旧方針)

- ・市町別被害箇所数

市町名	中津市	日田市	竹田市	その他	計
箇所数	188	315	28	62	593

(主な被害箇所)

中津市岳滅鬼線、日田市花月線、竹田市城ヶ岳線 等

- ・査定に向けた資料の速やかな整備を支援
- ・9月中旬から随時査定を受け、事業決定通知受領後早期に市町が工事着手
- ・一件40万円以上で、国庫補助事業の対象とならない復旧工事について
県独自の補助制度を創設

②作業道

(復旧方針)

- ・被災した182路線に対し、森林所有者と協議のうえ9月中旬以降順次工事着手
- ・県、市町による補助率上乘せ助成

(3)漁港施設の復旧 [9月補正]

(応急復旧)

中津市 小祝漁港 → 8月末までに堆積土砂を浚渫し航路確保予定

(復旧方針)

- ・市町別被害箇所数
 - 中津市 小祝漁港 航路埋塞、導流堤破損 6箇所
 - 宇佐市 長洲漁港 航路埋塞、導流堤、護岸破損等 10箇所
- ・航路浚渫は、7月下旬契約、年度内工事完了予定
- ・導流堤、護岸等の被害は、9月下旬査定を受け、事業費決定後早期に工事着手

(4)都市施設の復旧

①街路 1路線：竹田玉来線（竹田市玉来）

→ 災害査定（都市災害復旧事業）終了後、河川管理者と工程等の調整を行い早期に復旧予定 [9月補正]

②公園 市町村管理公園 4箇所（日田市3、竹田市1）

→ 円滑に災害査定を受検し迅速に本復旧工事が行えるよう、県として支援

(5)県営住宅の復旧

①県営住宅 下矢倉住宅（竹田市君ヶ園） 床上浸水6戸

→ 早期に修繕完了の予定

(6)漂流物・漂着物・堆積物の撤去 [9月補正]

①港湾・漁港泊地内漂着物

- ・港湾 守江港（灘手地区）ほか3港5地区
 - 7月末までに撤去・集積完了、再漂着物も含めて9月末までに処分予定
- ・漁港 亀川漁港ほか11港
 - 操業の障害となる流木等は回収済、8月末までに処分予定

②海岸漂着物

- ・杵築海岸（奈多地区）ほか23箇所
 - 8月末までに概ね撤去・集積完了、再漂着物も含めて9月末までに処分予定

③洋上漂流物（海域で回収）

- ・別府湾（国東市～津久見市の沿岸海域）
 - 清掃船「清海（県）」により船舶航行の支障となる漂流物は回収済
- ・周防灘
 - 山国川河口付近海域で清掃船「がんにゅう（国交省）」により漂流物の回収作業中、船舶航行の支障となる漂流物は回収済

④漁場に堆積した流木等の処理

- ・小型機船底びき網漁船による堆積物の除去に対する助成
 - 事業主体：大分県漁協
 - 事業内容：漁場に堆積した流木等の除去
 - 補助率：10/10
 - 豊前海において8月10日までに回収作業を完了

4 復旧工事に係る人的支援等

(1) 被災市町への県職員による支援

① 初期復旧対応に係る被災市町への県職員による人的支援（7月3日～8月3日）

職 種	業 務 内 容	延応援人数(人日)					
		中津市	日田市	玖珠町	竹田市	由布市	計
保健師・栄養士	一斉個別訪問、避難所での健康チェック	36	49	8	27	4	124
薬剤師・獣医師 ・化学職員等	家屋の消毒業務		52				52
農 業 土 木	農地・農業用施設に係る被害調査	54	99	4	118		275
林 業	治山・林道に係る被害調査	126	110		74		310
	計	216	322		219	4	761

② 復旧工事に係る被災市町への県職員による人的支援

職 種	業 務 内 容	応援予定期間	応援人数(人)					
			(期間区分)	日田市	玖珠町	中津市	竹田市	計
農 業 土 木	工法決定等の技術指導、査定設計書の作成指導・積算支援・チェック、発注設計書作成支援	H24.8.27 ～ H24.12.14	延べ	377	53	344	465	1,239
		1日平均	4.9	0.7	4.5	6.0	16.1	
林 業	復旧方針決定指導、工法決定等の技術指導、査定設計書の作成指導・積算支援・チェック、計画概要書の作成指導、査定現地支援、朱入れ設計書の作成支援、発注設計書作成支援	H24.8.20 ～ H24.11.30	延べ	149	39	188	85	461
		1日平均	2.1	0.5	2.6	1.2	6.4	
土 木	災害復旧事業に関する技術的指導・助言、査定設計書の作成指導、発注設計書の作成支援	H24.8.1 ～ H24.12.28	延べ	201	90	100	201	592
		1日平均	1.9	0.9	1.0	1.9	5.7	

(2)九州・山口9県災害時応援協定に基づく県職員の受入れ

九州・山口9県災害時応援協定に基づく被災地支援対策本部への要請により、佐賀県、長崎県、宮崎県及び鹿児島県から職員を受入れ
業務内容：災害査定事務、復旧工事の設計、施工業務など

職 種	受入期間	受 入 所 属 及 び 人 数					計
		豊肥振興局	西部振興局	北部振興局	日田土木事務所	中津土木事務所	
農業土木	H24.10.1 ～ H24.12.31	1	1	1			3
林 業	H24.9.1 ～ H25.3.31	1	1				2
土 木	H24.9.1 ～ H25.3.31				2	1	3
計		2	2	1	2	1	8

(3)財政支援

①激甚災害(本激)の指定(再掲)

- ・農地・農業用施設等 7月31日閣議決定、8月3日公布・施行
- ・公共土木施設等 8月10日閣議決定、8月15日公布・施行

②普通交付税の繰上げ交付

- ・中津市、日田市、竹田市の3市について、普通交付税の繰上げ交付
中津市 873百万円(7/18交付)
日田市 937百万円(7/18交付)
竹田市 607百万円(7/25交付)

5 JRの復旧

(1)被災と復旧状況

①豊肥本線

- ・被害箇所数 全体130箇所のうち大分県内38箇所
- ・緒方～立野間不通
緒方～豊後萩間、宮地～立野間で代行輸送
- ・JR九州が豊肥本線復旧事務所(阿蘇市一の宮町)を設置(8月1日)

<復旧状況>

- ・緒方～豊後竹田間 8月20日運行再開
- ・豊後竹田～立野間で代行輸送開始(国道57号滝室坂復旧 8月20日開始)
- ・宮地～立野間 9月3日運行再開予定
(代行輸送を豊後竹田～宮地間に変更予定)
- ・豊後竹田～宮地間 復旧未定

②久大本線

- ・被害箇所数 全体4箇所 うち大分県内2箇所
- ・日田～うきは間不通
日田～筑後吉井間で代行輸送
- ・8月25日 全線復旧、普通列車運行再開
- ・8月28日 特急「ゆふ」特急「ゆふいんの森」運行再開予定

③日田彦山線

- ・被害箇所数 全体7箇所 うち大分県内2箇所
- ・7月27日 全線復旧、通常ダイヤで運行再開

(2)全線復旧に向けて

鉄道災害復旧事業費補助制度の適用対象となるよう被災3県及び沿線市町村が連携し国に要望

対象になれば、県は協調して財政支援を行う予定

※鉄道災害復旧事業費補助制度

- 条 件： i) 復旧費が当該路線の運輸収入の1割以上
ii) 過去3年間で赤字決算
iii) 鉄軌道の収益のみでは被害額の回収が困難

補助率：国1/4、県1/4（JR1/2）

V 防災機能・防災力の強化

1 防災機能の強化

(1) 災害に強い社会資本整備

① 幹線道路ネットワークの構築による代替性・多重性の確保

○ 中九州横断道路(地域高規格道路)の整備促進

県庁所在地間を連絡する幹線道路の代替性確保のため、全面通行止めとなった国道57号の代替となる中九州横断道路の整備促進を国に強く訴え、大分～熊本間の防災機能を強化

○ 中津日田道路(地域高規格道路)の整備推進

都市間を連絡する幹線道路の代替性確保のため、全面通行止めとなった国道212号の代替となる中津日田道路の整備を推進し、中津～日田市間の防災機能を強化

○ 国道・県道の整備推進(地域道路網の多重性確保)

幹線道路ネットワークを補完し地域間を連絡する国道・県道の整備を推進することにより、多重性を確保し防災機能を強化

- ・ 国道の整備 → 国道212号響工区、国道442号合瀬工区 など
- ・ 県道の整備 → 栃野西大山線、玖珠山国線 など

② 東九州自動車道の整備促進(災害時の救急救命活動や支援物資の輸送等を支えるネットワークを確保)

繋げてこそネットワークとしての機能が発揮されることから、国及び西日本高速道路(株)に対し強く必要性を訴え、ミッシングリンクを早期に解消

③ 生活道路など地域を支える道路の耐災性向上

孤立集落の防止に向けた地域防災上重要となる道路の防災点検の継続実施及び改良事業や災害防除事業、橋梁補修事業等による耐災性の向上を目指した防災対策の推進

④ 河川浸水対策の推進

○ 現状

- ・ 河川整備率 40.1% (平成24年3月末時点)

○ 整備方針

(ハード対策)

- ・ 浸水被害が発生した河川における緊急性等優先度の検討による順次整備
- ・ 河床掘削やパラペットの設置など即効性のある治水対策の随時実施

(ソフト対策)

- ・水防に関する研修・説明会の拡充（行政機関、水防団等）

⑤玉来ダムの早期完成

○整備方針

- ・稲葉ダムで実証された大規模・広域的な災害に対する有効な対策であるダム建設の継続的な推進
- ・現在、用地買収の前提となる一筆調査を実施中。今後、ダム本体の詳細設計、水理模型実験を実施予定
- ・詳細設計後、速やかに地権者との基本協定の締結、用地補償基準の妥結、用地交渉・買収に着手

⑥土砂災害対策の推進

○現状

- ・土砂災害危険箇所 19,640箇所（平成24年3月現在）
→ 上記のうち、要対策箇所整備率 25.4%

○整備方針

(ハード対策)

- ・被災地域の緊急点検を実施
- ・被災履歴のある箇所や学校、病院、介護施設等重要施設など優先的に整備すべき箇所を抽出・整理し、対策工事を実施
- ・砂防施設の整備が必要な法定外水路について、優先度が高い箇所から砂防区域指定を行い工事を実施

(ソフト対策)

- ・土砂災害の恐れのある地域を土砂災害警戒区域に指定
- ・土砂災害についての広報・教育・防災訓練等の実施

⑦漁港の防災対策強化 [9月補正]

- ・長州漁港の導流堤、防波堤などの前倒し整備

(2)点検の強化等

日常点検に加え出水期前に土砂災害等の危険箇所の点検を強化するとともに、危険箇所等の情報を早期に発信

- ・道路における災害危険箇所の把握と点検強化
- ・河川管理施設等点検実施要領に基づく巡視点検の徹底
- ・土砂災害被災地域の緊急点検を実施
- ・土砂災害の危険性がある箇所（避難場所等）の出水期前点検を実施

(3)災害に強い森林づくり

○流木被害の状況

- ・流木は河川上流部では溪岸の崩壊や土石流などにより、また中下流部では河川沿いの林地の浸食により発生

○今後の森林づくり

- ・河川や溪流沿いの人工林については、林地崩壊や流木の発生を防ぐため深根性で樹高の低い広葉樹林化を推進
- ・尾根や急傾斜地の人工林では、自然災害の防止や経済性の点から、針広混交林化や広葉樹林化を推進
- ・「次世代の大分森林づくりビジョン」に明記のうえ、災害に強い森林づくりを推進

2 防災力の強化

(1)災害応急体制の検証

- ・住民への災害情報の伝達や自主防災組織の活動など災害への的確な対応ができていたか検証し、県や市町村の地域防災計画に反映(平成25年3月)

(2)防災GIS等システムの再構築 [9月補正]

- ・市町村が避難勧告等の発令を県に報告するシステム(防災GIS)と連動した県民安全・安心メール等の自動配信システムの構築(平成25年3月)
- ・被災企業の迅速な把握に向け企業の位置情報を防災GISに登録(9月予定)

(3)防災情報の積極的な提供

○観測体制の被害

今回の豪雨で河川水位局2箇所が欠測

→ 災害復旧事業により早期に復旧 [9月補正]

○整備方針

住民に分かりやすく、確実かつ正確に情報が提供できるよう必要に応じたシステムの改築及び機器を整備

- ・洪水避難情報システム → ダム情報の提供、システムのIP化、河川監視カメラや水位計の増設など
- ・土砂災害監視システム → システムのIP化など
- ・道路規制情報提供サービス → 既設カメラ(市町村管理含む)との接続・映像配信、カメラの増設など

(4)災害記録の作成

被害状況、応急復旧、本格復旧、復興の取組について取りまとめ、今後の災害対策に活用

VI 復旧・復興情報の発信

災害復旧にかかる状況を随時、県内外へ情報発信

- ・県のHP上に専用サイトを設置
- ・ツイッターなどソーシャルネットワークサービスの活用による情報発信
- ・復興イベントと位置づけ実施する観光など各種イベントの開催状況やキャンプ場等の観光施設の復旧状況、観光地を結ぶ道路の復旧状況をHPやツイッターで広報

VII 推進計画の進捗管理と見直し

この推進計画は、今後の復旧状況に応じて、随時に見直しを行うとともに中長期的な復旧・復興対策も含めて検討を進め、計画に反映する。

大分県水害対策会議が本計画の進捗管理を行い、着実に推進する。

【参 考 1】

これまでの経過

6月8日梅雨入り、7月23日梅雨明け

- ・6月30日～7月1日豪雨災害
- ・7月3～5日豪雨災害 → 災害対策本部の設置 (7/3)
- ・7月11～14日豪雨災害 → 災害対策本部の設置 (7/12、7/14)

○災害救助法の適用

- ・7月3日：中津市・日田市
- ・7月12日：竹田市

○自衛隊の派遣

- ・7月12～19日：竹田市
- ・7月14～15日：中津市・日田市

○普通交付税（9月分）の繰り上げ交付

- ・7月18日：中津市、日田市
- ・7月25日：竹田市

1 7月6日（金） 第1回水害対策会議

- ・被災状況の確認
- ・応急復旧、緊急の支援

2 7月17日（火） 第2回水害対策会議

- ・被災状況の確認
- ・応急復旧、支援の状況
- ・今後の復旧に向けて
…水害対策会議の常設、復旧・支援策を取りまとめて計画的に実施

3 7月17日（火） 補正予算の専決処分

- ・救助対策費、災害援護資金貸付金、土木関係災害復旧調査費

4 7月20日（金） 野田総理へ緊急要望書を知事から手渡し、説明

<要望項目>

- ・激甚災害の早期指定
- ・災害査定の早期実施と災害復旧事業の推進
- ・被災者支援の各種制度の充実
- ・農林水産業や商工業への支援

- ・復旧・復興に向けての財政支援
- ・JR豊肥本線、JR久大本線の早期復旧に向けた支援
- ・玉来ダムの整備推進

5 7月31日（火） 激甚災害（本激）指定の閣議決定

- ・対象は、農地等・農林水産業共同利用施設の復旧事業
- ・8月3日（金）公布・施行

6 7月31日（火） 水害対策会議（於：中津市、日田市、玖珠町）

8月1日（水） 水害対策会議（於：竹田市）

- ・応急復旧の状況、今後の本格復旧事業についての説明・意見交換
…今後も県と被災市町が連携して一体となった迅速な取組の推進

7 8月2日（木） 3県合同の豪雨災害に関する緊急要望

- ・福岡県、熊本県とともに、被災者等の生活再建支援や早期の災害復旧など豪雨災害に関する緊急要望を国へ提出

8 8月9日（木） 豪雨被害に関する意見交換会（於：豊後大野市、由布市）

9 8月10日（金） 激甚災害（本激）指定の閣議決定

- ・対象は、公共土木施設等の復旧事業
- ・8月15日（水）公布・施行

10 8月27日（月） 第4回水害対策会議

- ・「復旧・復興推進計画」の策定

【参考2】

被害状況

梅雨前線豪雨による被害状況(1/2頁)

		平成24年8月24日 12時現在						
被害種別	単位	県計	中津市	日田市	竹田市	玖珠町	その他	
人的被害	死者	3		1	2			
	行方不明	1	1					
	負傷者	1					1	
	負傷者	4		1	3			
住家被害	全壊	36	10	13	11		2	
	半壊	192	70	24	87	2	9	
	一部破損	88		72	12	2	2	
	床上浸水	1,006	162	742	87	3	12	
	床下浸水	1,507	238	1,119	77	28	45	
	合計	2,829	480	1,970	274	35	70	
	非住家被害	棟	587	408	7	145	2	25
住民の孤立(最大)	地区数	22		6	10	6		
	世帯数	318		37	77	204		
	人数	841		78	199	564		
住民(最大)避難等	対象世帯数	19,504		12,616	6,598	145	145	
	対象人数	49,231		33,779	14,599	428	425	
	対象世帯数	32,233	3,263	6,338	10,564	6,811	5,257	
対象人数	80,936	8,024	17,664	24,609	17,488	13,151		

※1 被害状況集計の期間は、6月8日から7月23日まで。

※2 住民の孤立は7月17日に全て解消された。避難指示は7月15日、避難勧告は7月31日に、全て解除された。

梅雨前線豪雨による被害状況(2/2頁)

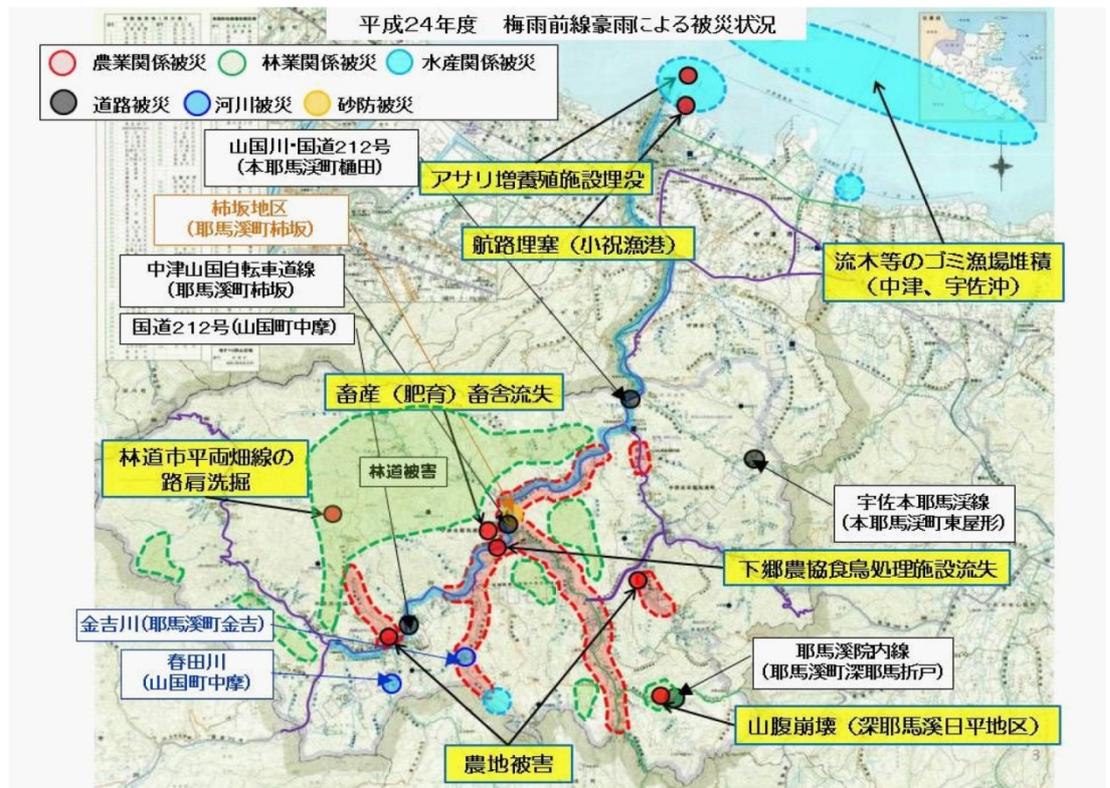
被害種別		県計	中津市	日田市	竹田市	玖珠町	その他	
福社関係	箇所数	13	7	2	4			
	金額	118	84	24	10			
	商工労働関係	箇所数	389	106	197	77	3	6
		金額	1,367	393	407	521	4	42
	農産物等	箇所数	623	457	115	22	13	16
		金額	520	83	156	189	53	39
	農業関係	箇所数	38		15	15	4	4
		金額	51		26	11	9	5
	農地・農業用施設	箇所数	10,066	1,707	2,555	3,924	583	1,297
		金額	14,692	1,972	4,710	5,006	999	2,005
その他	箇所数	40	16	21	1	2		
	金額	76	44	23	8	1		
計	箇所数	10,767	2,180	2,706	3,962	602	1,317	
	金額	15,339	2,099	4,915	5,214	1,062	2,049	
農林水産関係	箇所数	547	95	316	69	25	42	
	金額	3,817	452	1,193	773	95	1,304	
水産関係	箇所数	13	6	1	4		2	
	金額	63	45	1	2		15	
林業関係	箇所数	593	188	315	28	16	46	
	金額	1,070	346	311	204	63	146	
その他	箇所数	37	9	16	12			
	金額	70	13	45	12			
計	箇所数	1,190	298	648	113	41	90	
	金額	5,020	856	1,550	991	158	1,465	
漁業関係	箇所数	5	4				1	
	金額	136	135				1	
計	箇所数	16	6				10	
	金額	521	282				239	
小計	箇所数	21	10	0	0	0	11	
	金額	657	417	0	0	0	240	
計	箇所数	11,978	2,488	3,354	4,075	643	1,418	
	金額	21,016	3,372	6,465	6,205	1,220	3,754	
土木建築関係	箇所数	3			2		1	
	金額							
道路(橋梁含む)	箇所数	168	60	58	25	12	13	
	金額	2,778	879	969	643	127	160	
市町村道	箇所数	603	58	152	250	24	119	
	金額	4,569	954	1,893	1,115	153	454	
計	箇所数	774	118	210	277	36	133	
	金額	7,347	1,833	2,862	1,758	280	614	

被害種別		県計	中津市	日田市	竹田市	玖珠町	その他	
土木建築関係	箇所数	27	4	23				
	金額							
	国管理	箇所数	592	96	232	123	28	113
		金額	12,495	1,885	3,771	4,665	361	1,813
	県管理	箇所数	414	56	158	64	59	77
		金額	4,039	799	1,832	355	765	288
	市町村管理	箇所数	156	413	187	87	87	190
		金額	16,534	2,684	5,603	1,126	2,101	16
	計	箇所数	16					85
		金額	85					14
海	箇所数	23					23	
	金額	221	68	115	4	15	19	
港	箇所数	3,015	900	1,354	150	477	134	
	金額	6		3	3			
砂防設備	箇所数	320	7	313				
	金額	2	1	1				
都市・公園	箇所数	84	77	7				
	金額	26	12	4	10			
下水道	箇所数	39	18	2	19			
	金額	2,092	355	746	481	138	372	
公営住宅	箇所数	27,447	5,512	9,835	7,260	1,883	2,957	
	金額	4	1	2	1			
小計	箇所数	124	0	3	121			
	金額	8	3	5				
公立学校	箇所数	71	37	34				
	金額	12	4	7	1	0	0	
私立学校	箇所数	195	37	121	0	0		
	金額	2	1	1				
計	箇所数	90		80	10			
	金額	14	4	8	2	0	0	
小計	箇所数	285	37	117	131	0	0	
	金額	14,486	2,960	4,307	4,639	784	1,796	
合計	箇所数	50,233	9,398	16,848	14,127	3,107	6,753	
	金額							

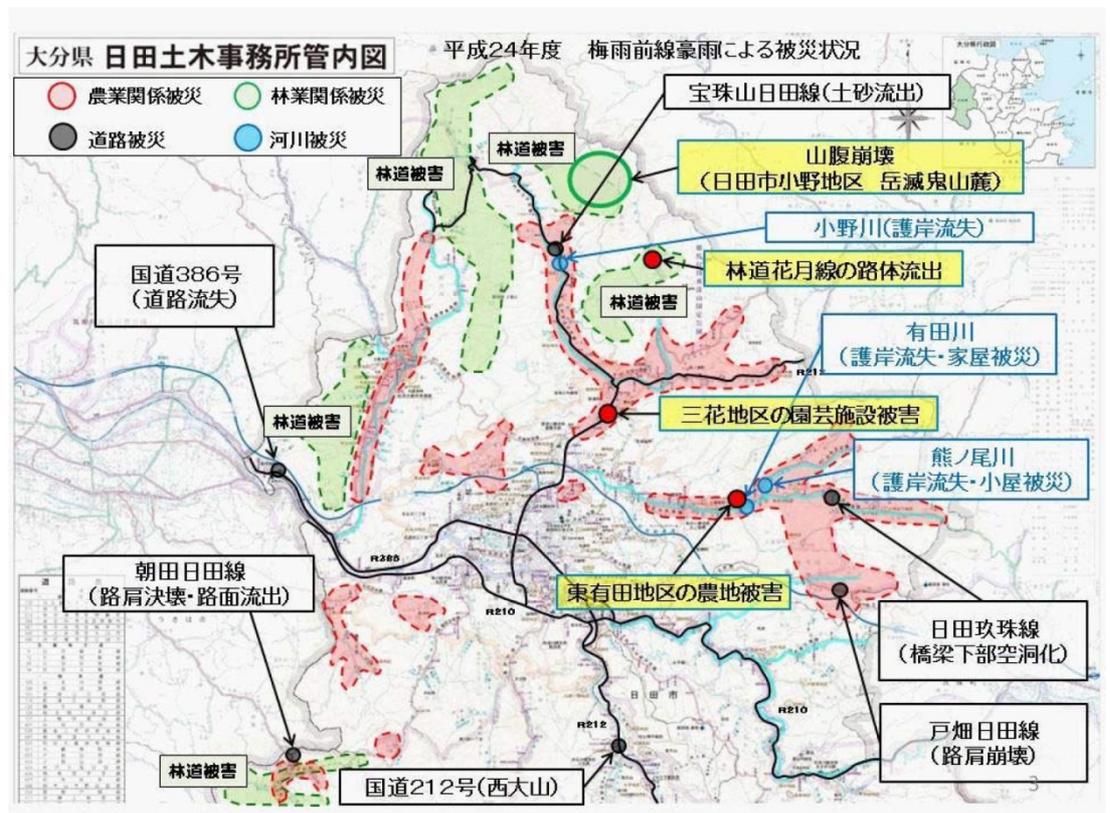
平成24年8月24日12時現在、単位：箇所、百万円

※鉄道被害状況
 ○豊大本線 全体 130件、うち大分県 38件
 ○久大本線 全体 4件、うち大分県 2件
 ○日田彦山線 全体 7件、うち大分県 2件
 ※今後の調査により、件数、金額は変動する見込

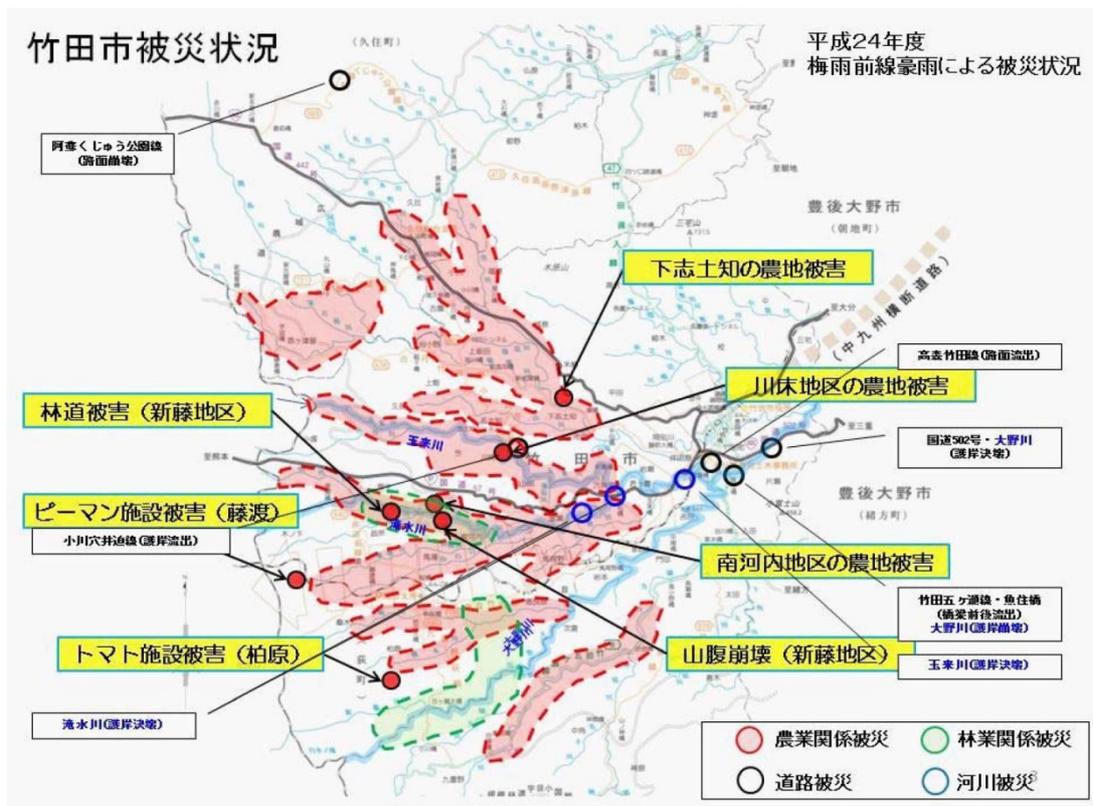
＜中津市の被災状況＞



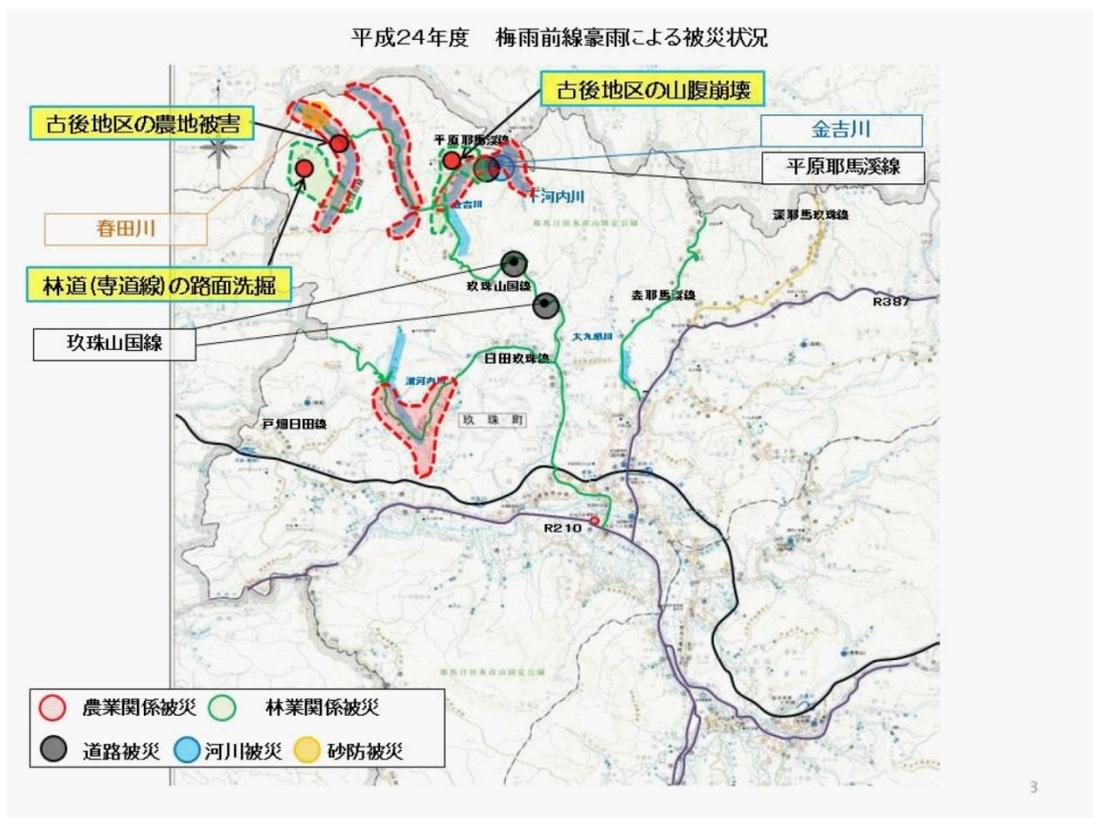
＜日田市の被災状況＞



<竹田市の被災状況>



<玖珠町の被害状況>



第3節 大分県水害対策会議復旧・復興推進計画の進捗状況

平成24年梅雨前線豪雨災害 復旧・復興推進計画の進捗状況

平成26年3月4日
大分県水害対策会議

(目 次)

<u>I 被災者への支援</u>	
1 暮らし・住宅再建の支援	1
2 医療・福祉・保健衛生	3
<u>II 農林水産業・商工業等への支援</u>	
1 農林水産業の再建	4
2 商工業の再生	5
<u>III 教育・文化施設等の復旧・復興</u>	
1 学校施設・教育の復旧・復興	7
2 文化・社会教育施設の復旧	7
<u>IV 社会資本等の復旧・復興</u>	
1 道路・河川等の復旧	8
2 農地・農業用施設等の復旧	11
3 その他施設の復旧	11
4 復旧工事に係る人的支援等	15
5 JRの復旧	17
<u>V 防災機能・防災力の強化</u>	
1 防災機能の強化	18
2 防災力の強化	19
<u>VI 復旧・復興情報の発信</u>	19
<u>VII 計画の進捗管理と見直し</u>	20

(平成26年2月25日現在)

I 被災者への支援

1 暮らし・住宅再建の支援

(1)緊急対応 完了

- ・災害救助法の適用及び自衛隊の派遣要請(中津市・日田市・竹田市)
- ・避難所の設置(最大値 114箇所、3,003人)
- ・災害ボランティアによる支援(合計 9,785人)

(2)災害弔慰金、災害援護資金 完了

①災害弔慰金の支給

市町村名	支払件数	支給額
中津市	1件	250万円
日田市	0件	0万円
竹田市	1件	500万円
合計	2件	750万円

②災害援護資金の貸付

市町村名	相談件数	申請件数	貸付件数	貸付額
中津市	9件	1件	1件	150万円
日田市	35件	13件	12件	2,070万円
竹田市	17件	5件	5件	920万円
合計	61件	19件	18件	3,140万円

(3)被災住宅の再建に向けての支援

①被災者生活再建支援金(被災者生活再建支援法)(国の制度)

市町村名	申請世帯数	支給済世帯数	支給済金額
中津市	40世帯	40世帯	61,000千円
日田市	39世帯	39世帯	70,875千円
竹田市	38世帯	38世帯	64,125千円
合計	117世帯	117世帯	196,000千円

②大分県災害被災者住宅再建支援制度による支援金(県の制度)

市町村名	申請世帯数	支給済世帯数	支給済金額
中津市	355世帯	355世帯	61,463千円
日田市	456世帯	456世帯	358,610千円
竹田市	117世帯	117世帯	50,576千円
その他	20世帯	20世帯	7,986千円
合計	948世帯	948世帯	478,635千円

(4)被災者の受入れ支援

①民間住宅借上げによる応急仮設住宅の設置

市町村名	借上実績
竹田市	13戸

②県営住宅等における被災者の受入れ

市町村名	受入実績			合計
	県営住宅	県職員住宅	教職員住宅	
日田市	0戸	1戸	0戸	1戸
竹田市	0戸	0戸	0戸	0戸
合計	0戸	1戸	0戸	1戸

※仮入居の現状
17世帯、57人

(5)水道施設の復旧

種別	被災施設数	復旧状況		本復旧見込み
		応急復旧	本復旧	
上水道	6施設	6施設	4施設	平成26年度中1件 ※1、平成27年度中1件 ※2
簡易水道	29施設	29施設	28施設	平成26年度中 1件 ※3
給水施設	9施設	9施設	8施設	平成25年度中 1件
合計	44施設	44施設	40施設	

※1 竹田市上水道は、河川占用協議及び橋梁復旧工事遅延のため平成26年9月末予定（給水には支障なし）

※2 日田市上水道の水管橋は、橋梁復旧工事遅延のため平成28年3月予定（給水には支障なし）

※3 橋梁や道路の復旧工事遅延により、水道管の布設換えができず、平成26年4月末までに完了する見込み（給水には支障なし）

(6)下水道施設の復旧 完了

種別	被災施設数	復旧状況		本復旧日
		応急復旧	本復旧	
被災下水道施設	2施設	2施設	2施設	中津市公共下水道 山国浄化センター 平成25年9月13日完了
農業集落排水施設	5施設	3施設	5施設	平成25年3月27日完了
合計	7施設	5施設	7施設	

(7)県関係の税金、使用料・手数料等の減免 完了

- ・県税等の減免措置(36件 428,800円)
- ・申告等の期限延長(5件)
- ・県税事務所に相談窓口を設置
- ・国、県、市が連携し、合同行政相談を実施(中津市役所、日田市役所)
- ・使用料・手数料の減免(131件 854,790円)

(8)義援金等の募集、配分 [募集期間:平成24年7月19日～8月31日] 完了

項目	金額
県の災害義援金	132,960,732円
日赤大分県支部、県社協、県共同募金会による義援金	90,405,948円
合計	223,366,680円
第一次配分額(24年8月23日決定、8月24日配分)	85,850,000円
第二次配分額(24年9月28日決定、10月12日配分)	127,775,629円
第三次配分額(24年12月21日決定、12月27日配分)	9,741,051円

- ・県内外の企業等から物資提供の申出に対して被災市のニーズに合う物資の供給を斡旋(19企業等 41品目:高圧洗浄機、飲料水、マスク、殺虫剤、扇風機等) 完了

2 医療・福祉・保健衛生

- (1)緊急対応 完了
 ・大分DMATの出動(竹田市、24年7月12日、2チーム)
 ・保健所による保健衛生の活動
 避難所での健康相談(44箇所) 完了
 被災地域の医療・保健衛生ニーズの調査(3市1町)

(2)施設等の復旧 完了

①医療機関

被災施設	再開済施設	未再開施設	備考
4 施設	4 施設	0 施設	24年8月10日までに全ての施設において再開済

②高齢者施設

被災施設	再開済施設	未再開施設	備考
3 施設	3 施設	0 施設	25年1月28日までに全ての施設において再開済

③保育所

被災施設	再開済施設	未再開施設	備考
3 施設	3 施設	0 施設	25年1月4日までに全ての施設において再開済

④障がい者施設

被災施設	再開済施設	未再開施設	備考
3 施設	3 施設	0 施設	24年9月1日までに全ての施設において再開済

(3)被災者の健康調査・健康管理 完了

- ①保健師等が被災者の健康調査・健康相談を実施し、被災者の身体的・精神的なケアを実施
 (24年7月4日～8月23日、従事延べ人員131名)
- ②市町が行う防疫活動について指導を実施するとともに、一部地域では防疫活動の応援実施
 (2,956箇所の家屋等の消毒完了(5市1町、24年9月28日まで)
 (県職員が延べ294箇所を消毒実施)
- ③大規模に浸水した地域において、市が実施した消毒経費を助成
 日田市 11,553,794円
 竹田市 2,440,800円
 中津市 5,124,222円
 計 19,118,816円

II 農林水産業・商工業等への支援

1 農林水産業の再建

(1) 農業者への再建支援

① 相談窓口の設置 完了

② 金融支援、共済制度等

○ 大分県特定災害対策緊急資金

申請8件、貸付実行済み8件、20,664千円

○ 被災農業者特別利子助成事業(国の制度)

申請7件、貸付承認済み7件

○ 大分県農業経営緊急対策アシスト資金

貸付け実績なし

○ 農業共済制度 完了

市町村名	申請件数	支払件数	支払金額
中津市	320件	320件	6,076万円
日田市	233件	233件	1,377万円
竹田市	420件	420件	7,744万円
豊後大野市	69件	69件	1,013万円
由布市	2件	2件	17万円
玖珠町	88件	88件	1,198万円
その他	5件	5件	37万円
合計	1,137件	1,137件	17,462万円

③ 被災農家の負担軽減 完了

○ 園芸産地緊急支援事業

補助実績 39件、1,858千円

○ 畜産農家への支援(牛舎の再建への助成)

補助実績 1件、6,492千円

○ 県営ほ場整備後の被災農家の負担軽減

助成実績なし

○ 有害鳥獣侵入防止柵の復旧

農地等災害復旧事業の対象とならない防護柵の設置については25年1月31日に事業着手し、25年3月15日に工事完了(中津市 9箇所)

(2) 林業者への再建支援

- ①相談窓口の設置 完了
- ②金融支援、共済制度等
- 椎茸生産者への支援
実績なし
 - 乾椎茸生産安定資金の活用
実績なし
 - 災害により木材搬出に支障を来している林道、作業道の復旧について支援
(Ⅳ 社会資本等の復旧・復興 に掲載)

(3) 水産業者への再建支援

- ①相談窓口の設置 完了
- ②金融支援、共済制度等
大分県特定災害対策緊急資金の発動

③水産施設の復旧 完了

種別	被災施設数	復旧状況
アサリ増殖施設(県)	1 施設(中津市)	24年11月16日復旧完了
アサリ養殖施設(市)	1 施設(中津市)	24年9月堆積物撤去終了

2 商工業の再生(1) 中小企業への支援 完了

①相談窓口の設置

②金融支援

○九州北部豪雨等災害復旧特別融資

※取扱期間を6か月延長
(期限:平成25年2月28日→8月31日)

市町村名	貸付件数	貸付額
中津市	8 件	4,300 万円
日田市	14 件	8,040 万円
竹田市	10 件	10,150 万円
由布市	7 件	3,158 万円
玖珠町	1 件	200 万円
合計	40 件	25,848 万円

※貸付件数・貸付額は保証承諾ベース

(2) 被災工業団地等の改良復旧支援制度 完了

○大分県企業立地基盤整備費補助金

市町村名	工場用地名	実施・復旧状況
中津市	本耶馬溪工場用地	平成25年9月27日復旧完了

(3) 観光産業の復活への支援 完了

① 風評被害払拭のための取組

「元気ですキャンペーン」の実施

中津市(24年8月～12月)、日田市(24年8月～25年3月)

竹田市(24年8月～25年3月)、由布市(24年8月～25年2月)

② 観光施設等の復旧・復興

日田市1箇所(復旧済 24年12月)

由布市1箇所(復旧済 25年3月)

③ 九州自然歩道等の復旧整備

中津市1箇所(復旧済 25年4月30日)

竹田市2箇所(復旧済 25年5月15日)

玖珠町1箇所(復旧済 25年4月30日)

Ⅲ 教育・文化施設等の復旧・復興

1 学校施設・教育の復旧・復興

- ◎激甚災害(本激)の指定(平成24年8月10日閣議決定 8月15日公布・施行)
 - ・指定災害:「平成24年6月8日から7月23日までの間の豪雨及び暴風雨による災害」
 - ・対象地域:全国
 - ・適用措置
 - ①公立社会教育施設災害復旧事業に対する補助
 - ②私立学校施設災害復旧事業に対する補助

(1)学校施設の復旧等 完了

①学校施設の復旧等

種別	被災校数	復旧済数	今後の主な復旧見込み
県立学校	4校	4校	竹田支援学校…24年11月30日復旧済
市立学校	8校	8校	25年1月24日に全校復旧済
私立学校	2校	2校	
合計	14校	14校	

(2)被災した児童・生徒等への支援 完了

- ①心のケア 実績 9校
- ②教科書の給付等
 - ・教科書の給付 実績 46名 学用品等の現物給与 実績 99名
- ③奨学金の貸付 実績 1名

2 文化・社会教育施設の復旧

(1)文化・社会教育施設の復旧

①文化・社会教育施設等の再建

種別	被災数	復旧済数	今後の主な復旧見込み
文化・社会教育施設	6施設	3施設	竹田市文化会館、竹田市中央公民館…現在地に新築予定(国と協議中) 竹田市中央公民館玉来分館…26年3月復旧予定
体育施設	7施設	6施設	竹田市体育センター(竹田市)…復旧予定(国と協議中)
合計	13施設	9施設	

(2)文化財の復旧

種別	被災数	復旧済数	今後の主な復旧見込み
国指定文化財	7施設	5施設	小鹿田焼の里…27年3月復旧予定 名勝耶馬溪…復旧の方向性を検討中(中津市)
県指定文化財	10施設	8施設	中津城おかい山…27年3月復旧予定 筏場眼鏡橋…復旧の方向性を検討中
合計	17施設	13施設	

IV 社会資本等の復旧・復興

1 道路・河川等の復旧

(1) 応急復旧 完了

(2) 本復旧

◎ 激甚災害(本激)の指定(平成24年8月10日閣議決定 8月15日公布・施行)

- ・指定災害:「平成24年6月8日から7月23日までの間の豪雨及び暴風雨による災害」
- ・対象地域:全国
- ・適用措置 公共土木施設災害復旧事業等に関する特例の財政援助
- ・国土交通省所管事業の国庫負担嵩上げ措置(日田市、竹田市、玖珠町)

① 道路の本復旧 ※本復旧割合 97.2%

市町村名	事業箇所数	復旧状況			
		応急復旧	査定済	着手済	本復旧
中津市	57箇所	6箇所	57箇所	57箇所	55箇所
日田市	48箇所	15箇所	48箇所	48箇所	47箇所
竹田市	16箇所	4箇所	16箇所	16箇所	16箇所
豊後大野市	3箇所	1箇所	3箇所	3箇所	3箇所
玖珠町	12箇所	3箇所	12箇所	12箇所	12箇所
その他	9箇所	2箇所	9箇所	9箇所	8箇所
合計	145箇所	31箇所	145箇所	145箇所	141箇所

※事業箇所数:県の管理施設において災害復旧工事を実施する箇所数(以下同じ)

(うち主な復旧箇所)

市町村名	路線名	場所	本復旧日
中津市	国道212号	中津市耶馬溪町戸原	平成25年3月29日完了
日田市	国道386号	日田市友田	平成24年10月12日完了
竹田市	国道502号	竹田市片ヶ瀬	平成25年6月8日完了
豊後大野市	緒方朝地線	豊後大野市朝地町上尾塚	平成25年3月19日完了
由布市	(主)別府一の宮線	由布市湯布院町川西	平成25年5月24日完了
玖珠町	玖珠山国線	玖珠町大字古後	平成25年5月29日完了

② 河川の本復旧 ※本復旧割合 93.4%

市町村名	事業箇所数	復旧状況			
		応急復旧	査定済	着手済	本復旧
中津市	100箇所	11箇所	100箇所	96箇所	94箇所
日田市	202箇所	25箇所	202箇所	199箇所	184箇所
竹田市	137箇所	7箇所	137箇所	137箇所	128箇所
豊後大野市	34箇所	2箇所	34箇所	34箇所	32箇所
由布市	5箇所	0箇所	5箇所	5箇所	5箇所
玖珠町	27箇所	2箇所	27箇所	27箇所	26箇所
その他	44箇所	1箇所	44箇所	44箇所	44箇所
合計	549箇所	48箇所	549箇所	542箇所	513箇所

(うち主な復旧予定箇所)

市町村名	河川名	場 所	本復旧予定日
中津市	山国川	中津市耶馬溪町宮園	平成25年9月12日完了
日田市	渡里川	日田市吹上町	平成25年2月8日完了
竹田市	大野川	竹田市吉田	平成25年5月17日完了
豊後大野市	大野川	豊後大野市緒方町志賀	平成25年12月17日完了
由布市	大分川	由布市庄内町西長宝	平成25年2月21日完了
玖珠町	金吉川	玖珠町大字古後	平成25年5月2日完了

※改良復旧・緊急事業として、山国川・犬丸川(中津市)、玉来川・滝水川(竹田市)、春田川(中津市、玖珠町)等が採択された。

③砂防設備の本復旧 ※本復旧割合 92.8%

市町村名	事業箇所数	復旧状況			
		応急復旧	査定済	着手済	本復旧
中津市	46 箇所	2 箇所	46 箇所	46 箇所	46 箇所
日田市	72 箇所	4 箇所	72 箇所	71 箇所	65 箇所
竹田市	4 箇所	0 箇所	4 箇所	4 箇所	1 箇所
由布市	2 箇所	2 箇所	2 箇所	2 箇所	2 箇所
玖珠町	15 箇所	0 箇所	15 箇所	15 箇所	14 箇所
その他	14 箇所	0 箇所	14 箇所	14 箇所	14 箇所
合 計	153 箇所	8 箇所	153 箇所	152 箇所	142 箇所

(うち主な復旧予定箇所)

市町村名	河川名	場 所	本復旧予定日
中津市	田野尾川	中津市山国町中摩	平成25年12月26日完了
日田市	串川	日田市高瀬	平成25年6月28日完了
竹田市	大石川	竹田市久住町有氏	平成25年10月3日完了
由布市	岳本川	由布市湯布院町川上	平成25年4月26日完了
玖珠町	大浦川	玖珠町大字古後	平成25年9月19日完了

※改良復旧・緊急事業として、岳本川(由布市)、春田川(玖珠町)等が採択された。

◎公共土木施設(道路・河川等)の復旧・復興に関する地元への説明 完了
・近隣の地域住民に対して平成25年2月に説明済

④交通安全施設の復旧 完了

○信号機の復旧

市町村名	事業箇所数	応急復旧	本復旧
中津市	2 基	2 基	2 基
竹田市	1 基	1 基	1 基
合 計	3 基	3 基	3 基

○標識の復旧

市町村名	事業箇所数	応急復旧	本復旧
中津市	15 本	0 本	15 本
日田市	18 本	0 本	18 本
竹田市	4 本	0 本	4 本
合計	37 本	0 本	37 本

- (3) 道路・河川等公共土木施設と農地の災害復旧工事に係る事前協議と調整 完了
 ・被災施設の管理者協議(二重採択防止など)を行い、24年11月に査定終了

- (4) 県による市町復旧事業の受託 完了

市町村名	受託箇所	基本協定書 締結年月日	実施協定書 締結年月日	備考
中津市	山国川	平成24年11月27日	平成25年1月30日	橋梁災
日田市	吾々路川	平成24年11月22日	平成24年12月20日	道路災
	志谷川	平成24年11月22日	平成24年12月20日	橋梁災他
竹田市	玉来川	平成24年11月26日	平成24年12月25日	橋梁災
玖珠町	大浦川	平成24年11月13日	平成25年1月22日	河川災
	山浦川	平成24年11月13日	平成25年1月22日	河川災

- (5) 入札制度の弾力的な運用

○被災した土木事務所が発注する公共土木施設災害復旧事業を対象とした特例措置(平成24年9月)

- ・総合評価落札方式
 予定価格5千万円以上でも総合評価落札方式の対象としない(H25.3末迄)
- ・低入札価格調査
 予定価格1億円以上でも、最低制限価格制度を適用する(H25.3末迄)
- ・配置予定技術者
 - ・専任主任技術者の兼任を可能とする対象工事を拡大
 - ・専任主任技術者又は専任管理技術者の雇用条件緩和(3ヶ月前迄→契約前日迄)

○被災した土木事務所の災害復旧事業・関連事業を対象とした特例措置(平成25年2月)

- ・総合評価落札方式
 予定価格8千万円以上でも「施工実績等評価タイプ」を適用可能(H25.9末迄)
- ・現場代理人
 同一土木事務所管内工事で、1件が対象事業であれば2件まで兼務可能
- ・市町災害復旧工事の入札不調対策
 県発注工事に随意契約する場合に限り、県工事の現場代理人が兼任可能

2 農地・農業用施設等の復旧

(1) 応急復旧

(2) 本復旧

◎激甚災害(本激)の指定(平成24年7月31日閣議決定 8月3日公布・施行)

・指定災害:「平成24年6月8日から7月23日までの間の豪雨及び暴風雨による災害」

・対象地域: 全国

- ・適用措置
 - ①農地等の災害復旧事業等に係る補助の特別措置
 - ②農林水産業共同利用施設災害復旧事業費の補助の特例
 - ③小災害債に係る元利償還金の基準財政需要額への算入等

①市町による復旧事業(県の支援)

○農地・農業用施設等の復旧 ※着手済割合 98.7% ※本復旧割合 50.3%

市町村名	事業箇所数					
		応急復旧	査定済	着手済	廃工※	本復旧
中津市	324 箇所	11 箇所	324 箇所	302 箇所	11 箇所	207 箇所
日田市	826 箇所	7 箇所	826 箇所	815 箇所	9 箇所	435 箇所
竹田市	1,907 箇所	66 箇所	1,907 箇所	1,891 箇所	16 箇所	458 箇所
豊後大野市	204 箇所	5 箇所	204 箇所	203 箇所	1 箇所	192 箇所
玖珠町	276 箇所	0 箇所	276 箇所	226 箇所	7 箇所	149 箇所
その他	620 箇所	10 箇所	620 箇所	620 箇所	0 箇所	605 箇所
合計	4,157 箇所	99 箇所	4,157 箇所	4,057 箇所	44 箇所	2,046 箇所

※廃工とは、河川改良により用地買収された農地等で復旧の必要がなくなったもの。

②小災害の復旧

各市町で復旧事業を実施中

・農地等小災害復旧事業債の活用

中津市、日田市、杵築市、宇佐市、豊後大野市、玖珠町 994箇所

◎農地の復旧・復興等に関する地元への説明 完了

○被災者全戸対象

・営農対策などについて、自治会を通じた回覧等により25年2月に連絡済

・仮畦畔の設置等に関する説明を25年2月～3月に実施済

○河川沿いの被害の大きい地域の被災者対象

・復旧時期や事業制度等に関する説明を25年1月～3月に実施済

(3) 道路・河川等公共土木施設と農地の災害復旧工事に係る事前協議と調整 完了

・被災施設の管理者協議(二重採択防止など)を行い、25年1月に査定終了

3 その他施設の復旧

(1) 治山施設等の復旧

○治山施設の復旧

国庫補助災害復旧事業

市町村名	事業箇所数				
		応急復旧	査定済	着手済	本復旧
中津市	1 箇所	0 箇所	1 箇所	1 箇所	0 箇所
由布市	1 箇所	0 箇所	1 箇所	1 箇所	1 箇所
合計	2 箇所	0 箇所	2 箇所	2 箇所	1 箇所

県単治山事業(国の災害復旧対象外) 完了

市町村名	事業箇所数	事業進捗		
		応急復旧	着手済	本復旧
別府市	1箇所	0箇所	1箇所	1箇所
中津市	5箇所	0箇所	5箇所	5箇所
日田市	1箇所	0箇所	1箇所	1箇所
竹田市	4箇所	0箇所	4箇所	4箇所
合計	11箇所	0箇所	11箇所	11箇所

(うち主な復旧予定箇所)

市町村名	場 所	本復旧予定日
別府市	別府市大字南立石日ノ平	平成25年3月28日完了
中津市	中津市耶馬溪町大字深耶馬溪字日平	平成26年3月10日完了予定
日田市	日田市天瀬町馬原字黒谷	平成25年3月27日完了
竹田市	竹田市荻町馬場深久保	平成25年6月28日完了
由布市	由布市湯布院町湯平字倉本	平成25年5月30日完了

○林地崩壊の復旧 完了

市町村名	事業箇所数	事業進捗			
		応急復旧	認可済	着手済	本復旧
別府市	2箇所	1箇所	2箇所	2箇所	2箇所
中津市	1箇所	0箇所	1箇所	1箇所	1箇所
日田市	4箇所	1箇所	4箇所	4箇所	4箇所
竹田市	6箇所	0箇所	6箇所	6箇所	6箇所
由布市	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所
その他	2箇所	0箇所	2箇所	2箇所	2箇所
合計	16箇所	3箇所	16箇所	16箇所	16箇所

(うち主な復旧予定箇所)

市町村名	場 所	本復旧日
別府市	別府市大字南立石字寒原	平成25年11月24日完了
中津市	中津市耶馬溪町大字深耶馬溪字日平	平成25年8月30日完了
日田市	日田市大字小野字釜ヶ瀬	平成25年9月27日完了
竹田市	竹田市荻町新藤字下畑	平成25年6月28日完了
由布市	由布市湯布院町川上字重見	平成25年10月19日完了

(2) 林道等の復旧

① 林道の復旧

※本復旧割合 86.3%

市町村名	事業箇所数	復旧状況			
		応急復旧	査定済	着手済	本復旧
中津市	45箇所	0箇所	45箇所	44箇所	39箇所
日田市	28箇所	0箇所	28箇所	26箇所	21箇所
竹田市	12箇所	0箇所	12箇所	12箇所	12箇所
玖珠町	3箇所	0箇所	3箇所	3箇所	2箇所
その他	14箇所	1箇所	14箇所	14箇所	14箇所
合計	102箇所	1箇所	102箇所	99箇所	88箇所

・県独自の補助制度：林内路網緊急補強事業

(事業概要)

搬出間伐重点区域等、早急に木材の搬出が計画される区域において、九州北部豪雨災害等により被災し、木材搬出に支障を来している林道の復旧をはかる。

(採択基準)

1箇所40万円以上で公共採択基準を満たさないもの(利用区域30ha未満、延長500m未満等)

(利用実績)

8件、事業費25,663千円、内補助金12,831千円(補助率50%)

(うち主な復旧予定箇所)

市町村名	路線名	場所	本復旧予定日
中津市	岳減鬼線	中津市山国町槻木	平成26年度中
日田市	花月線	日田市大字花月	平成26年度中
竹田市	城ヶ岳線	竹田市荻町新藤	平成25年9月30日完了

② 作業道の復旧

市町村名	事業箇所数	本復旧
中津市	157箇所	97箇所
日田市	103箇所	69箇所
玖珠町	2箇所	2箇所
その他	5箇所	3箇所
合計	267箇所	171箇所

・県及び市による補助率上乘せ助成

林業再生路網整備事業(県単:県45%、市45%)

森林整備地域活動支援交付金(国50%、県25%、市25%)

林地及び林業用施設災害復旧事業(日田市単独:85%)

(3) 漁港施設の復旧 ※本復旧割合 100% 完了

市町村名	事業箇所数	※本復旧割合 100% 完了			
		応急復旧	査定済	着手済	本復旧
中津市	6箇所	1箇所	6箇所	6箇所	6箇所
宇佐市	10箇所	1箇所	10箇所	10箇所	10箇所
合計	16箇所	2箇所	16箇所	16箇所	16箇所

市町村名	主な復旧箇所	
	場所	本復旧日
中津市	中津市小祝	平成25年11月15日完了
宇佐市	宇佐市長洲	平成25年11月8日完了

(4) 都市施設の復旧

① 街路の復旧 完了

市町村名	被災箇所数	本復旧	復旧予定箇所		
			路線名	場所	本復旧日
竹田市	1箇所	1箇所	竹田玉来線	竹田市玉来	平成26年1月31日完了

② 公園の復旧 完了

市町村名	被災箇所数	本復旧	主な復旧箇所		
			公園名	場所	本復旧日
日田市	3箇所	3箇所	月隈公園	日田市丸山	平成24年12月11日完了
竹田市	1箇所	1箇所	稲葉川やすらぎ公園	竹田市山手	平成25年2月15日完了
合計	4箇所	4箇所			

(5) 県営住宅の復旧 完了

市町村名	被災戸数	本復旧	主な復旧箇所		
			住宅名	場所	本復旧日
竹田市	6戸	6戸	下矢倉住宅	竹田市君ヶ園	平成24年11月30日完了

(6) 漂流物・漂着物・堆積物の撤去 完了

① 港湾・漁港泊地内漂流物

○ 港湾泊地内漂着物

市町村名	被害箇所数	撤去済
大分市	1 箇所	1 箇所
別府市	2 箇所	2 箇所
杵築市	2 箇所	2 箇所
日出町	1 箇所	1 箇所
合計	6 箇所	6 箇所

※平成24年8月5日完了

○ 漁港泊地内漂着物

市町村名	被害箇所数	撤去済
別府市	2 箇所	2 箇所
杵築市	4 箇所	4 箇所
国東市	2 箇所	2 箇所
日出町	4 箇所	4 箇所
合計	12 箇所	12 箇所

※平成24年9月末完了

② 海岸漂着物

市町村名	被害箇所数	撤去済
国東市	10 箇所	10 箇所
杵築市	7 箇所	7 箇所
日出町	3 箇所	3 箇所
別府市	4 箇所	4 箇所
合計	24 箇所	24 箇所

※平成24年10月10日完了

③ 洋上漂流物

海 域	状 況
別府湾	豪雨災害に伴う漂流物回収は収束(平成24年9月13日)
周防灘 (大分県沖合)	豪雨災害に伴う漂流物回収は収束(平成24年9月13日)

④ 漁場に堆積した流木等の処理

・小型機船底びき網漁船による堆積物の除去に対する助成

事業主体: 大分県漁協

事業内容: 漁場に堆積した流木等の除去

補助率: 10/10

回収量実績: 372.1m³ 事業費 3,520千円

※平成24年8月10日完了

4 復旧工事に係る人的支援等

(1) 被災市町への県職員による支援

① 初期復旧対応に係る被災市町への県職員による人的支援(平成24年7月3日～8月3日) 完了

職 種	業務内容	延応援人数(人日)					計
		中津市	日田市	玖珠町	竹田市	由布市	
保健師・栄養士	一斉個別訪問、避難所での健康チェック	36	49	8	27	4	124
薬剤師・獣医師 ・化学職員等	家屋の消毒業務		52				52
農業土木	農地・農業用施設に係る被害調査	54	99	4	118		275
林 業	治山・林道に係る被害調査	126	110		74		310
	計	216	322		219	4	761

②復旧工事に係る被災市町への県職員による人的支援 (2月21日現在)

職 種	業 務 内 容	応 援 期 間	応 援 人 数 (人)					
			(期間区分)	日田市	玖珠町	中津市	竹田市	計
農 業 土 木	査定業務に係る支援	H24.8.27 ～ H25.1.12	延べ	530.0	90.0	488.0	616.0	1724.0
		1日平均	6.2	1.0	5.7	6.6	19.5	
	工事発注に係る支援、現場指導	H25.1.21 ～	延べ	138.1	26.3	116.5	144.9	425.8
		1日平均	1.1	0.4	1.0	1.8	-	
林 業	査定業務に係る支援	H24.8.20 ～ H24.12.28	延べ	109.0	69.0	287.0	85.0	550.0
		1日平均	1.3	1.3	3.2	1.0	6.8	
	工事発注に係る支援	H25.1.7 ～	延べ	72.0	21.0	222.0	48.0	363.0
		1日平均	1.4	1.1	1.5	1.3	-	
土 木	技術的指導・助言 査定及び工事発注に係る支援	H24.8.1 ～	延べ	278.2	113.4	146.5	241.7	779.7
			1日平均	1.7	0.7	0.9	1.5	4.9

※「1日平均」については、業務対応日数に基づき算出

(2)九州・山口9県災害時応援協定に基づく県職員の受入れ 完了

職 種	受入期間	受入所属及び人数(派遣元)					計
		豊肥振興局	西部振興局	北部振興局	日田土木事務所	中津土木事務所	
農 業 土 木	H24.10.1 ～ H24.12.31	1 (佐賀県)	1 (鹿児島県)	1 (長崎県)			3
林 業	H24.9.1 ～ H25.3.31	1 (宮崎県)	1 (佐賀県)				2
土 木	H24.9.1 ～ H25.3.31				2 (長崎県・ 鹿児島県)	1 (宮崎県)	3
計		2	2	1	2	1	8

(3) 財政支援

◎激甚災害(本激)の指定(平成24年7月31日、8月10日閣議決定 8月3日、8月15日公布・施行)

・指定災害:「平成24年6月8日から7月23日までの間の豪雨及び暴風雨による災害」

・対象地域:全国

・適用措置

土木関係 公共土木施設災害復旧事業等に関する特例の財政援助
(国庫負担の嵩上げ措置 ～ 日田市、竹田市、玖珠町)

農林水関係 ①農地等の災害復旧事業等に係る補助の特別措置
②農林水産業共同利用施設災害復旧事業費の補助の特例
③小災害債に係る元利償還金の基準財政需要額への算入等

教育関係 ①公立社会教育施設災害復旧事業に対する補助
②私立学校施設災害復旧事業に対する補助

○普通交付税の繰上げ交付

・中津市、日田市、竹田市の3市について、普通交付税の繰上げ交付

中津市 873百万円(7/18交付)

日田市 937百万円(7/18交付)

竹田市 607百万円(7/25交付)

5 JRの復旧

(1) 被災と復旧状況

完了

- ①豊肥本線
全線運行再開(25年8月4日)

- ②久大本線
全線運行再開(24年8月25日)

- ③日田彦山線
全線運行再開(24年7月27日)

V 防災機能・防災力の強化

1 防災機能の強化

(1) 災害に強い社会資本整備

- ① 幹線道路ネットワークの構築による代替性・多重性の確保
 - 中九州横断道路(地域高規格道路)の整備促進
 - 豊後大野市犬飼IC～豊後大野市大野IC間(供用中)
 - 豊後大野市大野IC～竹田市竹田IC間(事業中)
 - 中津日田道路(地域高規格道路)の整備促進
 - 中津市定留IC～中津市伊藤田IC間(供用中)
 - 中津市伊藤田IC～中津市三光IC間(事業中)
 - 中津市三光IC～中津市本耶馬溪IC間(事業中:直轄代行)
 - 中津市本耶馬溪IC～中津市耶馬溪山移IC間(供用中)
 - 中津市耶馬溪山移IC～中津市耶馬溪大字大島間(事業中)
- ② 東九州自動車道の整備促進
 - 福岡県境～宇佐市宇佐IC間(平成27年3月供用目標)
 - 宇佐市宇佐IC～佐伯市佐伯IC間(供用中)
 - 佐伯市佐伯IC～佐伯市蒲江IC間(平成27年3月供用予定)
 - 佐伯市蒲江IC～宮崎県境間(供用中)
- ③ 生活道路など地域を支える道路の耐災性向上
 - 新たに山間部等の交通量が少ない孤立対策箇所を要対策箇所に加えた。
- ④ 河川浸水対策の推進
 - ・河川激甚災害対策特別緊急事業採択(有田川:県管理区間、花月川:国管理区間)
 - ・床上浸水対策特別緊急事業採択(山国川:県管理区間、国管理区間)
 - ・河川監視カメラの設置(5台)及び映像の配信(平成25年6月4日配信開始)
 - 平成25年度中に計22箇所配信予定
- ⑤ 玉来ダムの早期完成
 - 「玉来ダム対策協議会」と玉来ダム建設に関する損失補償基準妥結(平成25年12月24日)
 - 1月から用地買収に着手し、2月末現在で概ね1割買収済み
- ⑥ 土砂災害対策の推進
 - 特定緊急砂防事業採択(岳本川、志谷川)
 - 被災地域を中心とした砂防ダムの除石
 - 土砂災害警戒区域等指定の促進
- ⑦ 漁港の防災対策強化

項 目	工事発注日	完成日
長州漁港の導流堤の整備	平成25年1月30日	平成25年10月11日

(2)点検の強化等

○九州北部豪雨後に実施した土砂災害危険箇所の緊急点検を踏まえた出水期前の再点検

(3)災害に強い森林づくり

- ・大分県森林づくりビジョン、大分県地域森林整備計画に明記
- ・林地崩壊や流木の発生を防ぐため、河川や溪流沿い、並びに急傾斜地における人工林の広葉樹林化や針広混交林化について、H25、26年度、竹田市、日田市、中津市で重点的に取り組む

2 防災力の強化

(1)災害応急体制の検証 完了

項 目	完成日
災害の検証結果を県の地域防災計画に反映 ・風水害時の避難を知らせる統一サイレン音の吹鳴 ・避難者情報を把握するサイン(旗)の統一 ・地域の防災体制強化のため、振興局に「地域防災監」を配置 ・災害発生時、市町村に情報連絡員を積極的に派遣 等	平成25年6月5日

(2)防災GIS等システムの再構築 完了

項 目	完成日
防災GISと連動した県民安全・安心メールの自動配信システム構築	平成25年3月18日
企業の位置情報の防災GIS登録	平成24年9月11日

(3)防災情報の積極的な提供

○河川水位局の復旧 完了

被災箇所			完成日
河川名	市町村名	場所	
玉来川	竹田市	拝田原	平成25年3月27日完了
有田川	日田市	東有田	平成25年1月23日完了

(4)災害記録の作成

被害状況、応急対策等の状況を「平成24年梅雨前線豪雨に係る災害応急対応の検証報告書」として、取りまとめた。(平成24年9月3日)

VI 復旧・復興情報の発信

災害復旧にかかる状況を随時、県内外へ情報発信

○平成24年8月10日 県HP上に専用サイト「元気です!!おおいた」設置

○ツイッターなどソーシャルネットワークサービスの活用による情報発信
大雨洪水警報、避難指示、道路の規制情報、災害ボランティアの募集等を随時情報発信

○復興イベント(「元気です!!おおいたフェア」等)や観光施設の復旧状況、観光地への道路の復旧状況をHPやツイッターを随時情報発信

Ⅶ 推進計画の進捗管理と見直し

○大分県水害対策会議の開催状況

- | | | |
|------|-----------------|--------------------|
| 第1回 | 平成24年7月6日 | |
| 第2回 | 平成24年7月17日 | |
| 第3回 | 平成24年7月31日、8月1日 | 中津市、日田市、玖珠町、竹田市で開催 |
| 第4回 | 平成24年8月27日 | |
| 第5回 | 平成24年10月1日 | |
| 第6回 | 平成24年11月5日 | |
| 第7回 | 平成24年11月28日 | 中津市、日田市、玖珠町、竹田市で開催 |
| 第8回 | 平成25年1月31日 | |
| 第9回 | 平成25年3月4日 | |
| 第10回 | 平成25年4月1日 | |
| 第11回 | 平成25年5月8日 | |
| 第12回 | 平成25年6月3日 | |
| 第13回 | 平成25年7月1日 | |
| 第14回 | 平成25年9月2日 | |
| 第15回 | 平成25年12月2日 | |
| 第16回 | 平成26年3月4日 | |

平成24年梅雨前線豪雨災害 復旧・復興推進計画に基づく進捗
未完了項目一覧

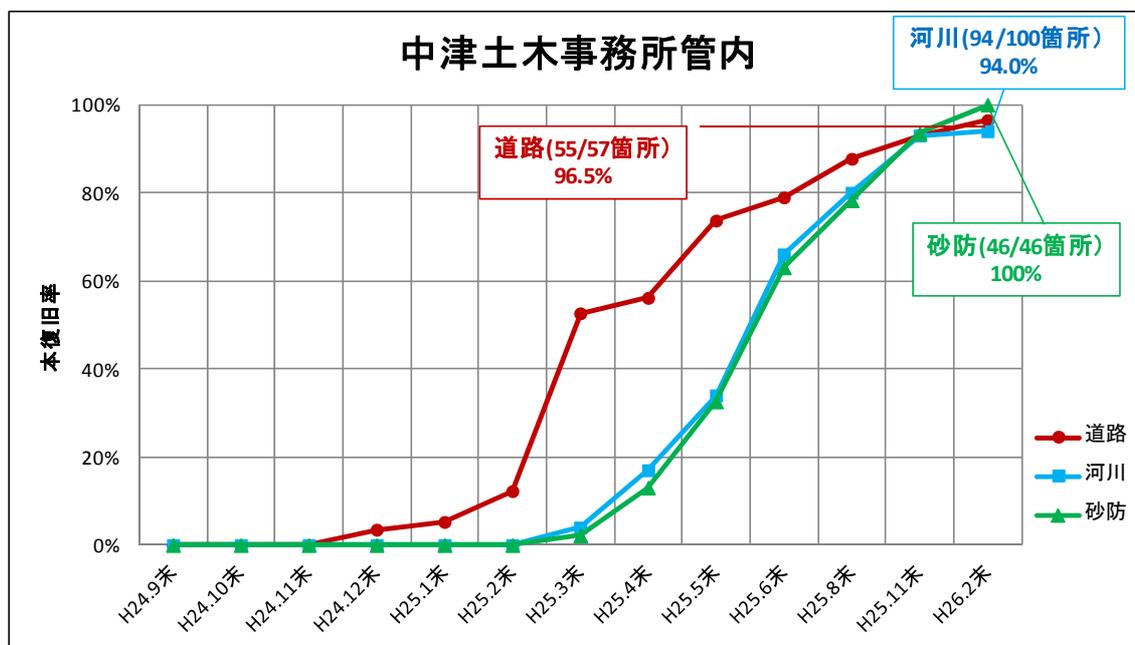
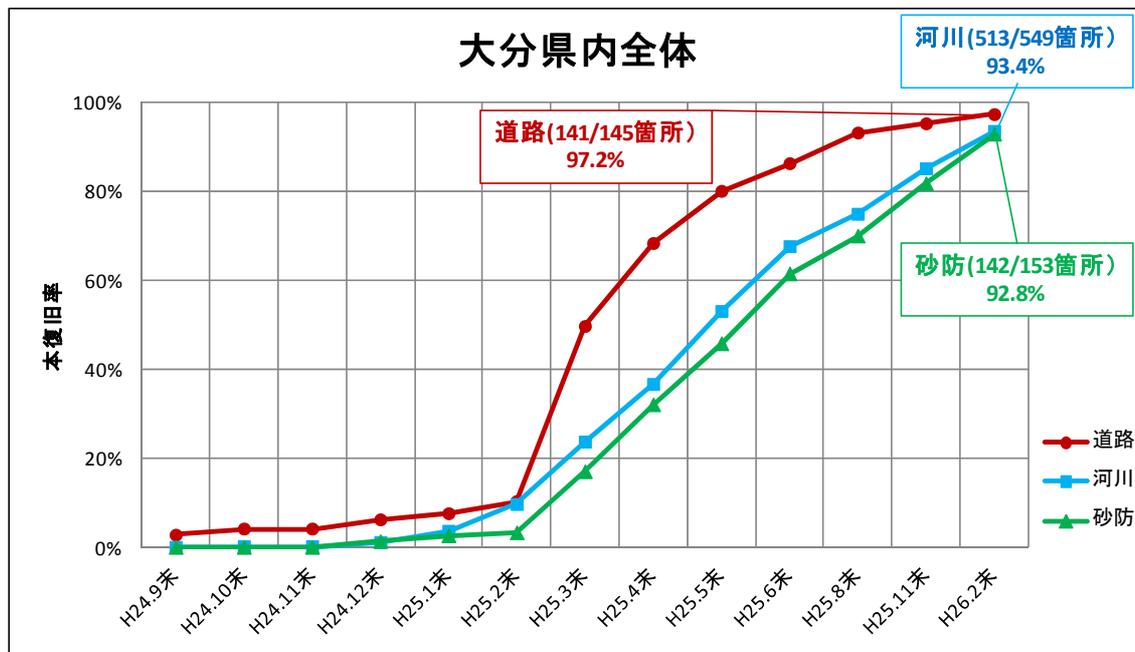
(平成26年2月25日現在)

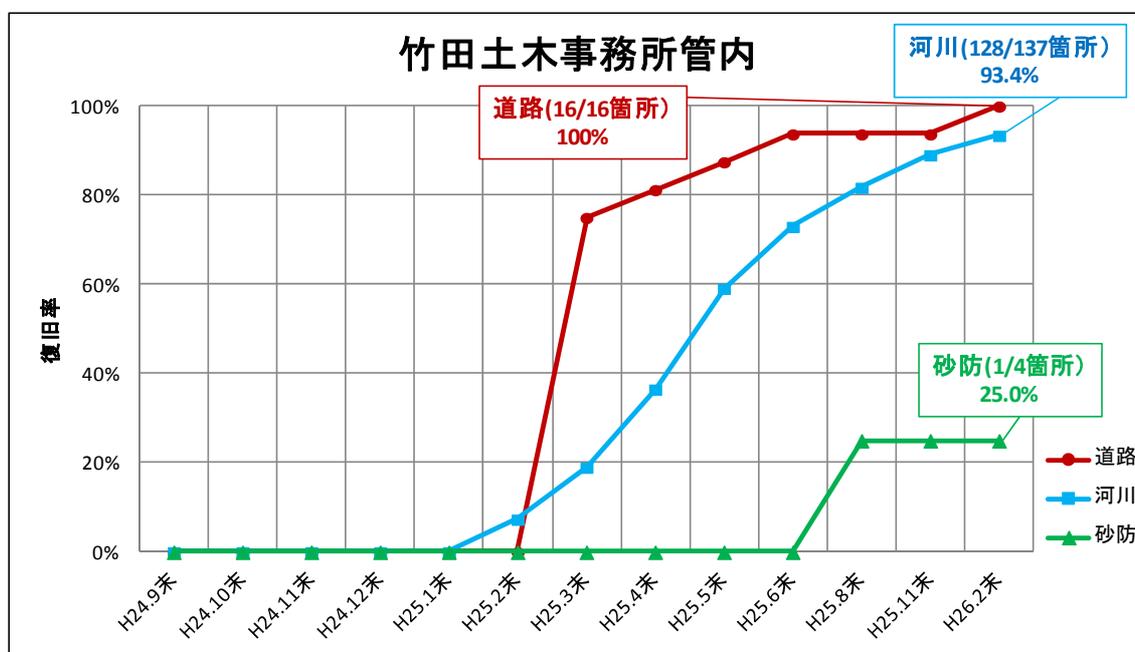
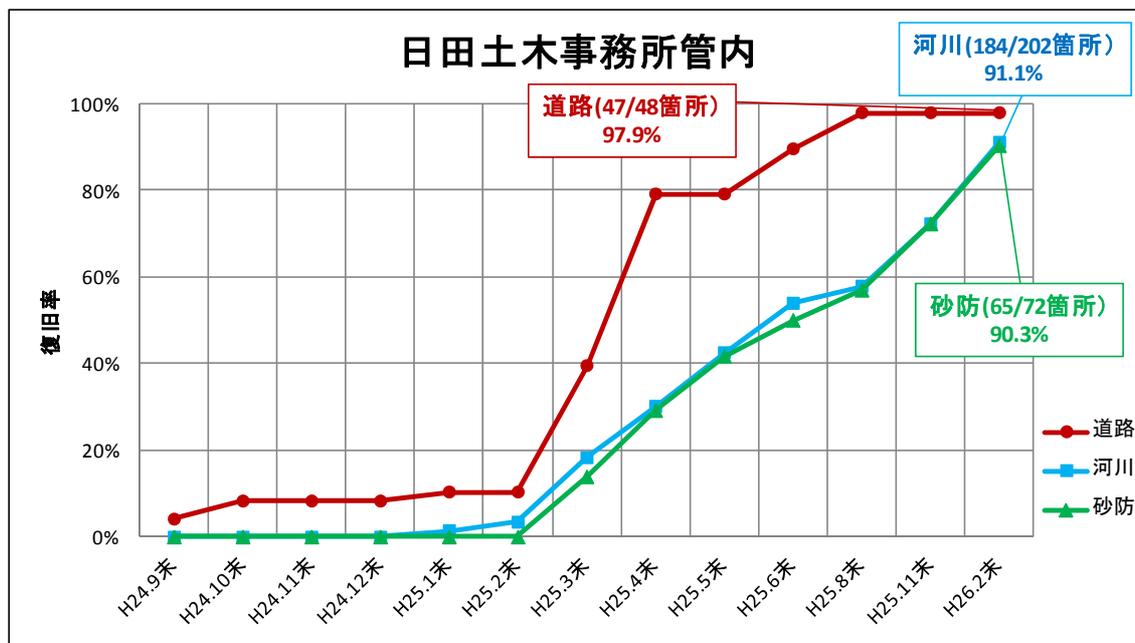
項目		現状・未完了箇所等	今後の見込み
被災者への支援	被災者の受け入れ支援	<ul style="list-style-type: none"> ・公営住宅等に仮入居中 17世帯、57人 <ul style="list-style-type: none"> ・中津市:2世帯、12人 ・日田市:2世帯、9人 ・竹田市:13世帯、36人 ※11月27日現在 20世帯、66人 	<ul style="list-style-type: none"> ①修理や建替をする自宅 7世帯(27人) ②竹田市が建設する改良住宅 4世帯(18人) ③民間アパート、借家 6世帯(12人)
	教育・文化施設等の復旧・復興	<ul style="list-style-type: none"> ・6箇所中、3箇所未完了 (未完了施設) <ul style="list-style-type: none"> ・竹田市文化会館 ・竹田市中央公民館 ・竹田市中央公民館玉来分館 ・7箇所中、1箇所未完了 (未完了施設) <ul style="list-style-type: none"> ・竹田市体育センター (国指定) <ul style="list-style-type: none"> ・7施設中、2施設未完了 (未完了施設) <ul style="list-style-type: none"> ・小鹿田焼きの里 ・名勝耶馬溪 (県指定) <ul style="list-style-type: none"> ・10施設中、2施設未完了 (未完了施設) <ul style="list-style-type: none"> ・中津城おかこい山 ・筏場眼鏡橋 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在地に新築予定(国と協議中) ・ " ・26年3月復旧予定 ・復旧予定(国と協議中) ・27年3月復旧予定 ・復旧の方向性を検討中(中津市) ・27年3月復旧予定 ・復旧の方向性を検討中
道路・河川等の復旧	道路・街路の復旧状況 前回:95.2% 今回:97.2%	<ul style="list-style-type: none"> (道路) ・未完了箇所数 中津山国自転車道線など4箇所 ・全面通行止め箇所 中津山国自転車道線など3箇所 	<ul style="list-style-type: none"> (道路) ・26年3月末 1箇所完了予定 (街路) ・完了
	河川・砂防施設の復旧状況 前回:84.3% 今回:93.3%	<ul style="list-style-type: none"> (河川) ・549箇所中、36箇所(7%)が未完了 (砂防施設) ・153箇所中、11箇所(7%)が未完了 	<ul style="list-style-type: none"> ・改良復旧など用地に関する箇所 (以下の26箇所)を除き、年度内に ほぼ完了する見込み ・河川 21箇所(山国川、春田川など) ・砂防 5箇所(志谷川、春田川)

項目		現状・未完了箇所等	今後の見込み
農地・農業用施設等の復旧	農地・農業用施設の復旧	・4,157件中、2,067件(50%)が未完了 ・4,057件(99%)は発注済み	・26年の作付けまでに復旧できるよう進捗管理を行う
	治山施設等の復旧状況	・29箇所中、1箇所のみ未完了(未完了箇所) ・中津市耶馬溪町大字深耶馬溪字日平	・26年3月10日完了予定
	林道等の復旧状況	・102箇所中、14箇所(14%)が未完了(主な未完了箇所) ・岳減鬼線(中津市) ・花月線(日田市)	・未完了14箇所中9箇所が年度内完成予定 ・残り5箇所は、26年9月までに完成予定 ・岳減鬼線(中津市)2箇所 ・花月線(日田市) 2箇所 ・下山線(中津市) 1箇所
	作業道等の復旧状況	・267箇所中、96箇所(36%)が未完了	・森林所有者の同意を得た路線から随時復旧工事を実施中

大分県水害対策会議 復旧・復興推進計画の進捗状況

「復旧・復興推進計画」については、大分県水害対策会議にて進捗管理を行っており県の管理施設における災害復旧工事を実施した箇所（道路・河川・砂防）について、進捗状況を下記の表にまとめた。





豪雨災害誌の編纂にあたって



大分県土木建築部 河川課長
菖蒲 明久

「天災は忘れた頃にやって来る」という警句がありますが、平成24年7月の豪雨では、耶馬溪や日田、竹田などで統計上の雨量観測記録を更新したばかりか、地域によっては10日余りの内に二度も大洪水に見舞われるなど、まさに「これまでに経験したことのないような大雨」となり、県西部、北部を中心に甚大な被害が発生しました。

竹田市では、河川改修とダム建設が完了していた稲葉川沿いで被害が最小限に抑えられた一方で、河川改修は完了していたもののダムが完成していない玉来川沿いで甚大な被害が発生し、ダムの有無が明暗を分けました。治水対策には長い年月と多大な費用が掛かるとは言え、何とも悔しい思いをしました。

公共土木施設災害については、8月下旬から12月中旬にかけての11次に亘る査定の結果、県・市町村合わせて1,874件、災害復旧事業費約219億円の決定を受け、決定額ベースでは、昭和57年以降の過去31年間で平成5年、2年、9年に次ぐ4番目の規模となりました。

また、県の山国川水系春田川など10件、中津市、竹田市の市道橋各1件の、合わせて12件、親災を含めた事業費38億円余りの災害関連事業のほか、玉来川など7河川の災害対策等緊急事業推進費や有田川激甚災害対策特別緊急事業、山国川床上浸水対策特別緊急事業などが採択されるなど、一定計画に基づく抜本的な改良事業により再度災害防止に向けた取組に弾みがつきました。

さて、平成26年2月末現在、県の災害復旧工事については約94%の箇所が完成し、ようやく落ち着きを見せているものの、改良事業のほとんどが今後さらに数年を要することから、早期完成に向け気を引き締めているところです。

災害発生からこの間、国にはTEC-FORCE（緊急災害対策派遣隊）の派遣や現地指導、各種事業の採択、また、各県には災害時相互応援協定に基づく職員派遣など、多方面に亘るご支援・ご高配をいただきまして、この場をお借りして厚くお礼申し上げます。

最後に、本誌の作成にあたり、貴重な資料をご提供いただきました報道各社、国土交通省九州地方整備局、関係市町村に心から感謝申し上げます。



平成24年災 豪雨災害誌

平成26年3月発行

編集者 大分県土木建築部河川課
